

選定委員会の教科用図書採択に関する意見

問 答

和 教 研 第 8 3 号
令 和 6 年 5 月 9 日

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校
教科用図書選定委員会

和 歌 山 市 教 育 委 員 会
教 育 長 阿 形 博 司

令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定
について（諮問）

令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定について、理由を添えて次のとおり諮問します。

1 諮問理由

教科書は、学校における子供の学習用として供されるものであり、市が育てたいと願う子供の像を実現するために重要な役割を果たすものです。

そのため、教育委員会は、教科書の採択権者として市の子供の実態に鑑み、教育基本法及び学習指導要領に示された内容を踏まえ、確かな学力を身に付け、豊かな人間性を育成するための教科書を責任を持って採択せねばなりません。

このことを踏まえ、選定委員会では、教科等の指導についての高い専門的見地から、又学校教育に対する保護者の立場から、育てたい子供像を共通理解しながら、すべての教科書について調査研究のうえ、内容についてご審議いただきたいと考えます。

具体的には、次の総合的な観点から、又教科ごとの指導内容に即した観点についてご審議のうえ、答申をいただきますようお願いいたします。

- (1) 和歌山市教育委員会「学校教育指針」に示す「めざす子供像」の実現
- (2) 教育基本法及び学習指導要領に示されている教育の目的・目標等の実現
 - ①教育基本法で明確にされた教育の理念を踏まえた「生きる力」の育成
 - ア 知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現をめざす自立した人間の育成
 - イ 公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民の育成
 - ウ 我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成
 - ②知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等のバランス
 - ③豊かな心・健やかな体の育成
- (3) 教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な審議

答 申

令和6年6月28日
(2024年)

和歌山市教育委員会
教育長 阿形 博司 様

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校
教科用図書選定委員会
委員長 高幣 泰男

令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定について（答申）

令和6年5月9日付和教研第83号において、和歌山市教育委員会 阿形 博司 教育長から、令和7年度に和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の選定についての諮問がありました。

これを受け、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会は、教科・種目ごとのすべての教科書について調査研究を進め、同月9日から5回にわたり審議を重ねてきました。

については、ここに、審議結果を「令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申」として取りまとめ、「令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料」を添えて答申します。

各教科・種目
答申及び答申資料

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	新編 新しい国語 1 2 3	東京書籍
<p>答申</p> <p>「未来への扉」として9つのテーマを巻頭で示し、言葉の力で未来を生きるために必要な力を育てていくことを意識づけている。各教材で「言葉の力」の欄を設け、どのような力を身につけていくのかを具体的に明確に示している。二次元コードでは学びを深めるコンテンツが豊富で、生徒の学びたい意欲に応える教科書である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫について専門的・具体的な観点から <p>・「未来への扉」は、巻頭の呼びかけと呼応する形で本編の最後に章が設けられている。言葉を駆使して自分や社会の課題に向き合うことをねらいとして、一年間の総まとめの教材の形で配されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「領域別学習一覧」で、それぞれの教材が学習指導要領に示される「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」のどの力を身につけさせようとしているのかを、「言葉の力」と関連付けながら具体的に示している。 ・教科書は「本編」と「資料編」の二部構成となっており、「資料編」は発展教材や「ノート書き方」「発言・発表の仕方」「国語辞典の引き方」「要約の仕方」「原稿用紙の使い方・推敲の観点」などの資料からなる。 ・巻末の見返しの『言葉の力』一覧では、3年間の教材とつきたい「言葉の力」を見通すことができ、螺旋的に学習を深めていくことが確認できる。 ・各学年、数か所に「学びを支える言葉の力」として「対話の学び」「情報と論理の学び」「文学の学び」が配置され、「話の聞き方・質問の仕方」「情報の分類・比較」「場面と描写」「意見と根拠」「原因と結果」など学びのポイントがまとめられ、その前後に配置されている「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の教材と関連付けて学習できるようになっている。 ・各教材の学習活動、目標の確認から振り返りまでの学びの手順を、一目で見渡せる形にしたものや、ページを繰り返しながら少しずつ確認していく形のものがある。また、同ページに配されている「言葉の力」ではその教材で学ぶべきポイントが示されている。 ・語彙を増やす手立てとしては、「読む」教材の脚注語彙や「広がる言葉」を中心に講じられており、デジタルコンテンツの「言葉を広げよう」にも15のカテゴリーごとに1870の語彙が掲載されている。 ・「お試し読書のすすめ」や「読書案内」で442冊の多種多様な本を紹介し、生徒の多様な興味関心をかき立てたり、読書活動を行ったりするきっかけを作っている。 ・情報活用能力の育成を企図した「ニュースの見方を考えよう」や「図書館の活用」の教材では、情報の収集や整理、編集、表現・発信の仕方が学べるように工夫されている。 ・古典学習では、二次元コードから朗読動画や解説動画を読み取ることができる。また、1年では「さまざまな古典作品」として「古事記」「土佐日記」「伊勢物語」「源氏物語」「方丈記」の代表的な古典作品が収められており、朗読を通してリズムに親しみ、古典を身近に感じさせる工夫がある。 ・1人1台端末の時代に合った二次元コードからの学びが充実している。 <ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードを読み取ると、まず、目次が出てきて、その目次をタップするとさらにその項目についての目次が出てくるなど、学年によって130～143のコンテンツが用意されている。 ○学習の導入に効果的な動画やゲーム形式のものなど、生徒の実態に応じたものとなっている。 ○豊富なデジタルコンテンツがあることで、学習を深め、広げたりするための資料などが収められているため、教科書のページ数が削減され、生徒の身体的負担軽減につながっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	現代の国語 1 2 3	三省堂
<p>答申</p> <p>「思考の方法」を図解で示したり、「読み方を学ぼう」で読みに関するスキルを解説したりして、国語力を高める手段を具体的に系統立てて配置しており、生徒の主体的な学びに重点をおいた教科書である。また、「情報を関連づける」の章を設け、図表・文章など多様な情報を関連づけながら現代の課題について考える学習を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <p>・巻頭の「領域別学習一覧」では、それぞれの教材で「つきたい力」として、学習指導要領に示される「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」との関連を示している。</p> <p>・「思考の方法」として、9種類の思考ツールを示し、「考える」ということについて、折り込みページの表裏を使って図解を用いながら具体的に示している。</p> <p>・「読み方を学ぼう」では「何をどのように読めば力がつくのか」を短い文章で簡潔に示し、図解で内容を視覚的に捉えられるようにしている。全22の方略を3学年にバランスよく配置している。そして、各学年の巻末にはその学年で出てきた読み方の方略を『読み方を学ぼう』一覧」として折り込みで配置することで、適宜振り返れるようにしている。</p> <p>・教材ごとに、見開きで「学びの道しるべ」「思考の方法」「語彙を豊かに」「学びを広げる」を4点セットで示し、「学びの道しるべ」では、学習活動の流れ、「思考の方法」では巻頭の折り込みページで示された9種類の思考ツールのうちどれを使うか、「語彙を豊かに」では言語事項についての説明、「学びを広げる」では発展的な課題がそれぞれ示されている。</p> <p>・各学年の第1章の中に「グループディスカッション」を設け、話し合いを効果的にするための「こつ」を系統的に示している。二次元コードを読み取ると、話し合い場面の動画があり、その後「こつ」の解説がある。</p> <p>・「情報を関連づける」の章を特に設け、日常生活や現代社会における課題を取り上げ、冒頭は生徒の興味を引きやすい漫画スタイルで解説し、図表・文章など多様な情報を関連づけながら考え、話し合ったり、書いたりする学習に発展させている。</p> <p>・教材ごとに「私の本棚」として、関連する図書の紹介があり、1年生の教科書では読書活動「私が選ぶこの一文」のコーナーがあったり、お笑い芸人の又吉直樹の「本を読むことの面白さ」のエッセイを掲載したりするなど、読書への意欲喚起を図っている。</p> <p>・「資料編」の「読書の広場」では「読み方を学ぼう」で習得した方略を活用できる多様なジャンルの5～6の教材を配置している。</p> <p>・古典の教材では読解の助けとなるような図版にかなりの紙面を割き、イメージしやすくしているほか、二次元コードより朗読の音声を聞くことができる。また、年表で成立年代を示している。</p> <p>・二次元コード収録コンテンツで生徒が主体的に学ぶ工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」教材では、動画を視聴して学ぶものもを設定している。 ○二次元コードの横に、何が収録されているかを具体的に明記しているものも多い。 ○二次元コードを開くと、ダイレクトに視聴するコンテンツが出てきて、すぐに視聴できる。 ○解説動画、朗読音声、漢字・文法のデジタルドリル、補充教材、ワークシート、参考資料などコンテンツは豊富である。 ○二次元コードから「NHK for school」など、外部リンクにつながるものもある。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	伝え合う言葉 中学国語 1 2 3	教育出版
<p>答申</p> <p>「総合（SDGs）持続可能な未来を創るために」という単元を設けており、未来の担い手としての関心を高めながら、考えを深め、協働的に課題解決に取り組むことで国語学習の深化を図ることをねらいとしている。「学びナビ」は、何を学ぶかを教材よりも前に配置し、目的意識をもって学習に取り組んでいくことを企図した教科書である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <p>「総合（SDGs）持続可能な未来を創るために」という単元では、現代的な諸課題についての複数の文章を比較して読むことを通して、自分事として考えを深めたり、対話的な学習を設定したりして、言語活動の一層の充実を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「言葉の地図」でSDGsとの関連を持たせながら、それぞれの教材で学習指導要領に示される「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」のうち、身に付けたい言葉の力を言語活動例とともに具体的に示している。 ・いくつかの教材の前に「学びナビ」を配して、教材を読む前に、その教材で「何を学ぶか」を学習するページを設けている。 ・「読む」教材については教材の後に「みちしるべ」として学習活動の流れを示し、必要に応じて「学びナビ」と関連させながら、主体的な学びを促している。 ・「話す」「聞く」「書く」の教材は「学習活動の流れ」として学習活動や重要なポイントを明確にしている。 ・「学びのチャレンジ」では、これまでに身に付けた力を活用できるように「思考力・判断力・表現力」を高めることをねらいとした問題を掲載している。 ・写真や広告などを扱う「情報・メディアと表現」では、メディアの仕組みや工夫を学ぶことで、情報を活用したり、それらを評価したりする活動を設定している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材の末尾に「学びを生かす」という項目を設け、学習したことを他教科の学びや実生活に生かすことを呼び掛けている。 ・「広がる本の世界」を1・2年では9つ、3年では8つのそれぞれの章ごとに設け、「まなびリンク」と合わせると計334冊の紹介をして、生徒の多様な興味関心をかき立てたり、読書活動を行ったりするきっかけを作っている。 ・巻末の見返しには『「ふるさと」を巡る』で、各都道府県を代表する作家と作品を風景の写真とともに紹介し、読書への意欲喚起を図っている。 ・古典の教材では読解の助けとなるような絵画や図版を掲載し、イメージしやすくしている。 ・「本編」「言葉と文法 解説編」「言葉の自習室」の三部構成となっており、「言葉の自習室」では本編で学習したことを補助的、発展的に扱える読み物教材や、『「学びナビ」一覧]、「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」などがあり、学習活動の助けとなるような資料となっている。 ・二次元コードから「まなびリンク」につながり、画面をタップすると様々なメニューが出てきて、豊富なコンテンツ一覧が現れ、学びたい目的に合ったものを自分で選び、タップすると、教材理解のための補足資料や画像、動画等が流れる。教科書の紙面上には二次元コードの内容案内の表記はない。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

	教科書名	発行者
国語	国語 1 2 3	光村図書
<p>答申</p> <p>教材ごとの「学びへの扉」「学びのカギ」などで、生徒の学びの内容、手順を視覚的に捉えやすく示し、主体的、対話的、深い学びに向かうことを企図したユニバーサルデザインの効果が特長的な教科書です。また、二次元コードを効果的に活用し、「話すこと・聞くこと」教材には、音声や動画から始まる新しい学びの形が提供されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <p>・巻頭の「学習の見通しをもとう」の折り込み一覧で、各領域において学習指導要領に示される「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」について、各教材では何を学ぶのか、一年間の学習全体が見渡せるようになっている。また、他教科やSDGsとの関連も明示されている。</p> <p>・教材ごとの「学びの扉」「学びのカギ」で学習活動の流れと学ぶべきポイントの全体を、一目で見渡せるようにし、「話す・聞く」「書く」「読む」の全ての領域で共通の紙面構成にすることで、学習の見通しの持ち方を統一している。さらに、「資料編」の『「学びのカギ」一覧』では「文学的な文章を読むために」「説明的な文章を読むために」「豊かに表現するために」とジャンルに分けて、付けるべき力を振り返れるようにしている。</p> <p>・「思考の地図」では、考え方の具体的方法を一覧で図解を用いており、折り込み裏面に一面で見渡せるように配置することで、随時確認できるようにしている。</p> <p>・「本編」と「資料編」の間にある「学びを深める」には、「語彙ブック」があり、思考や表現を支える言葉を多数紹介し、ほかのページより背を低くした冊子風にすることで必要な時にすぐに使えるようにしている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」教材では、二次元コードに収録された音声や動画を視聴し、聞いて理解する力やファシリテーション能力を育むための学習活動を設けている。</p> <p>・情報を扱う学習として、各学年に設けられた「情報×SDGs」の章では、社会問題を自分事として捉え、考え、情報収集の方法や図表を含む情報の読み方を学べるようにしている。また、「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」では、比較分類の方法や「意見と根拠」「原因と結果」など、情報整理や思考の仕方の解説をもとに、実際に練習問題に取り組み、情報の扱いを体験する形にしている。</p> <p>・「いつも本はそばに」の章を設け、読書案内とともに生徒の多様な興味関心をかき立てたり、読書活動を行ったりするきっかけを作っている。</p> <p>・「資料編」では「読書感想文の書き方」「文章の推敲・原稿用紙の使い方」「手紙の書き方」など学習活動の手引きとなるもののほか、補充や発展の学習となるような資料が掲載されている。</p> <p>・「書くこと教材」を年間7か所配置し、グラフなどの統計資料を引用して書くレポートや、構成や描写を工夫して体験の価値を書く教材など、様々な形の課題を設定している。</p> <p>・古典の教材では読解の助けとなるような図版が豊富で、両観音開きで提示されているものもあるほか、二次元コードによる朗読音声もある。また、年表で成立年代を示している。</p> <p>・二次元コード収録コンテンツは3年間で352コンテンツあり、生徒の意欲を高める工夫をしている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」は実際の話し合い活動を視聴し、学習を展開するものも設定している。</p> <p>○二次元コードの横に、何が収録されているかを具体的に明記している。</p> <p>○二次元コードを開くと、ダイレクトに視聴するコンテンツが出てきて、すぐに視聴できる。</p> <p>○「漢字の練習」は、読み、書きの漢字ワークや筆順が出てきて、答え合わせもでき、自学自習の助けとなる。</p> <p>○「国語の力試し」や「書くことのミニレッスン」は、デジタルドリルの形で自己採点もできる。</p> <p>○巻末の「ICT活用のヒント」で、学習過程に沿ってどこでどのように活用できるかを具体的に示している。</p>		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
書写	新編 新しい書写 一・二・三年	東京書籍
<p>答申</p> <p>学習のポイントを示した「書写のかぎ」を核とした課題解決型学習を通して書く力を身に付けさせ、その力を学習や生活に役立てられるように構成されている。手書き文字再発見をはじめ行書学習では書く動きを意識させ、特徴的な動きを学ぶことで、誰でも行書が書けるように工夫されている。また、職場訪問や防災訓練に参加しようなど、学びを生活に広げるための思考力を育み、活用力につながるように企図した教科書である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <p>・目次には、3学年の学習内容と資料の内容がわかりやすくまとめられている。前ページには、「文字を『書く』って、なんだろう」として、書写を学ぶ意義について示され、主体的・意欲的な学習態度を促している。</p> <p>・単元で学ぶ大事なポイントを簡潔にまとめた「書写のかぎ」の活用により学習事項が明確になり、主体的な学習に取り組める。</p> <p>・B5判で一つの教材を見開きの2ページで扱い、完結型になっている。教材文字と学習ポイント、学習の進め方を同時に見ることができるため学びやすい。</p> <p>・学習の進め方は、「目標」→「見つけよう」→「確かめよう」→「生かそう」→「振り返ろう」→「生活に広げよう」という流れで構成され、「書写のかぎ」を核とした課題解決型学習となっている。</p> <p>・「振り返ろう」では、「書写のかぎ」や書写の用語を使って学習したことを説明する対話的な振り返りを設定している。知識と技能の両面からより深く振り返ることができる。</p> <p>・行書の学習では「動き」から始めることで行書の特徴を理解できるように工夫している。26ページでは、行書を書くときの動きをパターン化し、4つに絞った頻度の高い動きを示している。この動きを組み合わせることで行書が書けるように工夫されている。各単元の教材文字の淡墨図にはこの四つの動きを生かす部分を示しているため、動きに注目した学習ができる。</p> <p>・活用単元「生活に広げよう」では、1年「手紙を書こう」「年賀状を書こう」「職場訪問をしよう」2年「本のポップを書こう」「防災訓練に参加しよう」3年「思いを文字で表そう」など各場面で書写の学習をどのように生かしていくかを考える活動を設定し、学びを生活に生かすための思考力を育み、活用力につながるように工夫している。</p> <p>・楷書や行書の「まとめ」で実際に書いて学習内容を振り返ることができる。また、学年ごとの「書写テスト」では、自らの理解度を客観的に評価でき、学びの定着を図ることができる。</p> <p>・「いろは歌」「竹取物語」「枕草子」「走れメロス」「おくの細道」など国語科と連動して学ぶことができる教材や言語活動を取り上げている。</p> <p>・「身の回りの文字の目的と工夫」「手書き文字の特徴」「現代につながる文字の役割」等では、キャリア教育の観点から生徒が社会や自分の将来とのつながりを感じて主体的に学習に取り組めるようにしている。</p> <p>・巻末の「書写活用ブック」はさまざまな書式のほかに人名用漢字表や行書の部分の形など、学校生活だけではなく、日常生活や社会に出てからも活用できるように工夫している。</p> <p>・左利きの生徒にも対応した毛筆の用具の置き方の説明がある。硬筆の練習では教材文字を上、書き込み欄を下に配置して利き手に関わらず教材文字が見やすいように工夫している。</p> <p>・学習を支えるデジタルコンテンツも豊富で、毛筆教材でのナレーション・テロップで解説を入れた運筆動画を繰り返し見ることで、自分で書く際のイメージをしっかりと持つことができる。</p> <p>・SDGsに対応した題材も大切にしている。</p>		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
書写	現代の書写 一・二・三	三省堂
<p>答申</p> <p>単元冒頭の「書き方を学ぼう」で書き方のポイントを明確化し、学習内容がわかりやすく工夫されているため、生徒は見通しをもって主体的に学習を進めることができる。また、「書いて身につけよう」では学習したことを多様な「書く」場面で活用できるように構成され、自分の文字をよりよくして社会生活の中で生かせるように企図した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方は、「目標を確かめる→書き方を学ぼう→毛筆で書く→学習を振り返る→書いて身につけよう→自分の言葉でまとめる」という流れで構成している。 ・B5判で各教材を見開きの2ページ完結型で構成している。教材冒頭の「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントを取り上げ、学習すべき内容が一目でわかるようになっている。自己評価（学習を振り返る）では、「筆順の変化を理解して書くことができましたか。」などの形で呼びかけている。 ・単元終わりの「書いて身につけよう」では、毛筆で学習したことをふだんの文字に生かせるように硬筆による書き込みページを多く設けている。 ・硬筆の練習では教材文字を上、書き込み欄を下に配置して利き手に関わらず教材文字が見やすいように工夫している。 ・各学年末の「やってみよう」では、1年「グループ新聞を作ろう」2年「情報誌を作ろう」3年「名言集を作ろう」が設定され、学習してきたことを生かして書くことができるように工夫している。 ・1年「文字の変遷」や3年「身のまわりの文字」では文字の歴史や文化を取り上げている。また、手書き文字の魅力を伝え広めながら社会で活躍する人物を紹介している。効果的に文字を書くことの必要性や文字を手書きすることの意義を見つめ直すことができる教材となっている。 ・2年「四十七都道府県名」では、特産物を見ながら行書で書くページがある。 ・2年「楷書と行書の使い分け」は、目的や必要に応じてどの書体が適切かを考え、使い分けて書くことができるように考慮された教材である。 ・楷書の教材では、点画の組み立てや筆使いなど小学校で既習した基礎的な知識や技能を確認することができる。3年教材の「篆刻」や資料編「書の古典」では中国や日本の優れた筆跡を紹介するなど高等学校芸術科書道への発展的学習内容となっている。 ・資料編「日常の書式」では、便せんと封筒・はがきの書き方・時候の挨拶・送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方が学べ、学習活動や社会生活などで活用できる。 ・資料編「書写の広場」では楷書と行書による毛筆補充教材が掲載され、発展学習として活用できる。 ・資料編「楷書・行書一覧表」は身近な文字を書くときに活用できる。 ・巻末には、「書き方を学ぼう」一覧が掲載されていて一年間の学習を振り返ることができる。 ・二次元コードコンテンツによる学習サポートにおいて、毛筆や硬筆での姿勢と構え方、筆の持ち方や運び方、用具の扱い方などの動画を見ることができる。 ・SDGsに対応した題材も大切にしている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
書写	中学書写	教育出版
<p>答申</p> <p>学習の進め方が明確で理解しやすく示されている。日常の書写活動に生かすために必要な基礎的・基本的な能力の育成や、書写用語を用いて文字を書く原理・原則について伝え合う対話的な学び方ができるように工夫されている。また、他教科と連動して学習活動や日常生活で生きてはたらく書写力を身につけるように企図した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・「書写をとおして学んでいくこと」では、自ら考え、文字を効果的に使う力を学んでいくための書写力を大樹のイラストで図示し、身につける力を系統的に見通せるように工夫している。 ・「学習の進め方」は、「目標」→「考えよう」→「生かそう」→「振り返ろう」→「学習や日常生活に生かそう」という流れで構成し、日常の書写活動に生かすために必要な基礎的・基本的な能力を習得できるよう工夫している。 ・A B判で一つの教材を見開きの2ページ完結型で扱い、「目標」の後には「試し書き」のワークが、「考えよう」では穂先の動きがわかりやすいように淡墨図による解説図版があり、試し書きと比べて自ら課題を発見し、解決していく学び方となっている。「生かそう」では他の文字への応用が、その後にはまとめ書きのワークが、「振り返ろう」では○・△による自己評価を設定している。また、巻頭の「学習の進め方」で話し合い活動のポイントや学習用語を例示しており、対話的な学びをすることで自らの成長に気づいていける工夫がされている。 ・筆順を丁寧に示している。 ・各単元終わりの「学習を生かして書く」では、国語科をはじめとして各教科の書く活動と連動した教材が例示されており、日常化を図ることができる。50ページ、70ページの行書の学習にはなぞり書きがあり、より多くの行書を学ぶことができる。 ・国語科の文学教材と連携し作品を書いて味わうことや、よりよく書く方法を学べるように工夫している。(「いろは歌」「竹取物語」「論語」「走れメロス」「枕草子」「平家物語」「おくの細道」など) ・コラムでは「あの人が残した文字」として、日本の歴史上人物の自筆の文字の扱いもあり、学習意欲につながる。 ・巻末の「書式の教室」では、書写学習で習得した力を様々な学習活動や日常生活に生かし、効果的に文字を書こうとする力につながる。(手紙、封筒、年賀状、はがき、包み紙、エアメール、原稿用紙、伝票、願書、志願理由書など) ・巻末「小・中学校で学習した漢字一覧表」は、部首別配列にすることによって漢字の構成を意識させ楷書と行書の理解・応用を促している。 ・左利きの生徒にも対応した毛筆の用具の置き方の説明がある。硬筆の練習では教材文字を上、書き込み欄を下に配置して利き手に関わらず教材文字が見やすいように工夫している。 ・書写テストで書写の知識・理解の定着を図ることができる。 ・「書くこと」の変遷や手書き文字と活字の特徴を考えることで、伝統と文化を尊重し文字環境を豊かにすることができる。 ・「まなびリンク」二次元コードを用いて毛筆教材について、書いている様子を真上から撮影した動画を見ることができる。 ・SDGsに対応した題材も大切にしている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
書写	中学書写 一・二・三年	光村図書
答申		
<p>学習の進め方が丁寧に示され、「学びのカギ」でポイントがひと目でわかるように工夫されているため、生徒は見通しをもって取り組める。また、別冊「書写ブック（硬筆練習帳）」を活用し、繰り返し学ぶことで書く力の定着を図ることができる。手書きの価値や文字文化の豊かさに触れる教材が用意され、文字への興味・関心を高めるとともに、書く楽しさや達成感が感じられるように企図した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・「目次」に3年間の目標が示されており、学習の見通しをもちやすい。左利きの用具準備が掲載されている。 ・学習の進め方は、「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」という流れで構成され、「振り返ろう」では、目標が達成できたかを自己評価するとともに「書写ブック」の活用で練習へと促している。 ・B5判で学習ページには、学習の進め方を大きい文字でわかりやすく示し、生徒が見通しをもって「行書スイッチ」を手がかりに主体的に学べるようにしている。また、「学びのカギ」を設けて学習のポイントがひと目でわかるよう設定している。 ・手本は、学習の進め方を記載した後に独立して載っている。行書の基本的な書き方を学ぶ教材では、半紙原寸大の手本を4点掲載している。 ・別冊「書写ブック」を設け、毛筆で学んだことを繰り返し硬筆で練習することにより書写の基礎・基本を身につけ、書く力の定着を図れるよう工夫されている。練習の他に書写テストや国語教科書と関連した内容、都道府県名などが記載され、学習のまとめとしても活用できる。 ・3年生教材の「全国文字マップ」や「文字の使い分け」では、伝統文化や文字文化の豊かさに触れることができ、文字への興味・関心を高めることができる。「全国文字マップ」では二次元コードを活用して全国の写真資料を閲覧することができ、豊かな文字文化に触れることができる。 ・「手書きのよさって、何だろう」と、みんなで話し合うとともに、コラム「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」でのユニバーサルデザインの学習を取り入れることで、手書きで伝わる良さや特徴を深めたり、見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体に気づいたりすることができる。 ・硬筆教材は、本編・書写ブックともに国語科の教科書教材と関連が深い。（「枕草子」「季節のしおり」「竹取物語」「和歌」「走れメロス」「平家物語」「おくの細道」など） ・3年生コラム「自分らしい文字」における「私の好きな言葉」では、著名人の好きな言葉を紹介し、興味・関心を喚起することができるように工夫している。 ・「三年間のまとめ」では、3年間で学習したことを振り返り、確かめることができる。 ・巻末の資料編では「日常に役立つ書式」「中学生のための漢字辞典」のふたつに分類されているため、検索性があり、必要に応じて様々な場面で活用できる。 ・「日常に役立つ書式」では、手紙（縦書き・横書き）、はがき、送り状、入学願書、原稿用紙などの書き方やレポートの書き方など日常に役立つ書式を取り上げている。 ・「中学生のための漢字辞典」では、人名用漢字表や部分別行書一覧、片仮名・数字・アルファベットの書き方を掲載している。名前への書き方も生活に役立つ。 ・「書き初めマスターブック」を新設し、ポイントを理解して主体的に取り組む学習を図っている。 ・二次元コードを活用して用具の準備・片付けの手順や毛筆教材の筆使いなどを確かめる動画やアニメーションを見ることができる。 ・SDGsに対応した題材も大切にしている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	新編 新しい社会 地理	東京書籍
<p>答申</p>		
<p>教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市の「めざす子供像」に沿った教科書であり、世界と日本の諸地域を、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」という地理学習の5つの視点から扱っている。「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」という5つのテーマへの目配りが効いており、デジタルコンテンツの内容が豊富で発展的な学習に役立つ点が特色である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の諸地域を、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマに基づいて扱っている。また、「もっと知りたい!」と題するコラムが34か所設けられ、本文を補足してより幅広く深い学びに結び付ける工夫がみられる。これらの特徴は、「幅広い知識と教養を身に付け」、「環境の保全に寄与」し、「伝統と文化を尊重」するという教育基本法の目標に合致するものである。 ・北方領土・竹島・尖閣諸島は「日本固有の領土」と明記され、北方領土は「ロシアが不法に占拠し」、竹島は「韓国が不法に占拠し」と説明される。尖閣諸島は「領土問題はありませんが、中国や台湾が領有権を主張しています」と説明され、学習指導要領の立場を踏まえた内容となっている（28～29ページ）。 ・グループで学習課題に取り組む「みんなでチャレンジ」のコナーが28か所設けられ、多様な意見に触れることで、他者を尊重しつつ協調して学びを深められる仕掛けが用意されている。これは、「豊かな心」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・地理学習の「5つのミカタ」として、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」の視点が紹介され、世界と日本の学習にこれらの視点を適用することで学びが深まることが適切に示されている（6ページ）。このことは、「確かな学力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・「持続可能な地域の在り方」の単元では、地域調査を通じて地域の課題を見出し、地域のこれからの提案し発信する取り組みが扱われている。この扱いは、「よりよい社会の形成者となるための力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・大単元（「世界と日本の地域構成」「世界のさまざまな地域」「日本のさまざまな地域」）ごとに「導入の活動」が設けられ、写真や主題図の読み取りなどを通じて学習にスムーズに入れるよう工夫されている。また「世界の窓」と題する美しい写真ページが世界各州の冒頭に置かれ、学習意欲を高める役目を果たしている。 ・世界と日本の各地域の学習がバランスよく配分され、幅広い知識が身に付くよう工夫されている。世界の各地で暮らす人々の肉声を届けるコラムも用意され、臨場感をもって地域学習を進められるよう工夫されている。和歌山県については、県庁所在地の例として和歌山市の写真（30ページ）、飛び地の例として北山村の地図（31ページ）、近畿地方の農業の例として海南市のみかん畑の写真（210ページ）が掲載されている。 ・「スキル・アップ」というコラムが31か所設けられ、時差の調べ方や、写真・雨温図・分布図・統計地図・地形図の読み取り方など、多様な地理的技能が身に付くよう工夫されている。 ・1単位時間の分量を見開きの2ページとして、最初に「学習課題」を設定し、「チェック」で本時の学びを振り返り、「トライ」で学びを思考・判断につなげる構成となっている。 ・要所に配置される二次元コードからデジタルコンテンツにアクセスできる。動画や地図、統計資料や用語集、ワークシートなど、豊富なコンテンツが用意される。「地域調査の手法」の単元では、「調査テーマを決めるヒント」「調査に役立つ資料の集め方」「GIS（地理情報システム）の使い方」などの動画が用意され、「持続可能な地域の在り方」の単元では、「地域の課題を見つけるヒント」「プレゼンテーションソフトの活用」などの動画が用意される。これらは、生徒の主体的な思考力・判断力・表現力の育成に役立つ。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	中学社会 地理 地域にまなぶ	教育出版
<p>答申</p> <p>教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市の「めざす子供像」に沿った教科書であり、学習指導要領で重視される資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」）の育成が重視されている。世界と日本の諸地域にみられる様々な地球的課題や地域問題への目配りが効いた教科書であり、生徒が主体的に問題意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から ・世界と日本の地域的特色が包括的に説明され、地球環境問題や公害や防災が適切に扱われ、地域の伝統文化が受け継がれてきた理由にまで踏み込んだ説明がなされている。これらの特徴は、「幅広い知識と教養を身に付け」、「環境の保全に寄与」し、「伝統と文化を尊重」という教育基本法の目標に合致している。 ・北方領土・竹島・尖閣諸島は「日本固有の領土」と明記され、北方領土は「ロシア連邦によって不法に占拠されています」と、竹島は「韓国が…不法に占拠し続けています」と説明される。尖閣諸島は「中国が領有を主張し始め」たが、「日本は島々の大半を国有化しました」と詳細に説明され、学習指導要領の立場を踏まえたものとなっている（20～21ページ）。 ・世界各地の先住民族や在住外国人の人権問題や、それらの解決に向けた取り組みが扱われている。また、ルーツの違いや障がいの有無にとらわれないキャラクターが用いられ、多様性への配慮が行き届いている（IIIページ）。これらの特徴は、「豊かな心」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・学習指導要領で重視される資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」）への目配りが効いた内容であり、三つの柱の育成を明確に意識した構成となっている。この点は、「確かな学力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・世界の諸地域の学習では、六つの州のそれぞれについて地球的課題が取り上げられ、SDGsとの関連を考えさせる工夫がみられる。また、「クロスロード」と題する見開きの2ページの特設ページが6か所設けられ、持続可能な社会に向けた様々な取り組みが紹介されている。これらの特徴は、「よりよい社会の形成者となるための力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合するものである。 ・「地理の窓」と題するコラムが53か所設けられ、本文の内容をもとに、更に学びを深めるための情報が多く盛り込まれている。ウクライナ問題についての解説や、ニュータウンの高齢化・老朽化問題など、時事問題にも踏み込んだ内容が含まれる点が特色である。 ・「地域調査の方法を学ぼう」と「地域のあり方」の単元では、自然災害や公害問題の地域調査が取り上げられ、問題指向的な編修になっている点が特色である。 ・「地図を活用しよう」と題するページが4つのテーマにわたって設けられている。オリンピック開催国の分布図が示され、「オリンピックはどこで開かれるのだろうか」という問いを投げかけることで、逆にオリンピックが開催されない国々の存在やその理由について考えさせる構成になっている（127ページ）。 ・「まなびリンク」と題する二次元コードが要所に配置され、関連するデータへのリンク集や動画、クイズなどにアクセスできる。また、地理的技能の習得が重視され、「地理の技」と題するコラムが8か所設けられている。そこに配置された二次元コードから「まなびリンク」の動画にアクセスすることができ、当該コラムに関係する地理的技能の習得に役立つ内容となっている。 ・章や節ごとに「学習課題」と題する問いの小コラムが配置され、生徒が学習の見通しをもって取り組めるよう工夫されている。また、章や節の終わりに見開き2ページの「学習のまとめと表現」が設けられる。生徒が直接書き込める欄も多く、主体的な学習に役立つ内容となっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国書院
答申		
<p>教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市の「めざす子供像」に沿った教科書であり、見やすく美しい写真や図表類と平易な文章によって、世界と日本の地理学習を効果的に進められるよう工夫されている。特に「地域調査のしかた」や、課題解決策の提案をめざす「地域のあり方」の内容が充実している。また、章・節ごとに「単元を貫く問い」を設定し、生徒が見通しを立てて学習を進められるよう工夫されている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の様々な地域が幅広く取り上げられるのみならず、地球を平面に投影した地図や、地球上の緯度・経度や等時帯、そして地域調査の仕方に至るまで、分かりやすく丁寧に説明されている。また、SDGs（持続可能な開発目標）との関連付けが随所にみられ、自然・産業・文化の多様性にも目配りされている。これらの特徴は、「幅広い知識と教養を身に付け」、「環境の保全に寄与」、「伝統と文化を尊重」という教育基本法の目標に合致するものである。 ・北方領土・竹島・尖閣諸島は「日本固有の領土」と明記され、北方領土は「ロシアが不法に占拠した状態」、竹島は「韓国は…不法に占拠し」と説明され、尖閣諸島は「解決すべき領有をめぐる問題はありません」と説明される。これらはいずれも、学習指導要領の立場を踏まえたものである（20～21ページ）。 ・「人権・多文化」をテーマに掲げたコラムや、現地の人々の肉声を紹介するコラムが配置され、地球上に暮らす多様な人々を等しく尊重する態度が重視されている。これは、「豊かな心」や「よりよい社会の形成者となるための力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・「解説」というコラムが53項目にわたり設けられ、分かりにくい用語の説明が丁寧になされている。これは、「確かな学力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・世界と日本の地域学習では、「写真で眺める」という見開きページを設けて導入とし、自然環境・人文現象の順に学習を進める構成になっている。和歌山県に関しては、田辺市の梅栽培の写真（203ページ）と、「林業が盛んな紀伊山地」の説明が載せられている（210～211ページ）。 ・「地図帳活用」という小コラムが56か所設けられ、教科書の内容を地図帳で確認することで、位置や分布、他地域との結びつきなどを理解して「深い学び」につなげる工夫がなされている。 ・各地域のトピックとして、経済格差や一極集中、環境問題や難民問題などが取り上げられ、こうした「地球的課題」の解決に向けて何ができるかを考えさせる内容になっている。 ・「技能をみがく」というコラムが21か所設けられ、統計資料の使い方や時差の調べ方、地形図の使い方やプレゼンテーション資料の作り方など、地理的技能を実践的に身に付けるための工夫がなされている。 ・「地域調査のしかた」や「地域のあり方」の単元では、「地域調査」をいかに行うかが詳しく説明されている。「どのように」や「なぜ」を追究できる調査テーマになっているかといった、実践的な説明になっている点が特色である（129ページ）。調査結果のまとめ方やプレゼンテーションの仕方も丁寧に説明されている。 ・章や節ごとに「問い」や「学習課題」が設けられ、生徒が「単元を貫く問い」を意識し、見通しを立てて学習を進めることができるよう工夫されている。 ・二次元コードが随所に配置され、教科書の内容とリンクした様々なデジタルコンテンツにアクセスできる。写真や統計資料、白地図や動画に加えて、「地域見える化 GIS ジオグラフィ」という、生徒自らが統計データをもとに主題図を作成できる GIS（地理情報システム）ソフトにアクセスできるのが特色である。 ・「アクティブ地理」という2ページのコラムが4か所設けられ、「自然災害から命を守ろう」などのテーマに沿って「主体的・対話的で深い学び」が実践できるよう工夫されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	中学社会 地理的分野	日本文教出版
<p>答申</p> <p>教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市の「めざす子供像」に沿った教科書であり、世界と日本の諸地域を、5つの「地理的な見方・考え方」（「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」）を働かせる観点から扱っている。写真や主題図が見やすく配置され、單元ごとの学習課題に対応した「ポートフォリオ」が用意されるなど、「地理学習に向かう力」を発揮させる工夫が施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から ・世界と日本の地域的特色が、個々の地域ごとにテーマを設定する形で、生徒がイメージしやすいよう工夫して扱われる。また、環境問題や資源・エネルギーに関わる国際社会の課題が扱われ、様々な地域の特徴ある文化も幅広く紹介される。これらの特徴は、「幅広い知識と教養を身に付け」、「環境の保全に寄与」し、「伝統と文化を尊重」という教育基本法の目標に合致するものである。 ・北方領土・竹島・尖閣諸島は「日本固有の領土」と明記され、北方領土は「ロシアが不法に占拠し」、竹島は「韓国が…不法に占拠し」と説明される。尖閣諸島は「中国が…領有権を主張」と説明されるが、「領土問題は存在していません」と明言され、学習指導要領の立場が堅持されている（20、21ページ）。 ・平和や生命の尊さに関わる題材（アフリカの民族紛争や沖縄県の基地問題など）や、基本的人権に関わる題材（フェアトレードや性的少数者への配慮など）が、積極的に取り上げられている。これらの題材は、「豊かな心」を育むという本市の「めざす子供像」に適合するものである。 ・世界と日本の諸地域を、5つの「地理的な見方・考え方」（「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」）を働かせるという観点から扱っている。この扱いは、「確かな学力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・「持続可能な地域をめざして」と題するページが16か所設けられ、当該地域に暮らす人々が課題解決のために進めている取組を学ぶことで、生徒が地域づくりの主体としての意識を持てるよう工夫されている。これは、「よりよい社会の形成者となるための力」を育むという本市の「めざす子供像」に合致している。 ・景観写真や主題図が見やすく配置され、人々の写真や肉声も要所に散りばめられ、生徒が臨場感をもって学習に取り組めるよう工夫されている。和歌山県では、飛び地として北山村（22、23ページ）、有田川町のみかん畑の写真（202ページ）、県内の観光ツアーを企画する取組（217ページ）が掲載されている。 ・「地域調査の手法」の單元では、「地域の特徴をつかむための5つの視点」（①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通・通信、⑤歴史的背景・地域活性化）に基づき調査テーマを決める道筋が示されている。 ・本文を補足して理解を助ける「地理+α」、具体的な作業を通して理解を深める「トライ」、様々な地理的技能を身に付けるための「スキルUP」などのコラムが随所に配置され、これらの活用により地理学習が楽しく円滑に進むよう工夫されている。また、「議論してみよう」と題するコラムが13か所設けられ、生徒を主体的・対話的で深い学びに導く仕掛けづくりが周到になされている。 ・見開き2ページで1単位時間の構成となっており、ほぼ全ての単位時間ごとに二次元コードが配置され、豊富なデジタルコンテンツにアクセスできる。單元ごとに、「イントロダクションムービー」（動画）、「ポートフォリオ」（ワークシート）、「確認小テスト」（練習問題）が用意され、また雨温図が作成できるシミュレーション教材も用意されるなど、生徒の主体的・対話的で深い学びを支援する工夫がなされている。 ・編・章ごとに「問い」、節ごとに「学習課題」が設けられ、1単位時間ごとに生徒がそれらの解決に取り組めるよう工夫されている。取り組みの成果は、デジタルコンテンツの「ポートフォリオ」（ワークシート）に書き込める形になっており、生徒が教科書とデジタルコンテンツをうまく往還できるよう工夫されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	新編 新しい社会 歴史	東京書籍
<p>答申</p> <p>全てにおいて各時代が目次と共通した色で表記されておりカラー資料も多く、平均的に分かりやすく表記されている。「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」「確かめよう」、「ふり返ろう」、「深めよう」の流れで構成し、章末にまとめられている。</p> <p>吹き出しを使い、保護者、担当教員の立場でも配慮を促しながら、これからの防災・エネルギーについても触れている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で300ページ。 ・各時代の分量については、平均的であるが、若干近代が多く、現代が少ない。 ・各時代が目次と共通した色で表記されている。 ・各章のはじめに導入活動として、資料が掲載されており、「小学校で習ったことば」、「資料の読み取り」、「みんなでチャレンジ」という問いが設定されている。また、「探究課題」という形で章を貫く問い、「探究のステップ」という形で各節の課題が示されており、学習に見通しを持つことができるようになっている。章末のまとめでは、導入で示された「節の問い」に対して、「確かめよう」、「ふり返ろう」、「深めよう」の流れで構成し、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる。 ・小団体での参加型学習「みんなでチャレンジ」を活用することで、対話を促し、深い学びを実現できるような工夫がされている。 ・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を用いたり、資料が大きく見やすい。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏の国（中国・韓国等）の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み、下に母国語読みの2種類のルビをふっている。 ・他分野・他教科との関連を図った学習として「リンクマーク」が紹介されており、二次元コンテンツの中で、その分野や教科の教科書の紙面を確認することができる。 ・巻頭、各章、各節ごとに二次元コードが用意されており、二次元コンテンツも「知識の確認」「解説動画」資料を拡大する「D-Zoom」「思考ツール」「白地図」「リンク集」「用語マスター」など、様々な専用コンテンツが用意されており、家庭学習においても、デジタルデバイス等で確認しやすいサイト構成になっている。 ・現代的な諸課題を自分事としてとらえるために、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つの視点でとらえ、様々な課題や克服のための取り組みを扱っている。 ・もくじの中で、火山の噴火や地震・津波などの災害の写真を扱っていることを担当の先生、保護者の方に配慮をお願いしている。 ・ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字に縁取りをしたり、凡例を使用せずに図中に直接示したりしている。また、グラフでは、読み取りにくい破線や点線を減らしている。 ・SDGsの観点からも再生紙・植物油インキを使用。環境に配慮しつつも、読みやすく、耐久性を高めている。 ・和歌山県に関連する資料を掲載している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	中学社会 歴史 未来をひらく	教育出版
<p>答申</p> <p>各章・各節の学習の見通しと、見やすく、問いと資料が示されているなど内容もより深く追究し、その時代の変化に注目するポイントが紹介され、見方・考え方を導くヒントが示されて図説、表記、ともに興味引く内容に精査されている。「身近な地域を調べよう」として、地域の歴史や生活体験と関連付けた内容になっていて、巻末にSDGsにも触れている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で317ページ。 ・各ページ横に解説文が掲載。 ・原始から現代の流れで系統的に構成されている。 ・各時代を目次と共通した色で表記し、生徒の興味を引くユニークなタイトル「クリスマスまでには帰れるさ」等、工夫、表現されている。 ・各時代の分量については、近代が多めである。 ・「HOP」「STEP」「JUMP」の段階を経て、思考力・表現力・判断力を高める活動が設定されている。 ・「まなびリンク」として、各章の初めに「役立つリンク集」や「歴史クイズ」「歴史の技」「資料や地図の読み取り方」などが二次元コンテンツとして用意されている。 ・「各章の構成と学習の流れ」で教科書の基本構成、学習の流れを、「本文ページの見方・使い方」で本文ページの資料や学習方法などが紹介され、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」ということにつながる。 ・問いを軸として課題解決的に追究していく構成となっている。 ・章末において、各時代の特色についてふり返り、時代の変化を考察し、「見方・考え方」を働かせた学習になるように工夫されている。 ・小学校の教科書で登場した人物にはマークを記している。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。地理や公民につながる内容にはマークを記載。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏（中国・韓国等）の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み、下に母国語読みの2種類のルビをふっている。 ・「身近な地域を調べよう」として、地域の歴史や生活体験と関連付けた内容になっている。 ・教科書の横幅が広いので、資料が見やすく配置されている。 ・二次元コードを23か所に掲載し、「まなびリンク」として学習に活用できるように工夫している。 ・SDGsの観点から再生紙を使用、植物油インキで印刷されている。 ・UDフォント・ユニバーサルデザインとなっている。 ・和歌山県に関連する資料を掲載している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	帝国書院
<p>答申</p> <p>本文では広く見やすく「確認しよう」、「説明しよう」の流れで構成し、章末には、「学習を振り返ろう」を設けており、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」ということにつながる。</p> <p>小学校での学習内容や地理や公民と関連する内容については、欄外に表記している。</p> <p>章末の「学習を振り返ろう」の中で、「話し合って「章の問い」を考察しよう」があり、グループでの対話を促す工夫をしており内容もより深く追究し、図説、表記、ともに興味引く内容に精査されている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で334ページ。 ・各章のはじめに「タイムトラベル」として、ページいっぱいにイラストが掲載されており、時代のイメージを視覚的に捉えることができる。さらに、「章の問い」を設け、学習に見通しを持つことができる。原則見開きの2ページが1単位時間の内容。「学習課題」、各時代の分量については、原始と現代が少なく、近代が多い。 ・見開きの2ページの中で、まず、課題を提示することで解決すべき事柄を把握し、キャラクターの吹き出しの問いや「確認しよう」、「説明しよう」の問いで課題追究の視点や方法を示すことで、解決に導く構成となっている。 ・各章の導入で、小学校で学習した内容や人物を、年表とともにイラストで示し、各ページにおいては、小学校で学習した人物や語句を、ページの下に青色で記載している。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・見開きの2ページの中の「説明しよう」や各章末の「学習を振り返ろう」で言語活動の充実を図る工夫をしている。 ・原始から現代の流れで系統的に構成しており、小学校での学習内容や地理や公民と関連する内容については、欄外に記入している。 ・「未来に向けて」のコラムが設けられており、現在の私たちの生活と関連のある事柄について記載している。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏の国(中国・韓国等)の人名・地名には、上に日本語読みと下に母国語読み(カタカナ)の2種類のルビをふっている。さらに、国名を略称で示すこと、中国・朝鮮半島・地名のうち、現在使われている地名は、現地語読みを優先していること、国名・人名は日本語読みを優先していることを目次で説明している。 ・各章の導入と章末には 二次元 コードを付しており、関連する動画をみることができただけでなく、ワークシートや確認クイズを活用した学習をすることができる。 ・教科書の横幅が広いので、資料(写真・地図・グラフ等)が大きく見やすい。 ・和歌山県に関連する資料を掲載している。 ・特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいになっており、読み間違えにくいユニバーサルフォントを使用している。また、SDGsを意識した、軽くて耐久性に優れた再生紙を使用しライスインキで印刷している。 ・人権・多文化、環境・エネルギー、情報・技術、防災、平和・安全、伝統・文化というテーマのコラムを設けている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	中学歴史 日本と世界 改訂版	山川出版社
<p>答申</p> <p>内容をより深く追究し、詳細な説明、詳しい図説、表記、ともに興味を引く内容に精査されている。各章の始めに導入資料として年表やその年代の要約、写真等章全体のイメージをつかみ、章末の「まとめ」で振り返りを行い、各時代の流れや特徴を確認するという学習の流れは、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」ということにつながる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で296ページ。 ・「歴史にアプローチ」では、時代を通した視点・グローバルな視点で見たテーマや、ポイントをしぼったテーマなど、10のテーマを取り上げ、それぞれ多角的・多面的に考察する力を養い、歴史の理解を深めることができる。 ・見開きの2ページごとに設けた学習課題のほか、資料に課題を付けることで、課題追究の視点や方法を考えやすくしている。 ・本文の語尾が常体になっていたり、登場する人物が多かったりと、高等学校における学習にスムーズに移行できるように工夫している。 ・小学校の学習指導要領で取り上げられている人物を第1章1節で取り上げ、それ以降も既習事項を踏まえた構成となっている。 ・ステップアップの課題や各章のまとめにおいて、表にしたり、自分の言葉で表現したりする課題が設けられており、言語活動の充実につながる工夫をしている。 ・現代の私たちの生活と比較して考えやすくする工夫をしている箇所がある。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏の国(中国・韓国等)の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み・下に母国語読みの2種類のルビをふっている。 ・各時代が目次と共通した色で表記され、見開き冒頭の主題については、世界史と日本史の色分けをしている。 ・各時代の分量については、中世が多く、現代がやや少ない。 ・各ページの資料に課題を付し、対話的な学びを促す工夫をしている。 ・各章末に、まとめを設けており、各時代を振り返り、表にまとめたり、文章で表現したりする力を養うことができる。 ・二次元コード等を用いて、関連する資料を拡大して見ることができ、約1～2分の動画を見て、理解をより深めるねらいがある。 ・教科書の横幅が広いので、資料(写真・図・地図等)が大きく見やすい。 ・和歌山県に関する資料を掲載している。 ・SDGsへの配慮という観点から、「質の高い教育をみんなに」をめざし、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。また、「つくる責任、つかう責任」という観点から、資源に配慮するという目的でページ数を抑え、「緑の豊かさも守ろう」の観点から、再生紙と植物油インキを使用している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	中学社会 歴史的分野	日本文教出版
<p>答申</p> <p>内容をより深く追究し、図説、表記、ともに興味を引く内容に精査されている。</p> <p>巻末に防災に触れ、広川堤防等地域の防災にも触れ学習に導入しやすくなっている。また、平和教育、政治参加にも触れるなど、近代史にも力を入れている。特色として「先人に学ぶ」、「各時代の女性」、「地域に学ぶ」のコラムを設け、その中でSDGsの17のゴールと関連の深いものには、マークをつけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で324ページ。 ・各編のはじめに、その時代を概観できる資料が並べられ、さらに、年表と地図から日本と世界の結びつきを意識できる。また、編を貫く問いと各節の問いが紹介されており、学習の見通しがもつことができる。「学習課題」、鍵となる「見方・考え方」、本文、「確認」、「表現」の流れで構成し、編末には「まとめとふり返し」を設けており、「自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶ」につながっている。 ・見開きの2ページの中で、まず課題を解く鍵となる「見方・考え方」を提示して、解決すべき事柄を把握し、吹き出しの問いや、「資料活用」、「確認」、「表現」の問いで、課題追及の視点や方法を示すことにより、解決に導く構成となっている。 ・小学校で学習した人物は、欄外にリンクコーナーで表記している。 ・見開きの2ページの中の「表現」や資料を活用して学び合える問いには「学び合い」マークがついており、言語活動の充実を図る工夫をしており、身近な地域の歴史をグループで探究できるよう具体例を示しながら、課題の設定、調査の仕方、報告の仕方などが解説されている。また、「でかけよう！地域調べ」で実践例を紹介し、体験を通して探究できるよう工夫されている。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏の国（中国・韓国等）の人名・地名には、日本語読みと母国語読みの2種類のルビをふっている。さらに、外国の漢字表記のしかたについて、教科書の構成と学び方で説明している。 ・地理や公民と関連する内容については、欄外にリンクコーナーを設けて表記していたり、各時代を目次と共通した色にしている。各時代の分量については、近代が多い。 ・資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験する「チャレンジ歴史」のコーナーを設けている。 ・二次元コードがついており、各編・各節の問いを紹介する動画やワークシート、関連資料、関連HPが確認できる。 ・教科書の横幅が広く、資料（写真・地図・グラフ）が大きくて見やすい。特に文化を学習するページでは見開きの4ページを使い、資料をさらに大きく紹介している。カラーユニバーサルデザインに配慮しており、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。また、植物油インキと再生紙を使用している。 ・「先人に学ぶ」、「各時代の女性」、「地域に学ぶ」のコラムを設け、その中でSDGsの17のゴールと関連の深いものには、マークをつけている。 ・和歌山県に関連する資料が掲載されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	新しい歴史教科書	自由社
<p>答申</p> <p>巻頭に「日本の世界文化遺産」のページを設け、地図と写真を掲載している。各章の初めに一つの資料を取り上げ、キャラクターが発する疑問により、興味を持って学習に入ることができるようになっている。章末には「調べ学習のページ」により、生徒の探究を促し、「復習問題のページ」では基礎的な用語や知識の定着をはかり、「時代の特徴を考えるページ」では、課題学習で学んだことを自分で構造化し、表現する場を設け、図説、表記、ともに詳細な説明が行われている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で312ページ。 ・登場人物紹介コーナーで、小学校で学んだ人物を中心に、年表風に紹介し、時代の流れを示している。「対話とまとめ図のページ」ではキャラクターによる時代の鳥瞰・大観のための対話篇をもうけている。 ・序章のなかの1節に「地域の歴史を調べる」のページがあり、自分達の暮らす町の歴史を調査する際のポイントがまとめられている。 ・欄外に年表が置かれ、その単元で学ぶことが年表でどこに位置するかを明確に意識できるように工夫されている。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。漢字文化圏の国（中国・韓国等）の母国語でのルビはない。 ・見開きの2ページの中の「チャレンジ」や章末のまとめの中で、見方・考え方、多面的、多角的に見る力を育む工夫がなされている。 ・単元の概説的な記述ではまだ、歴史の深さを実感するには不足していると考えられた場合、1ページ、2ページのスペースをとって、コラムを掲載している。 ・原始から現代の流れで構成されている。 ・もくじの色と各時代のページ数の色がリンクしている。 ・各時代の分量については、近代が多く、中世と現代が少ない。 ・章末のまとめにあたる「〇〇のページ」によって、学習をふり返り、対話的な学びや、多面的・多角的に学び表現する工夫がされている。 ・二次元コードは無い。 ・「正確な日本地図をつくった伊能忠敬」や「水泳ニッポンと1964年の東京五輪」、「日本の天皇と中国の皇帝」など、多彩なコラムをたくさん採用し、幅広い知識と教養を身に付けさせる入り口となるように配慮されている。 ・見出しのタイトルに1～94の通し番号がふられている。 ・「知っとくポイント」という直接単元の内容と密接につながっているわけではないが、豆知識として盛り込まれている。 ・教科書の横幅が広いので、各単元で取り扱う資料が大きく見やすい。 ・まとめのページでは、様々な資料が掲載されている。 ・巻末に世界各国・王朝の興亡一覧、初代神武天皇から今上天皇に至る歴代天皇の系図が掲載されている。 ・巻末に元号→西暦早見表がある。 ・和歌山県に関連する資料が掲載されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	新しい日本の歴史	育鵬社
<p>答申</p> <p>各章の始めに、その時代の見方・考え方を示し、中学生のキャラクターの吹き出しで発問したりして、中学生がスムーズに学習できるように工夫している。図説、写真等も多く興味引く内容で容易に直感的に文章内容を理解しやすくなっている。導入ページでは、「歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、章末には、「学習のまとめ」を設けており、このような流れの学習は、「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」ということにつながる。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で308ページ。 ・各章の始めに、その時代の見方・考え方を示し、中学生のキャラクターの吹き出しで発問したりして、中学生がスムーズに学習できるように工夫している。 ・導入ページでは、「歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、資料を用いて「鳥の目」「虫の目」で時代を見ている。本文ページでは、見開きの2ページを1単位時間とし、学習課題が示され、右下に学習のまとめとなる課題を示している。 ・「歴史ビュー」では、本文の内容にかかわる事項について、多角的な視点での解説をしている。 ・見開きの2ページの中で、まず、課題を提示することで解決すべき事柄を把握し、イラストの吹き出しの問いで課題追究の視点や方法を示し、課題解決をしやすくしている。 ・小学校で学習した人物の振り返りを行い、歴史学習での十分な準備を行っている。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・見開きの2ページ右下の問いや章末の「学習のまとめ」で、言語活動の充実を図る工夫をしている。 ・「歴史新聞をつくろう」で身近な地域の歴史に触れ、現代に生きる私たちとのつながりについて認識することができる。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏の国(中国・韓国等)の人名・地名には、おおむね、日本語読み・母国語読みの2種類のルビをふっている。 ・原始から現代の流れで系統的に構成している。 ・各時代を目次と共通した色で表記している。 ・各時代の分量については、原始がやや少なく、現代がやや多い。 ・学習のまとめで、グループで話し合う課題を設定したり、「歴史ズームイン」では、各章の学習をさらに掘り下げ、意見交換し、理解を深めたりできる。 ・各章末に学習のまとめが設けられており、各時代を振り返り、学習した知識や思考の過程を再確認することができる。 ・二次元コードを読み取り、情報を読み取ることができる。 ・教科書の横幅が広いので、資料(写真・図・地図等)が大きく見やすい。 ・和歌山県に関する資料を掲載している。 ・環境に配慮し、植物インキで印刷しており、本文用紙の一部には再生紙を使用している。また、色覚特性を踏まえ、判別しやすい色の使用や表示の工夫を行っている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	国史教科書 第7版	令和書籍
<p>答申</p> <p>A5サイズでコンパクトだが、本文ページでは教科書の中では唯一縦書きで、日本史観点から世界背景を表し、節ごとの課題がまず示され、解説文があり、写真や図、文献資料などが掲載されている。全般的に深く説明されており、記述が詳細に表現するため、説明文等フォントが小さくなっている。図説や写真が白黒であるが興味深いものを取り上げている。巻末に資料集が年代別にカラーでまとめてある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・A5判で520ページ。 ・各章の導入では、政治・外交・文化・産業の4つの章を貫く問いが紹介され、簡単な年表で概観できるようになっており、章末には単元をふりかえる活動や単元をまとめる問題、年表がついている。 ・小学校で学習した人物と文化を思い出し、一番尊敬する人について調べ、歴史カードをつくる学習が最初に設定されている。 ・序「国史を学ぶにあたって」において、「歴史の調べ方」「歴史的な見方・考え方」などの学習の進め方を紹介している。 ・各章の時代のはじめりに、漫画絵によって興味を引く工夫がされている。 ・章末の取り組みで、言語活動に取り組むことができる。 ・P394「歴史について議論しよう」、P404「ディベートしよう(近代)」などの章末の取り組みで、言語活動に取り組むことができる。 ・近世のまとめにみられる「展覧会にいこう」で、身近な地域で行われている、展覧会でレポートを作成するという体験活動を通して学習できる。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏の国（中国・韓国等）の人名・地名には、日本語読みの1種類のルビをふっている。はじめて使われる言葉にはルビがふられているが、2度目の時はルビがない。 ・基本的内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探究を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成することを意識している。また、縦書きを採用し、読書する楽しみを提示しようと試みている。 ・原始から現代の流れで構成してあり各時代の分量については、現代が少ない。 ・各章の目次はあるが、各節の目次はない。 ・章の学習をふりかえる「まとめ」のページがあり、学習した知識や思考の過程を確認する問題がある。 ・二次元コードは、P461に1つだけある。ホームページの紹介はない。 ・従来の歴史区分を用いつつも、我が国の歴史の特色に従って、歴史の転換点を設定したと述べている。また、天皇を軸として語ることで、歴史の連続性をより実感できるように工夫したとしている。 ・巻末に、各時代のカラーの地図と日本美術図鑑が掲載されている。本文中の地図や資料は白黒である。グラフの掲載は少ない。 ・エルトゥールル号の遭難事件がコラムで取り上げられている。 ・教科書の課題は、我が国が古代以来、王朝交代を経ずに国家を継続できたのはなぜかである。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	新編 新しい社会 公民	東京書籍
<p>答申</p> <p>ほぼ全てのページに二次元コードがあり、説明動画やワークシート、つまずきを補うシミュレーションや確認クイズなど個別最適な学びを支えるコンテンツが準備されている。様々な現代的諸課題と克服のための取り組みを学習することで、よりよい社会の形成者となるための力を育むことができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決的な学習を重視しており、章（単元）を貫く問いを「探究課題」として設定し、各節の「探究のステップ」、1時間ごとの「学習課題」の3段階の問いを設けることで、無理なく課題解決的な学習に取り組める工夫がみられる。 ・各章の導入では、「みんなでチャレンジ」のコーナーを設け、グループで話し合うなどの対話を促すことで、多様な意見に触れながら当該単元で学ぶ内容についての問いを作るよう工夫されている。また、小学校で学習した内容を用語や写真で振り返るページを用意し、小・中学校の学習の円滑な接続を図っている。 ・見開きの2ページに、1時間ごとの学習課題、本文、資料、チェック項目等が定位置に配置され、学習の流れを把握しやすくなっている。 ・単元末には、「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」の活動があり、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価の三観点に対応した学習のまとめができるようになっている。 ・二次元コードが各ページに示され、資料の解説動画やNHK for school 動画、インタビュー映像などのデジタルコンテンツを活用して、内容の理解や学習のふり返りを充実させることができるようになっている。 ・「18歳へのステップ」のページを設け、選挙権年齢と成年年齢の引き下げに対応して、実際の選挙の流れや契約における注意点について紹介し、生徒の主権者意識を高める工夫がみられる。 ・人権の保障に関して記述している項目は、「部落差別の撤廃」「アイヌ民族への差別の撤廃」「在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃」「男女平等を目指して」「性の多様性への理解」「障がいのある人への理解」「近年増加する在日外国人への理解」「子どもの人権」である。また、本文横の資料に「ハンセン病と人権」「LGBTQ+」「SOGI」の文言がみられる。 ・領土問題に関して記述している項目は、「日本が直面している問題」として、竹島問題及び北方領土問題の経緯と取り組み、並びに尖閣諸島への対応が2ページで紹介されている。拉致問題については、写真1枚とその説明がある。 ・日本の伝統と文化については、年中行事や各地域の気候や土地柄に応じた多様な伝統文化を取り上げ、多文化共生の必要性につなげている。 ・「SDGs（持続可能な開発目標）」については、主に第1章、第5章で取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用したり、グラフでは読みづらい破線や点線を減らしたりするなど、色覚特性のある生徒に配慮した紙面となっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	中学社会 公民 とともに生きる	教育出版
<p>答申</p> <p>社会的少数者の権利の保障をめぐる課題が広く紹介され、夜間学級や子ども食堂についてのコラムがあるなど、人権・平和に関する記述が充実している。学習を一步進めて技能や表現力を養うコーナーもあり、人々の多様なあり方を互いに認め、支え合う態度を身につけさせることができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・章（単元）を通して課題解決的に学習を進められるよう、単元を通して追究する問い、各節の問い、1時間の授業ごとの問いと、問いを3段階で設け、見通しをもって取り組めるよう工夫されている。 ・各章の導入では、「ウォーミングアップ！公民」のコーナーを設け、生徒の生活体験から出発して課題意識をもたせ、意見交換を通じて単元を貫く問いを作らせる工夫がみられる。また、各ページの脚注には、「小学校、他分野、他教科との関連」が示され、系統的、横断的に学習を進める上で親切的な構成となっている。 ・見開きの2ページに、1時間ごとの学習課題、本文、資料、解説、コラムが適切に配置され、基礎的な知識技能の習得が図れるようにしている。また、教科書右下に「表現！」の表示があり、毎時間の終わりに学習したことを活用して表現する活動を促すようにしている。 ・各章の終わりには、各節で学習したことをふり返る「HOP!」、章の問いについて考える「STEP!」、実社会の課題を探究する「JUMP!」の3段階で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価の三観点に対応した学習のまとめができるようになっている。 ・「SDGs（持続可能な開発目標）」については、巻頭、巻末のページで公民の学習全体に関わる大切な視点として紹介するとともに、各ページの脚注で関連する番号を示したり、各章の「JUMP!」に掲載されている取り組みがSDGsのどの目標と関係があるのかを質問したりするなど、SDGsを一つの軸として学習を展開していく構成となっている。 ・「公民の技」のコーナーを設け、生徒個人やグループでの活動を通じて、学習で身につけた技能や表現力を高める機会を設けている。 ・人権の保障に関して記述している項目は、「部落差別」「アイヌ民族への差別」「外国人に対する差別」「男女の平等」「男女共同参画」「障がいのある人とともに」である。また、「なぜ、差別は生まれるのだろうか」と題して、「LGBTと自分らしさ」「ハンセン病問題に取り組む学校」について各1ページで取り上げ、そこで「LGBT」「SOGI」「性的マイノリティ」の言葉についても説明している。 ・沖縄の基地問題については、特設ページを含め3ページの記述があり、日本の平和主義のこれからのについて意識を向けるきっかけを作っている。 ・領土問題に関して記述している項目は、「主権国家の三要素」「領土をめぐる問題」の中で、北方領土問題、竹島問題、尖閣諸島への対応が2ページで紹介されている。また、尖閣諸島については外交問題として特設ページでも取り上げている。拉致問題については、写真1枚とその説明（2か所）がある。 ・日本の伝統と文化については、特設も含め4ページで住居や伝統芸能を取り上げ、伝統文化の継承と異文化理解につなげている。 ・ユニバーサルデザインに基づくフォントを使用したり、配色を行ったりするなど、より多くの人の読みやすさに留意した紙面となっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	帝国書院
<p>答申</p> <p>生徒の日常から見出した問いを常に意識させ、また、活動型の学習を促すパフォーマンス課題や多様なアイコンを配置することで主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。言語活動など、学習の基盤をつくる活動の充実を図ることができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・章（単元）を貫く問いを「章の問い」とし、小単元の問いである「節の問い」、1時間ごとの「学習課題」の3段階の問いを設けることで、問いを構造化し、見直しをもって学習に取り組める構成となっている。 ・各章の導入では、鳥瞰図的なイラストを用いて、そこに描かれている事柄を比較し、違いや共通点を見出す作業をさせることで、生徒の興味・関心を高めながら日常の中から問いを見つけさせる工夫がみられる。この大判イラストを活用した導入は、生徒にとって問いを生みやすい手立てであるといえる。 ・小学校での学習や他分野、他教科との関連のある題材には、各ページの脚注で「小・地・歴の関連アイコン」を示し、既習事項を踏まえながら学習を進めていく足掛かりを設けている。 ・見開きの2ページに、1時間ごとの学習課題、本文、資料等が適切に配置され、教科書右ページ下の「確認しよう」で基本的な知識の定着を確認し、「説明しよう」で表現活動につなげている。 ・単元末の「学習を振り返ろう」では、まず節の問いを振り返り、次に「学習の前に」で見つけた章の問いを振り返るといった2段階のステップによって、それぞれ「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点に沿った評価ができるようにしている。また、「アクティブ公民AL」として具体的なテーマを設いたパフォーマンス課題を準備し、活動型の学習で終わることで「主体的に学習に取り組む態度」で評価できるようにしている。 ・二次元コードが章の始めと終わり、節のはじめなどに適宜記載され、統計資料、用語解説、巻末法令集やNHK for school 動画、思考ツール、白地図などのデジタルコンテンツを活用して、内容の理解や学習のふり返りができるようになっている。 ・「18歳への準備」の特設ページを設け、選挙権を有し成人としての責任が生じる18歳に向けて身につけさせたいメディアリテラシーや契約などの実践的な知識や技能の習得を図る工夫がみられる。 ・人権の保障に関して記述している項目は、「部落差別の解消に向けた政策」「性差を超えた平等の実現」「アイヌ民族への取り組み」「在日外国人への取り組み」「平等権を実現するために」である。「LGBTQ+」の文字が本文にあり、選択できる制服を取り扱った写真もある。また、「偏見や差別をなくすために」と題し2ページを使い、生徒の人権作文、ハンセン病療養所内の保育園、部落差別に関する手記を掲載している。 ・領土問題に関して記述している項目は、「領土をめぐる取り組み」として、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」への対応が2ページで紹介されている。拉致問題については写真1枚とその説明がある。 ・日本の伝統と文化については、年中行事や能や歌舞伎などの伝統文化を取り上げ、未来に向けて引き継いでいく必要があると述べている。 ・「SDGs（持続可能な開発目標）」については、巻頭で17の目標とその実現に向けた各地の取り組みを紹介し、「未来に向けて」では持続可能な社会の形成についての具体的な事例を確認できるようにしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、配色は識別しやすい色使いとなるよう工夫されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	中学社会 公民的分野	日本文教出版
<p>答申</p> <p>単元を通して、見方・考え方を働かせることができるよう具体的な問いや活動事例を各所に配置している。また、単元の終わりには、既習事項を生かして社会の課題を自分ごととして捉え、解決へと導く工夫があり、自ら課題を見つけ、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質・能力を育成できる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決的な学習を重視しており、章（単元）を貫く問いを「章の問い」として設定し、各節の「節の問い」、1時間ごとの「学習課題」の3段階の問いを構造的に配置し、また毎ページの脚注に節の問いを記載するなど、常に問いを意識した学習に取り組ませる工夫がみられる。 ・各章の導入では、「学習のはじめに」のコーナーを設け、マンガをもとに気づいたことを話し合う活動を促すことで、ふだんの生活から公民で学習する内容を見つけさせる工夫がみられる。 ・見開きの2ページに、1時間ごとの学習課題、本文、資料等が適切に配置され、学習の流れが見やすくなっている。また、全ページで学習課題の解決に向けての手がかりになる「見方・考え方」の例を示し、示された見方・考え方を働かせて学習内容の理解をさらに深められるようにしている。 ・単元末では、「語句の意味を確認しよう」「章の問いに答えよう」「章の学習をふり返ろう」として評価の三観点に沿った活動の成果をポートフォリオに記入させることで、特に「主体的に学習に取り組む態度」についても生徒が自己評価できるようにしている。 ・二次元コードが各ページに記され、節の学習ポイントを解説した動画や関連資料、ポートフォリオや確認小テストなどのデジタルコンテンツを活用して、各自の学習進度やペースに合わせた学習ができるようにしている。 ・18歳成人や選挙権年齢の引き下げに関わって、「チャレンジ公民」の「実際の選挙の流れ」や「明日に向かって」の「大人と子供の違いを考える」などの教材を使って、生徒の社会参画を促すようにしている。 ・人権の保障に関して記述している項目は、「部落差別」「アイヌ民族への差別」「在日韓国・朝鮮人差別」「男女共同参画社会を目指して」「性の多様性を認め合う社会」「障がいのある人とともにつくる社会」「外国人とともにつくる社会」である。また、「ハンセン病」は資料に、「LGBT」「SOGI」は巻末の用語解説に記載されている。 ・領土問題に関して記述している項目は、「日本の領土をめぐる問題」として北方領土と竹島問題、「日本の領土をめぐる情勢」として尖閣諸島への対応が2ページで紹介され、さらに2ページを使って日本の領土をめぐる問題の解決に向けて詳しく解説している。拉致問題については、写真1枚とその説明がある。 ・日本の伝統と文化については、年中行事や各地域の気候や風土に応じた多様な伝統文化を取り上げ、伝統文化を継承していく方法について考えさせるようにしている。 ・和歌山県内の写真が6か所掲載されている。（p10 遠隔診療、p117 梅干しでおにぎり条例等） ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、グラフや図は、色覚特性のある生徒も読み取りが可能になるようにカラーユニバーサルデザインに配慮した配色や処理を施している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	新しい公民教科書	自由社
<p>答申</p> <p>一貫して、個人と家族、地域社会とのつながりや日本の伝統である「勤労・勤勉の精神」や「誠実さと利他の精神」を大切にしながら学習を進めていく構成となっている。生徒の伝統と文化を尊重する態度を養うとともに、郷土や国を愛する心を育むことのできる教科書である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <p>・各章の導入に特筆すべき手立てはみられないが、各章のはじめに章を貫く問いを明示している。また、1時間の授業を1単元と規定するとともに、各単元の学習課題を、年間を通した連番で示している。</p> <p>・見開きの2ページに、1単元（1時間）ごとの学習課題、本文、資料等が定位置に配置され、本文は字数を割いて丁寧に説明されている。「この教科書をよく読めば、（中略）～ことが分かります。」とよく読むことを推奨している。また、教科書右下の「ここがポイント！」では、この単元でおさえるべき重要な確認事項をまとめている。</p> <p>・各章の終わりに、「学習のまとめ」と「学習の発展」があり、「学習のまとめ」には各単元の太字で示された最重要語句を再掲している。この語句をみながら生徒が学習内容をふり返り、自己評価できるよう工夫されている。また、「学習の発展」では、示された課題のうち1つを選んで、400字程度でまとめる表現活動を行い、発展的な学習ができるようになっている。</p> <p>・共同社会の典型である家族の役割、家族のあり方を重視し、家族生活における「個人の尊厳」「両性の本質的平等」など自他の敬愛と協力が重要であること、家族の絆が社会の基盤であることを4ページにわたって記述している。</p> <p>・天皇の役割については、「天皇の役割と国民主権」の単元を設けて1時間で学習するとともに、「もっと知りたい」と題したコラムを2ページ設け、「宮中祭祀」等の「天皇のお仕事」について詳しく記述している。また、象徴天皇は、「現代の立憲君主制が目標とするモデルの1つとなっています」の記述も見られる。</p> <p>・日本の伝統と文化については、「文化の継承と創造」の単元を設けるとともに、「もっと知りたい」のコラム8ページを使い、日本人の精神、科学的思考、日本の芸術の特色、宗教について詳しく記述し、日本の素晴らしさを紹介している。</p> <p>・領土問題については、「わが国の領域に関する課題」として本文に記述があり、さらに「もっと知りたい」で北方領土問題と竹島問題を2ページ、尖閣諸島をめぐる危機を2ページにわたって紹介している。また、拉致問題についても、「もっと知りたい」で「なぜ多くの日本人が拉致されたのか。なぜ防げなかったのか。」などについて2ページにわたって詳しく紹介している。</p> <p>・巻末法令集に、皇室典範、武力攻撃事態対処法、海賊対処法が集録されている。</p> <p>・平等権と社会権の学習は、併せて1単元となっており、人権の保障についての個々の課題に対する具体的な取り組みの記述が本文にはない。「部落差別問題」と「ヘイトスピーチ解消法」について「もっと知りたい」で紹介されている。</p> <p>・「SDGs（持続可能な開発目標）」については、本文と「ミニ知識」のコラムで紹介している。また、古来から続く日本人独特の自然観には開発と保全を両立させる精神が息づいているとして、その感性を「日本型SDGs」としてとらえ直し、世界に発信していくことを促している。</p>		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	新しいみんなの公民	育鵬社
<p>答申</p> <p>現代社会の理想と現実を紹介し、「家族・地域社会・国家・国際社会」と「自分」との関係を常に考えさせることで、「他人事」を「自分事」として捉え自ら考える態度を育てることをねらいとしている。自ら課題を見つけ、人や地域社会と関わりながら見通しをもって粘り強く学ぶ態度を養うことのできる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入では、「章の入り口」を設け、章の学習内容の趣旨をとらえさせる様々な活動（カードづくりやロールプレイングなど）から入ることで学習への興味・関心を高めている。 ・小学校社会科で学習した内容を各章の扉で、また、地理的分野・歴史的分野で学習した内容を各ページの見開きで紹介し、既習事項との関連性を高め、スムーズに学習に入れるようにしている。 ・見開きの2ページに、1時間ごとの学習課題、本文、資料等が適切に配置されている。また、「学習を深めよう」「やってみよう」のコラムを挿入することで活動を誘い、知識面に留まらない思考力・判断力・表現力を身に付けられるようにしている。 ・章末では、「章のこれから」を設け、学習したことを生かして社会事象等の意味や意義を考えたり、社会に見られる課題の解決に向けた構想を膨らませたりする活動を取り入れ、学習のまとめができるようにしている。 ・天皇の役割については、「象徴としての天皇」の項目の中で、国事行為や外国からの賓客への会見などの記述があり、本文中に「現代の立憲君主制のモデルの一つとなっています」との記述も見られる。 ・日本の伝統と文化については、「日本文化の特徴」の項目で年中行事や能や歌舞伎の芸能、相撲や柔道の武道などを取り上げ、また、「文化の多様性と異文化理解」の項目で多文化共生社会の形成について記述するなど、4ページを使って、文化の継承と新しい文化の創造について紹介しており、わが国と郷土を愛する態度を養えるようにしている。 ・領土問題については、「領土・領海をめぐる問題」として、北方領土問題と竹島問題、さらには尖閣諸島をめぐる情勢について、政府の見解を紹介しながら5ページにわたって記述している。また、拉致問題についても、「考えを深めよう」で「拉致問題はなぜ解決していないのでしょうか。」について2ページにわたって詳しく紹介している。加えて、キャラクターによる「日本人としてこの拉致問題にどう向き合いますか。」の問いがあり、物事を「自分事」としてとらえるようにしており、自ら考える態度の育成を図っている。 ・巻末法令集に、武力攻撃事態対処法が収録されている。 ・人権の保障に関して記述している項目は、「男女の平等」「障害者差別」「外国人差別」「部落差別」である。また「学習を深めよう」のページでは、「在日外国人と多文化共生社会」「西光万吉」「知里幸恵」「ハンセン病」について紹介し、さらに自分で調べたり話し合ったりする活動につなげている。 ・「SDGs（持続可能な開発目標）」については、「SDGsがめざす持続可能な開発」として1時間の授業が計画され、私たちが日常生活と関連付けてできることを考えさせるなど、実践的な態度を養えるようにしている。 ・図版は、色覚特性をふまえて判別しやすい色を使用したり、表示を工夫したりすることで、生徒が見やすいように配慮している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地図）	新編 新しい社会 地図	東京書籍
<p>答申</p> <p>世界と日本の多様な諸地域をまんべんなくカバーし、SDGs や地球環境問題、領土問題や国際関係にも周到な目配りがなされた地図帳であり、教育基本法や学習指導要領の趣旨、及び本市がめざす子供像にとって適切な内容である。地図や統計図表を見やすく表現していることや、二次元コードのコンテンツが有用であること、設問の立て方に工夫がみられることが特色である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の諸地域をまんべんなくカバーし、自然環境と文化の多様性に目配りがなされ、地球環境問題や防災教育に関する資料も充実している。これらの特徴は、「幅広い知識と教養を身に付け」、「環境の保全に寄与」し、「伝統と文化を尊重」するという教育基本法の目標に合致している。 ・北方領土と竹島は「日本固有の領土」と明記され、北方領土は「ロシアが不法に占拠」、竹島は「韓国が不法に占拠」と説明される。尖閣諸島は「国際社会からも日本の領土であると認められている」と記され（171～172ページ）、学習指導要領の立場が踏まえられている。 ・生徒が興味をもって世界と日本の学習に取り組めるように、写真・キャラクター・イラストが効果的に使われている。また、北海道の地名とアイヌ語との関連が図示され、先住民に対する配慮がみられる（130ページ）。これらの特徴は、「豊かな心」を育むという本市の「めざす子供像」に合致している。 ・一般図・鳥瞰図・主題図・グラフ・統計資料が豊富に盛り込まれ、地理学習に加えて歴史学習や公民学習にも活用できる地図帳となっており、「確かな学力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・SDGs（持続可能な開発目標）との関連が強く意識され、関連するページや主題図・グラフにSDGsのマークが細かく付けられている。この扱いは、「よりよい社会の形成者となるための力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・地図の色調や濃淡のコントラストは目に優しく、等高線も目立ち過ぎないように工夫されている。文字はUD（ユニバーサルデザイン）フォントが用いられ、地図記号に加えて絵記号が用いられるなど、読図のしやすさが重視されている。鳥瞰図には海底地形も表現され、地球表面の凹凸を陸海の区分を超えて統合的に把握できるよう工夫されている。主題図や統計グラフは、読み取りやすさを重視して大きめに描かれている。 ・古代から近現代に至る史跡や出来事が一般図を中心に盛り込まれ、近畿地方や東京近辺における歴史と治水との関連を示したユニークな主題図が掲載されるなど、歴史学習や防災学習との関連が意識されている。 ・都市問題や国際紛争、移民問題や難民問題に関する資料が多く盛り込まれ、公民学習との関連が重視されている。 ・地球温暖化に関連する環境問題や自然災害についての資料が盛り込まれ、平成30年7月豪雨で大規模な浸水被害が生じた倉敷市真備地区のハザードマップが掲載されるなど（135～136ページ）、災害列島とも称される日本の状況を踏まえた内容構成となっている。 ・二次元コードが随所に配置され、デジタル地球儀やデジタル地図、統計資料など、様々な学習コンテンツにアクセスできる。デジタル地図については、生徒自らが様々なデジタル主題図を作成できるWebGIS（インターネットでアクセス可能な地理情報システム）の説明動画が提供されているのが大きな特色である。「地理院地図」「Google マップ」「RESAS（地域経済分析システム）」の使い方が分かりやすく説明されている。 ・「Bee's eye」という設問のコラムが随所に設けられている。単一の読図を行う「みっち」の問い、複数の読図を組み合わせる「つーたん」の問い、読図から更なる思考や調査につなげる「ばっち」の問いの三種類に分かれている点が特色である。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地図）	中学校社会科地図	帝国書院
<p>答申</p> <p>世界と日本の諸地域が偏りなくカバーされ、領土問題や地域・文化の多様性、SDGs や環境問題、自然災害と防災に対する配慮が行き届いた地図帳であり、教育基本法や学習指導要領の趣旨、及び本市がめざす子供像にとって適合的な内容である。歴史学習との関連性が強く意識されていることや、地図表現の仕方が豊富なこと、二次元コードのコンテンツが充実していることが特色である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の諸地域が偏りなくカバーされ、自然と文化の多様性に配慮がなされており、環境問題や防災に多くのページが割かれる。これらの特徴は、「幅広い知識と教養を身に付け」、「環境の保全に寄与」し、「伝統と文化を尊重」するという教育基本法の目標に合致するものである。 ・北方領土・竹島・尖閣諸島は「日本固有の領土」と明記され、北方領土は「ロシアが不法に占拠し」、竹島は「韓国が不法に占拠し」と説明される（81～83ページ）。尖閣諸島をめぐる国際情勢の説明はなく、「尖閣諸島をめぐる解決すべき領有権の問題は存在していない」とする学習指導要領の立場が踏まえられている。 ・写真に加えてキャラクターやイラストが多用され、生徒が世界と日本の地域の学習に親しみをもって取り組める工夫がなされている。また、先住民の存在が世界地図にイラストで明示され、北海道の地名の多くはアイヌ語が起源であることが示されるなど、社会的少数者に対する配慮がみられる。これらは、「豊かな心」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・地図の種類（一般図・鳥瞰図・主題図）とそれらの違いが簡潔に説明され、地図学習への適切な導入となっている。これは、「確かな学力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・SDGs（持続可能な開発目標）との関連が意識され、関連するページにSDGsのマークが付けられる。この扱いは、「よりよい社会の形成者となるための力」を育むという本市の「めざす子供像」に適合している。 ・地図の色調は鮮やかで、濃淡の区別が明確であり、等高線もくっきりと描かれる、文字はUDフォントが用いられ、可読性を高める工夫がなされている。地図記号は、従来のものに加えて農産物や工業製品には絵記号が用いられ、視認性や親しみやすさが重視されている。また、多くの一般図では果樹園が薄桃色で表現され、例えば和歌山県の土地利用の特色が一目でわかるよう工夫されている。 ・古代から近現代に至るまでの歴史的な出来事が一般図や鳥瞰図に多様な形で盛り込まれ、幕末期の江戸の土地利用図（136ページ）といったユニークな主題図も掲載されるなど、歴史学習との関連が重視されている。 ・環境問題や食料問題、そして国際紛争や難民問題に関する主題図や写真が充実しており、理科学習や公民学習との関連性が重視されている。 ・自然環境と災害・防災に関しては、プレートの運動や境界と火山や震央分布との関連が読み取れるように、主題図の表現が工夫されている。近年の気象災害の激甚化や線状降水帯発生のメカニズムも、主題図やイラストを用いて分かりやすく解説されている。 ・世界の生活・文化の多様性が自然環境や歴史との関連で理解できるように、主題図や写真の使い方が工夫されている。 ・二次元コードが随所に配置され、アニメーションやクイズ、動画や統計資料など、様々な学習コンテンツにアクセスできる。さらに、様々な統計主題図が作成可能な「地域見える化GIS（地理情報システム）」も用意され、ICTの活用に基づく主体的・対話的で深い学びへの対応が図られている。また、「地図で発見」として156問の設問が設けられており、読図の仕方や読図の楽しさが実感できるよう工夫されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
数学	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 1 2 3	東京書籍

答申

算数の振り返りや既習事項との関連づけとして「学習課題」が明示され、系統性もわかりやすいことから個々の実態に応じて自ら見通しをもって学習に取り組むことができる。主体的・対話的で深い学びの実現を促す学習活動を展開することも可能であり、授業でも自学自習でも使えるデジタルコンテンツが多数用意されている。身のまわり・社会とのつながりを題材とした内容、小・中・高のつながりや系統性を踏まえた内容なども豊かで、自ら考え、いろいろな意見を出し合って互いの考えを深めたり広めたりすることができる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

- ・1人1台端末を学びの文房具のように取り扱えるようにと、紙面右下の二次元コードから学びを広げる「導入動画」や「フラッシュカード」、「統計ツール」などのデジタルコンテンツの豊富な種類がある。デジタルコンテンツは3学年合計1752点ある。
- ・巻頭に「大切にしたい数学の学び方」の設定があり、自ら考え、考えたことを伝えるなど問題発見や解決する力を身に付けるポイントが示されている。また、「数学マイノート」があり、自分の考えや良いと思った友達の考え、振り返りなど学習ノートづくりの例示がある。
- ・算数と数学の学びをつなぐ単元として、0章「算数から数学へ」が1年生の教科書に設定されていることから、中学校数学の最初の授業開きで使えるようになっている。
- ・「節の導入」や「深い学びのページ」があり、場面の把握が難しいものに「導入動画」が用意されている。また、「節の導入」には、生徒が書き込んで考えることもできるスペースもある。
- ・身のまわりの題材を扱うページに、「マイ教科書・マップ」が設けられ、1年では47都道府県ごとのデジタル紙面が用意され、身のまわりにある立体をみる教材がある。(和歌山県：和歌山市庁舎、県立橋本体育館など)・3年では富士山の山頂はどれくらい遠くから見えるか富士見という地名から三平方の定理を深める学習教材がある。(那智勝浦町色川富士見峠富士山からの距離約325km)
- ・側注では既習の内容を確認する「ちょっと確認」があり、学び直しができる。また、既習の内容を振り返る「学びのベース 算数(たしかめ編)」、問の類題で少し難しい問題も扱った「補充の問題」など豊富な問題群がある。さらに反復が効果的な「問」にはデジタルコンテンツ「フラッシュカード」があり、ランダムに繰り返し学習ができるようになっている。
- ・章の学習後に、働かせた見方・考え方を振り返る「数学の目でふり返ろう」があり、数学内容のつながりや見方・考え方のつながりを実感することができ、小・中・高の連携が図られている。
- ・デジタルコンテンツ「ヒントと解答」では、「ヒント」、「解答」、「類題」から構成され、解けなかった問題の「ヒント」を見て再度考えたり、間違えた問題の「類題」を解き直したりすることで粘り強く学習に取り組むことができるようになっている。
- ・「Q(考えてみよう・調べてみよう)」では、「補助発問(①、②、…)」を手掛かりに、生徒が既習をいかして自ら考えたり、調べたりする活動を通して問題解決的な学習に取り組むことができる。
- ・知識・技能を活用する場面として、問題発見・解決の過程を意図した「深い学びのページ」が、ほぼ全ての章にある。
- ・問題の条件を変えるとどうなるかなど「深める」では、統合的・発展的に考えるきっかけが示されていることから、さらに深い学びへと導くようになっている。
- ・吹き出しや補助発問などに「同じように考えると」や「それなら」の文言をつけ、学びのつながりを生徒が自覚できるようになっている。
- ・ほぼ全ての節に「学びをふり返ろう」があり、その節で働かせた見方・考え方の振り返りができる。
- ・問、基本の問題、章の問題Aに「チェックボックス」の新設があり、生徒が自らの学習状況を把握し、自己調整しながら学びを進めることができる。
- ・必ず身に付けてほしい基本的な問題を生徒も認識できるように「♥」マークが付いている。
- ・「補充の問題」では少し難しい問題(★マーク)も扱い、個に応じて難易度を変えた内容になっている。
- ・「活用の問題」では、身に付けた知識・技能を活用して問題を解決する過程で、自ら考え表現する力を高める「記述式の問題」もある。
- ・各種の教育課題への取り組みとして、「防災・安全」「環境」「多様性の尊重」「伝統・文化の尊重」に関わる題材や「食品ロスの未来を予測しよう」などの課題がある。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
数学	中学校数学 1 2 3	学校図書
<p>答申</p> <p>各章・各節の始めに、「疑問を発見する」ページがあり、身の回りの生活の中や、数学の学習の中から、主体的に疑問を発見するようになっている。また、その疑問を受ける形で数学の問題におきかえるように導入問題がある。導入問題では、話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで対話的な学びが実現できるようになっている。章のまとめ問題や補助的なデジタルコンテンツが豊富にあり、個別最適な学びができるよう様々な配慮がみられる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各章、各節の始めに「課題を発見する」ページがあり、身の回りの生活の中や数学の学習の中から課題を発見することができるような構成になっている。 ・発見した課題を「Q」として数学の問題に置きかえ、問題解決にむけた話し合いを進めることができる設定となっている。 ・「Q」では、常に話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで対話的な学びが実現するようになっている。 ・側注に示された「見方・考え方」の例を参考にして、自分の中にある「見方・考え方」を見つけて学習を進めていくことができる。 ・個に応じて利用できるように、「チャレンジ」、「パトロール隊」、「ふりかえり」、「解答」を二次元コードで設定し、習熟やつまずき対策ができるようになっている。 ・数学的活動のページでは、日常生活や社会の事象を数理的にとらえ、数学的に考える資質・能力を育成することができるようになっている。 ・話し合い活動をとおして、生徒が主体的に問題発見から課題解決、さらに新たな問題を発見したり、条件を変えて考えたりできるような問いかけが示され、学びが深まるようになっている。 ・章末の「深めよう」、章ごとの「疑問を考えよう」などの課題を通して、章ごとの学習だけでなく、領域横断、教科横断的な学習に取り組むことができる。 ・「説明する力をつけよう」では、問題の解決の方法を説明する活動が設定されているので、確かな学力につながっていくようになっている。 ・「章のまとめの問題」に「活用」が設定されているので、「活用する力」に対応した課題に取り組むことができるようになっている。 ・巻末の「さらなる数学へ」では、1年間で学習した内容を活かしSDGsに関連した課題について自分たちで何ができるのかを考察したり、興味深い課題を取り上げ解決したりすることができる。 ・本文中の「おしえて!」では、学習する中で生徒が自然に感じる疑問を取り上げ、「Tea Break」で解説している。 ・「Tea Break」や章末の「数学へのいざない」、「深めよう」、巻末の「疑問を考えよう」では、上位学年で扱う内容にもふれている。 ・裏見返しに「プログラミングを体験してみよう」のページがあり、論理的な思考の大切やICT活用の重要性に気付くことができる。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
数学	中学数学 1 2 3	教育出版
<p>答申</p> <p>学んだことを振り返るページが全ての章の前にあり、既習事項との関連や予習を促す仕組みがある。また、実社会や日常生活などの数学にかかわる話題を取り上げ学習と関連づけることで、数学の有用性を実感し、学習による自己の成長を感じることもできるようになっている。学習の過程で生じる生徒の疑問から、主体的・対話的な学びを通して、学びを進め深める学習活動につながる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各章を学習する前に「章を学習する前に」、学習後に「学習のまとめ」基礎・基本が確認できる。 ・例(例題)→たしかめ→問→補充問題と学習内容が構成され、自信をもちながら取り組めるようになっている。 ・各章のはじまりは導入課題「Let's Try」、活用の場面には「学びのプロセスページ」があり、身近な題材で対話的な学びにつながるように工夫されている。 ・巻末に補充問題があり、「たしかめ」や「問」の類題に繰り返し取り組むことができる。 ・数学的な考え方を働かせたい箇所に【羅針盤マーク】があり、見方・考え方を意識することができるようになっている。 ・章末に「学んだことを活用しよう」(章の問題)、巻末に「学んだことを活用しよう+プラス」があり、知識・技能を活用する問題に多く取り組める。 ・「数学しごと人」というページでは、仕事に数学を活用している人へのインタビュー内容を掲載し、数学が実社会で役立っていることを実感することができ将来の職業を考えるきっかけとなっている。 ・章末「学習のまとめ」では、学習感想を書かせる場面が設けられ、学習を振り返ることができる。 ・二次元コードを利用したデジタルコンテンツ「まなびリンク」があり、アニメーションや映像などを用いて動的・立体的な表現や実験映像を見ることができる。 ・自分の考えを説明したり、友達と伝え合ったりする活動が充実するように、「みんなに説明しよう」「話し合ってみよう」などのマークがある。 ・「章を学習する前に」や本文の「もどって確認」など小学校の既習内容を振り返ることができるようになっているため、小学校・中学校の滑らかな接続に配慮されている。 ・巻末に「学びのマップ」があり、算数の内容をいつでも振り返ることができるような工夫がある。また、算数のコンテンツも数多く用意されている。 ・巻末の「学びのマップ」とリンクした「小学校算数 計算のふり返し」では、算数で学習した計算を振り返ることができるようになっている。 ・「さくいん」に英語の表記を併記していることから、数学の国際性を感じ取ることができる。 ・外国にルーツをもつ生徒のキャラクターを本文内に登場させ多様性のある社会を意識したつくりになっている。 ・1年「素数」と「素因数分解」は自然数の範囲で考えるため、「負の数」を導入する前に扱われている。 ・現代的な諸課題の対応として、生徒一人一人が自ら課題を発見し、思考し、接続可能な社会の形成にかかわっていくようにSDGs教育に配慮した教材が設定されている。 ・巻末には、社会や職業のなかで数学が活用されている例を紹介した「数学の広場+プラス」がある。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
数学	未来へひろがる数学 1 2 3	啓林館
<p>答申</p> <p>数学的な見方・考え方を体得するために、本文の大切な考え方を働かせている箇所に下線をひき、その右側にどんな考え方を使っているかを示す「標識」の配置が随所にある。学んだことから数学的な見方・考え方を働かせて、生徒自ら課題を発見・解決し、他者と意見を出し合い、比較したりする場面設定も多く設けられている。1人1台端末も有効に活用することで数学の学習がさらに広がるよう工夫されている教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから学びを広げる「動画」や「フラッシュカード」、「問題開設」、「プログラミング」などのデジタルコンテンツの豊富な種類がある。デジタルコンテンツが3学年合計1384点ある。 ・デジタルコンテンツ活用により、教科書のページ数、重さを約1割削減され、生徒の持ち運びに配慮されている。 ・2年生、過去の気温や降水量などのデータをダウンロードできるWebページ（気象庁）にリンクしている。 ・数学の学習事項に関連させた「プログラミング」コンテンツ（スクラッチ）があり、数学の学習内容の定着とプログラミング的思考を育むことができる。 ・教科書の全ての「例」「例題」を丁寧に解説する動画がある。 ・巻頭に、学びは新しい時代へ！「ICTの活用でひろがる数学の学習」見開きページがあり、よりよい学びを実現するための手段としてICT活用しながら学習をすすめるGIGAスクール時代の教科書であることが強調されている。 ・日本一低い場所にある枯木灘（かれきなだ）海岸海底ポストの画像を用いて「－ マイナス」についての数の学びにつなげている。 ・節ごとに「学習のとびら」、内容のまとめごとに「小見出し」がそれぞれ設けられていることから、目的意識をもって学習に取り組むことができる。 ・数学的な見方・考え方の利用場面では、「ステップ1」「ステップ2」「ステップ3」の段階で構成され、「問題を設定する、解決する、解決の過程をふり返って改善を図ったり新たな問題を設定したりする」といった数学的な問題発見・解決の過程を意識できるようになっている。 ・生徒1人1人が主体的に学習に取り組めるよう、また、協働的に学習を進められるよう、身の回りの問題を数学を利用して解決する活動や説明し伝えあう活動場面が数多くある。 ・『説明しよう』、『話しあおう』、『まとめよう』では、自分の考えを整理して伝えたり、他者の考えを自分の考えと比較して考えたりしながら学習を進めていくことができる活動場面の設定がある。 ・各単元は学びやすいようにいくつかの節に分かれ、節の先頭に「学習のとびら」（導入課題）が設定され、その学習を進めれば解決できる身の回りの問題などが取り上げられている。 ・単元内では、巻頭で紹介した『たいせつな考え方』が含まれる学習場面に「すでに学んだ形にする」、「きまりを見つける」、「条件をかえる」などの標識があり、学習を通して「数学的な見方・考え方」を身に付けられるように配慮されている。 ・学習したことを適用する『例』、『例題』を種類多く配置されている。また、「例」、「例題」にならって解くことができる『問』も十分に設定され、基礎的・基本的な知識・技能が身に付くように構成されている。 ・『問』と同じ種類の問題が、ページ下部のデジタルコンテンツ『補充問題』に豊富に用意されており、タブレット端末で問題に取り組むことで、知識・技能がしっかり定着するようになっている。 ・大切な考え方を働かせている場面がある本部中の箇所には下線が引かれ、その右側にどんな考え方を使っているかを示す「標識」が配置されている。 ・章末問題（学びを身につけよう）では、問題横に関連する学習内容を扱うページが示されて、そのページを参考にしながら問題に取り組むことができる。 ・紙資源の有効利用に関連した『牛乳パックの容積』、日ごろの災害への対策に関連した『災害から身を守ろう』などを取り上げ、今日的な課題やSDGsへの対応などの題材が取り上げられている。 ・学習展開においては、話し合いや伝え合う学習場面を多く設定し、他者と協働的に問題を解決していく態度が身に付くように構成されている。 ・学習をなめらかに接続するために小中の接続や巻末には『学びをふりかえろう』を置いて算数の学習内容を再確認できるようにしてある。また、高等学校との関連のある内容を『発展』課題として取り上げている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
数学	これからの 数学1 2 3	数研出版
<p>答申</p> <p>日常の学びを生徒が主体的に進めることができるように構成されている。各章に入る前に、学習内容と関係する既習内容のページ「ふりかえり」があり、その章を学ぶ前に確認しておきたい既習内容が示されている。また、学習のめあても確認しやすい。教科書の各ページの下に掲載された二次元コードを読み取ることで、学習内容に関連したコンテンツを利用することができる。基礎・基本の定着、数学的に考え説明する力の育成、数学を学ぶことの楽しさなどに力を注いでいる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・数学の学びを進める上で大切な学習の進め方、ノートづくり方が巻頭ページで確認できるようになっている。 ・1年、平面図形の導入場面に子午線上に和歌山市友ヶ島があることが紹介されている。 ・各章の学習に入る前に、その章に関連する既習内容を確認できるようになっている。 ・項目の最後に必要に応じて練習問題を配置し、基礎的な問題を繰り返し練習できるようになっている。 ・巻末の演習ページに、教科書の内容を補充できる問題もある。 ・多様な生徒にあった学びができるように5種類のコンテンツが配置されている。 「link 補充」：繰り返し練習したい問には補充用の問題を表示するコンテンツがあり、習熟度を高めるようになっている。 「link イメージ」：アニメーションや動画のコンテンツがあり、学習内容が理解しやすくなるようになっている。 「link 資料」：教科書の内容に関連した情報を表示するコンテンツがあり、内容がより詳しくなっている。 「link 考察」：グラフや図形を自由にかいたり動かししたりすることができるコンテンツがあり、思考力や表現力の向上につながるようになっている。 「link 探究」：章の内容を総合的に活用する課題を表示するコンテンツがあり、思考を深め、いろいろな角度から考えることができるようになっている。 ・項目冒頭に「Q」や「TRY」を配置し、数学的活動を通して新しい内容を学ぶことができるようになっている。 ・添えられているキャラクターの対話や発言をきっかけにして、数学的な見方・考え方が具体的な形で視覚化されたり、課題を違う角度から捉え直したり、数学的な表現を整えたり、新たな疑問がうまれたり、深い学びにつながる問いの投げかけがある。 ・各所に生徒のキャラクターの対話の場面があり、「方法の説明」や「理由の説明」など伝え合う力が高まるようになっている。 ・小中連携としては、中学1年の教科書は問いかけ文に「～しましょう」という表現で小学校から中学校への接続が円滑になるようになっている。 ・必要に応じて高等学校の学習につながる内容が取り上げられ、例えば「方程式は他にもある?」「連立させる式の数がもっと多くなる?」内容の系統性を理解できるようになっている。 ・「例」や「問」が細かく配置され、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく習得できるような工夫がみられる。 ・節末にそれぞれ標準的な問題があり、定着の度合いを確認することができる。 ・巻末の「チャレンジ編」にも標準的な問題が多くあり取り組むことができる。 ・誤りやすい考えについて「note」に示されており、授業で触れやすいようになっている。 例 bと6 ・章末に「学んだことを活用しよう」のページがあり、学んだ内容の活用力が高まるようになっている。 例 グリニッジ標準時との時間差を + - で表す ・SDGsを関連する内容があり、アイコンで示されている。また、他教科との関連にも配慮がある。 ・本文中に示されたURLや二次元コードから、タブレット端末でコンテンツを利用することができる。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
数学	中学数学 1 2 3	日本文教出版
<p>答申</p> <p>新たな学びに入る前に既習事項を確認し学習を進めるようになっている。各章や巻末には多彩な問題がバランスよく配置され、個に応じて扱うことができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現を促す学習場面の設定もある。「わかる」「できる」を大切にした基礎・基本を重視した学習を進めることができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・小節は原則として1時間の授業に対応するように構成され、学習内容をつかみやすく、学び方を理解できるような構成となっている。 ・小学校算数の内容を振り返ることができる「算数の確かめ」がある。新しい章に入る直前に、既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」がある。また、発展的な内容にも取り組めるようになっている。 ・問題解決型の授業展開を明示した小節である「学び合おう」には、話し合いを通して学びを深めていくための「対話シート」がある。 ・基礎的・基本的な内容が理解しやすく、また、復習がしやすいように、小節ごとに〈めあて〉を示したり、〈例〉に見出しをつけたりしている。 ・各章の「数学のたんけん」や巻末にある「数学マイトライ」では、SDGsと数学、数学研究室、プログラムと数学、数学レポートをかこうなどの個々の学習状況に応じて取り組める問題や学んだことを広げたり深めたりするための課題などがある。 ・巻末の「プログラムと数学」では、素因数分解をするプログラムについて考察することができるようになっている。素因数分解を実行するプログラミングのコンテンツもある。 ・本文には、「考えよう」、「話し合おう」、「深めよう」、「説明できるかな？」などのマークがある。(問)では主に、「思考力、判断力、表現力等」が育っていくような構成になっている。 ・各小節の横欄「大切な見方・考え方」では、その場面で必要な「数学的な見方・考え方」を具体的に示されていることから数学的活動に取り組めるようになっている。 ・デジタルコンテンツには、見る、ためす、身につける、図形のまとめ、調べる、統計ツールに分類され、学びに役立つアニメーションやシミュレーション、練習問題などがある。 ・現代的・社会的な諸課題への取り組みとして、SDGs・防災教育・環境教育、キャリア教育、消費者教育、主権者教育、情報教育・情報モラルに関する内容などがある。 ・既習事項を復習する機会として、これまで学んだことを次の学習に生かせるように「次の章を学ぶ前に」というページが設定されている。 ・「個別最適な学び」の実現のために、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるための問題、小学校算数や前学年、3年間の総復習の問題、3年間の各領域を総合的に扱う応用問題などさまざまなタイプの問題が用意されている。 ・特別支援教育の観点から、落ち着いた色使いで授業に集中できるような紙面になっている。 ・現代的な諸課題に対応するために、外国にルーツがある生徒と学ぶ様子やさまざまな人が平等に働き、助け合って生活する様子をイラストや写真で示している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
数学	数学の世界 1 2 3	大日本図書

答申

各学習単位で「めあて」の明示があり、見通しをもった学習活動が進めやすい。学んだことが身に付くように豊富な課題が用意されており、基礎的・基本的な知識・技能等の定着を図ることができる。学習に主体的・対話的に取り組み、学習したことを深めるための学習活動を進めることができる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

- ・目次ページに既習事項とのつながりが明記され、学習の系統性が分かりやすい。
- ・巻頭に、学習の進め方を説明するページ「数学の世界へようこそ」が設けられ、「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」の4つのステップで、数学的活動への取り組みが分かるように説明されている。
- ・各学習単位で「めあて」と導入課題「考えよう」で、学習目標が明確に示されている。また、「活動」を通して対話的に学習に取り組むことができる。
- ・「活動」・「例」・「例題」を適切に配置し、学習の流れを分かりやすく構成している。
- ・項の導入には「考えよう」が設置され、生徒自らが問題や疑問を見出すことができるようになっている。
- ・各章や巻末に「MATHFUL」(マスフル)を設けられ、数学の歴史や身近な事象と数学の関係等の資料がある。
- ・適用問題「Q」に適宜「プラス・ワン」があり、習熟度に応じて取り組めるようになっている。また、もう少し取り組みたいときに活用できる「補充問題」もある。
- ・「もくじ」には、これまでに学んだこととのつながりが示されている。また、章の学習のなかで、前学年までに学んだこととのつながりを「思い出そう」に示されている。
- ・3年「知りたい! 高校ではどんな数学を学ぶのかな?」では、高校で学ぶ数学の内容を、中学校での学習と関連させて紹介している。このことで、数学の学習のつながりやひろがりを実感できるようになっている。
- ・「ウェブコンテンツ」の対応するページに二次元コードが付いているのでWeb対応もできている。
- ・「社会にリンク」では実社会で活躍する人物に数学と職業との関係についてインタビューした記事が掲載され、学習した内容と日常生活との関連した題材などが用意されている。
- ・異文化理解、防災教育など現代的なさまざまな課題に対応している。また、オリンピックやパラリンピックの競技も題材に取り上げられている。
- ・領域ごとに色を設定し、領域の区切りで紙面の印象が変わることから、構成が分かりやすく、全ての生徒の学びやすさに配慮する工夫がある。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	新編 新しい科学123	東京書籍
<p>答申</p> <p>探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点での社も充実しているが、他社に比べて理科に関係した仕事の紹介と、働く人の紹介が充実している点に特徴がある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の進め方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法について、よく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになっている。 ・この社では、巻頭に「探究の流れを確認しよう」のコーナーがある。また、考察はここをおさえよう、レポートのまとめ方、議論のしかた、発表のしかたが簡潔にまとめられている。また、「科学の本だな」として、その学年の学習内容に関連のある本が紹介されている。また、教科書の各ページは探究のステップ（問題発見、振り返り、活用など）のどの段階にあるか、流れ図のように示されている。 ・身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学が日常生活、そしてさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できるようになっている。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されている。 ・この社では、「まちなか科学」で日常との関連、「歴史にアクセス」で科学史の観点、「なるほどね!」で科学の幅広い話題、「お仕事図鑑」「防災特集」「私たちのSDGs」と、読み物が多方面に豊富に用意されている。「なるほどね!」では発展的な話題も多い。さらに、各単元に「社会につながる科学」では科学に携わる人へのインタビュー記事がある。「お仕事図鑑」のコーナーと併せ、世の中の仕事の紹介と、働く人の紹介が充実している。 ・随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がされている。 ・この社では、単元末に「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」があり、問題の解答例は巻末に示されている。教科書の随所に「?」というコーナーで生徒に問いかけている。それに対する例も、巻末に示されている。2年生教科書巻末には温帯低気圧の立体モデルが付録で付いている。 ・実験器具の取り扱いや事故の時の対応についての記載がなされている。 ・この社では、巻末に、理科室の決まり、薬品の扱い方、器具の使い方がまとめられている。また、科学で扱う量の測定と表し方もまとめられている。 ・登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られる。 ・写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。 ・この社では、写真について和歌山県内のものが2点掲載されている。「西牟婁郡、堆積岩」（1年生 p22）「すさみ町、褶曲」（1年生 p231） ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっている。 ・この社では、「実験手順」「思考ツール」「単元末問題」「他教科の内容」といったリンクを用意している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっている。 ・この社の裏表紙の「保護者の皆様へ」では、著者からの思いや呼びかけの言葉になっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	中学校 科学123	学校図書
<p>答申</p> <p>探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点での社も充実しているが、他社に比べて電子化が質・量ともに徹底的に進められている点、入試問題を念頭に置いた問題を掲載している点に特徴がある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の進め方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法について、よく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになっている。 ・この社では、巻頭に「なぜ理科を学ぶの?」「どうする、探究の進め方」「どうする、レポート」のコーナーを置いている。なお、教科名は理科だが教科書名を科学とした説明を裏表紙に記載している。 ・この社では、各単元の冒頭に「ふり返ろう・つながろう」として既習事項の整理、「Can-Do List」としてできるようになりたい目標が端的にまとめられたページがある。 ・身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学が日常生活、そしてさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できるようになっている。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されている。 ・この社では、教科書の随所に「理路整然」と題したコーナーがあり、探究を深めるための視点の整理、科学的な読み物が紹介されている。また、「SDGsを意識して脱炭素社会へ」というコーナーもある。 ・随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がされている。 ・この社では、単元末に学習のまとめとして、用語を覚える、基本問題に慣れる、のテーマでそれぞれ1ページずつ出されている。基本問題は解答例が巻末に示されている。また、巻末にはこれとは別に、計算問題、読解力強化問題が、それぞれ解答例と共に示されている。さらに、「思考をさらに深める」というコーナーで高校入試問題を模した問題と、その解答の方法を示している。 ・実験器具の取り扱いや事故の時の対応についての記載がなされている。 ・この社では、巻末の補充資料として、器具の基本操作、薬品の取り扱い、様々な読み物の資料、発展的な内容が豊富にまとめられている。 ・登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られる。 ・写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。 ・この社では、写真について和歌山県内のものが2点掲載されている。「串本町、砂岩と泥岩」(1年生 p148)、「白浜町、扇状地」(1年生 p171) ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっている。 ・この社では、全ページに二次元コードがあり、全紙面が電子化されている。それにとどまらず、ふりがなを付ける、分かち書きで表示する、6か国語の外国語で表示される機能がある。さらに、「チャットボット」に質問ができる機能まで付加されている。定期的に更新される「科学ニュース」もある。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっている。 ・この社では他社に比べてページ数が1割程度少ないが、徹底した電子化と共に考えられたものだろう。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	自然の探究 中学理科123	教育出版
<p>答申</p> <p>探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点での社も充実しているが、他社に比べて大きなフォントを使い、また、重要語句を色を変えて示しているなどの点に特徴がある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の進め方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法について、よく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになっている。 ・この社では、冒頭に「なぜ理科を学ぶのか」「探究の進め方」、基礎技能として「レポートの書き方」「理科室のきまりと応急処置」のコーナーがある。また、随所に「私のレポート」として、具体的なレポート例が多数掲載されている。 ・身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学が日常生活、そしてさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できるようになっている。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されている。 ・この社では、「ハローサイエンス」で科学の話題が紹介され、「科学者列伝」、「ブリッジ」で他教科との関連、「発展」のコーナーがあり、そして「やってみよう」「参考」「チャレンジ」で、課題を見つける活動や調べる活動への案内がされている。 ・随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がされている。 ・この社では、単元末に「要点と重要用語の整理」、そして「基本問題」「活用問題」、巻末には「学年末総合問題」があり、問題の解答例は巻末に示されている。 ・実験器具の取り扱いや事故の時の対応についての記載がなされている。 ・この社では、実験等の説明のところで、「室内換気」「保護眼鏡」「廃液処理」などのマークを適宜入れ、実験の作法について要点を押さえるように工夫している。 ・登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られる。 ・写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。 ・この社では、写真について和歌山県内のものが1点掲載されている。「南紀熊野ジオパーク、すさみ町、フェニックス褶曲」（1年生裏表紙内側） ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっている。 ・この社では、「これまでの学習のおさらい」「要点をチェック」「参考リンク」や、ワークシート等へのリンクがある。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっている。 ・この社では、フォントサイズが他社より大きい。その上、1年生の教科書は、さらに大きい。 ・この社では、重要語句はすべて橙色の太字で印刷されている。市販の赤シートで覆って自習することができるようになっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	未来へひろがるサイエンス123	啓林館
<p>答申</p> <p>探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でどの社も充実しているが、他社に比べて探究に関する記載が多いこと、SDGsの問題意識を高める工夫がよくなされていること、付録が豊富な点に特徴がある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の進め方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法について、よく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになっている。 ・この社では、巻頭に「探究とは」のコーナーがあり、探究の過程の説明がある。また「ICTの活用」のページがあり、教科書の二次元コードの活用方法の説明がある。 ・身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学が日常生活、そしてさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できるようになっている。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されている。 ・この社では、単元末に「みんなで探Qクラブ」「ひろがる世界」、随所に「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」「深めるラボ」といったコラムが非常に豊富に掲載されている。「深めるラボ」では科学史の観点や発展的な内容がよく取り入れられている。 ・この社の大きな特徴として、巻末に、単元ごとの「探Qシート」の、書き込み可能なシートが付いている。これは教科書の「探Q実験」に対応しており、実験が探究的に行えるような工夫になっている。 ・随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がされている。 ・この社では、単元末に「学習のまとめ」や「力だめし」の問題がある。問題の解答例は巻末に示されている。 ・実験器具の取り扱いや事故の時の対応についての記載がなされている。 ・この社では、巻末のサイエンス資料が充実している。そこで器具の使い方、実験の作法にとどまらず、主な物質や薬品の性質のまとめ、思考ツールの活用法、成果発表の方法、理科でよく使う算数・数学のまとめなどが示されている。「探究もフェアプレイで」というコーナーもある。 ・この社では、観察・実験で「保護眼鏡」「要換気」「廃液処理」「強い光注意」などの注意・安全マークを使った指示が分かりやすく書かれている。 ・登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られる。 ・写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。 ・この社では、写真について和歌山県内のものが5点掲載されている。「白浜町、砂岩と泥岩」(1年生 p106)「れき岩、橋本市」(1年生 p108)「和歌山県立博物館、フズリナの断面」(1年生 p110)「南海トラフに備えた運転士の訓練、和歌山市」(3年生 p273)「天神崎、田辺市」(3年生 p292) ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっている。 ・この社では、問題や解説動画へのリンクにとどまらず、各単元にふり返りシートが電子的に用意されている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
理科	理科の世界 1 2 3	大日本図書
<p>答申</p> <p>探究する力を育てる、仲間と協働する力を育てる、社会を豊かにする力を育てる、ICT活用力を育てる点でどの社も充実しているが、他社に比べて小さめの紙面で、タブレット端末を置いても机の上に余裕があるように使える点に特徴がある。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の進め方を提示し、探究の過程や課題の把握の方法について、よく書かれている。生徒が見通しを持って学べるようになっている。 ・この社では各学年で、巻頭に「理科の学習の進め方」を説明した見開きがある。また巻末に「探究の進め方」「ノートやレポートの書き方」「自由研究にチャレンジしよう」「行ってみよう! 科学館・博物館」といった特集がある。また、単元ごとに「課題を見つけて探究しよう」というコーナーがある。 ・この社では、単元の初めのページに「これまでに学習したこと」という見開きがあり、単元に入る前の整理として便利である。 ・身近な疑問の取り上げや多様な科学の話題の取り上げを行っており、科学が日常生活、そしてさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できるようになっている。また、防災やSDGsについての取り扱いがあり、これらの観点を生徒自身の問題として捉えられるように工夫されている。 ・この社では、「つながる」で他教科との関わり、「Science Press」で科学の話題、「くらしの中の理科」で日常生活や社会での活用、「Professional」で職業に関する紹介、「科学のあしあと」で科学的な観点が紹介されている。また、「Science Press」などでは発展的な内容も紹介されている。 ・随所に確認問題があり、学力の定着ができるような工夫がされている。 ・この社では、各章、いくつかの章をまとめた単元、それぞれに章末問題、単元末問題があり、その解答例も巻末に記されている。章末問題は、考えさせるような問題が多く出ている。 ・実験器具の取り扱いや事故の時の対応についての記載がなされている。 ・この社では巻末資料として、器具の使い方、薬品の扱い方、そして理科の学習で活用する算数・数学のまとめがまとめられている。 ・登場人物等で男女どちらかに過度に偏らないように配慮されており、理科への興味・関心でのジェンダーギャップ問題への対応がなされているように見られる。 ・写真やイラストが豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。 ・この社では、写真について特に和歌山県内のもものは掲載されていない。 ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツの利用ができるようになっている。 ・この社では、二次元コードは実験の説明のところでいくつか見られるにとどまり、全体としては控えめな使い方になっているように感じられる。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、見やすい、読みやすいデザインになっている。 ・この社だけ、教科書の大きさがB4判（他社は横幅がA4判でより正方形に近い）で、教科書を広げた時に机の上にさらにタブレット端末を置いても作業をしやすいという大きさになっている。また1年生の教科書はフォントサイズを大きめにしている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（一般）	中学音楽 1 2・3上 2・3下 音楽のおくりもの	教育出版
<p>答申</p> <p>冒頭に教材と適切な学習の進め方を学習マップとして示されており、生徒や学校の実態に応じて多様な構成が検討できるよう配慮されている。生徒の創造性を刺激し、探究心を促すような比較及び発展的な学習のための教材が充実しており、学習の広まりと深まりが期待できる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、鑑賞、創作の学習活動に分けて教材が配置されている。学習マップとして、各教材は、学習のねらい、他の曲との関連性が分かりやすく示され、各領域・分野とのつながりが分かる。 ・楽曲や学習活動、比較教材やさらにそれを深める教材が充実している。 ・音楽を形づくっている要素について、1ページにまとめられ、学習の手引きとして用いることができる。 ・歌唱、鑑賞では、比較及び発展的な学習のための教材が充実している。 ・創作では、言葉のリズムや抑揚を生かした題材や、構成を生かした題材等、他の分野の理解や活動に生かすことができる内容になっている。3音または5音でCMソングをつくるなど、タイトルや色使いが工夫され、生徒の創造性を促すものとなっている。 ・鑑賞では比較学習を重視しており、さまざまな音楽の共通性と固有性について考えられるよう、特徴等の観点が示されている他、話し合いを促す工夫がなされている。西洋音楽、日本伝統音楽を中心に、ポップス、世界の諸民族の音楽等、幅広く紹介され、時代や文化の違い、音楽の多様性を感じさせる内容となっている。 ・民謡、長唄では、模範演奏を視聴しながら「真似て学ぶ」という日本の伝統音楽の習得に近い形で学習できる。 ・指揮の学習は、歌唱と関連付けて行うようになっている。 ・SDGsや他教科との関連も図られており、2・3年生の教科書では、音楽と、生活や社会とのつながりを感じさせるページがつけられている。 ・「歌のアルバム」では、合唱曲だけでなく伝統的な日本の歌から外国の歌等、幅広く豊富に記載されている。 ・2・3下では、音楽史が年表で示されており、日本と世界の出来事も併せて掲載されている。また、これとは別に作曲家の肖像と代表的な曲、生没が分かる年表のページが設けられており、活躍した時代について他の作曲家と比較したりすることができる。 ・カラーユニバーサルデザインの配慮が示されており、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・冒頭見開きのページでは、中学生に向けたメッセージや、音楽家の音楽に対する考えに触れることもできる。 ・巻末は、見開きの3ページを使い、カラー写真で楽典や楽器の種類、作曲家等、詳しく掲載され、2・3上では、二次元コードで各楽器の演奏を聴くことができる。 ・歌唱共通教材では、写真を大きく掲載し、歌詞も見やすくレイアウトされている。 ・国歌のページは、他のページとは異なる紙質で作られている。歌詞の意味や場面の写真が載っている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（一般）	中学生の音楽 1 2・3上 2・3下	教育芸術社
<p>答申</p> <p>表現及び鑑賞の活動において、資質・能力の三つの柱に基づいた学習内容が示され、教材（楽曲及び学習活動）との関連度を視覚化する工夫がなされている。楽譜が見やすく、学習内容と学び方を明確に示し、知識や技能等の解説が丁寧に示された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・表現（歌唱・創作）及び鑑賞において、資質・能力の三つの柱に基づいた学習内容が示され、教材（楽曲及び学習活動）との関連度を視覚化する工夫がなされている。 ・題材には、学習目標、考えたいポイント、活動文、音楽を形づくっている要素が明記されており、学習のねらいや活動内容がわかりやすい。 ・学びのコンパスでは、学び合いの観点から、教材の中で主体的・対話的な学びを提示している。 ・創作では、課題や条件を提示することで、取り組みやすい工夫がなされている。また、二次元コードで、創作ツールやリズム伴奏、演奏例等、創作の助けとなるコンテンツが充実しており、主体的・対話的な活動が期待できる。中1、中2・3上では「リズムで楽しもう」のページが設けられ、リズムゲームやアンサンブルを通して楽典事項の確認だけでなく、表現活動に繋がる内容となっている。 ・日本音楽入門のページが設けられており、日本文化への理解や関心を深めるつくりとなっている。 ・民謡、長唄、能の謡では、演奏家による採譜（絵譜）が用いられている。また、演奏家からのアドバイスが掲載されており、表現のポイントを具体的に捉えながら、模範演奏を視聴することで、「真似て学ぶ」という日本の伝統音楽の習得に近い形で学習することができる。 ・日本各地の民謡（中1）や郷土の祭りや芸能（中2・3上）では、種類を明記して掲載されている。和歌山については根来の子守唄、那智の田楽が掲載されている。 ・指揮の学習は、歌唱（合唱）及び鑑賞と関連付けて行うようになっている。 ・中2・3下では、音楽史が年表で示されており、関連する絵画や楽譜を多数掲載しているほか、その時代に活躍した作曲家と代表的な楽曲も併せて示されている。 ・SDGsや他教科との関連が図られている。また、「生活や社会のなかの音や音楽」の項目では、音楽が生活や社会の中で役立つ場面を実感でき、音や音楽の大切さを感じることができる。 ・教科書の後半の合唱曲の中に、歌い継がれている日本の歌や、生徒に馴染みのある曲が掲載されている。 ・歌唱、創作、鑑賞のページ順に色分けされ、学習が進めやすいように見開きで配置されている。また、新出の音楽記号、標語を取り出し、意味を調べることができるようにページ数が書かれている。 ・二次元コードが多くつけられており、学び合いなどの授業や、自主学習、自主的な家庭学習に効果的である。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。インクルーシブ教育を行う上で、白を基調とした紙面、写真やイラストの配置の工夫により、使いやすいよう配慮されている。 ・冒頭見開きには、著名人からのメッセージが載せられており、動画でみることもできる。 ・国歌のページには、他国の国歌も尊重するという文があり、国際的な視野を広げる姿勢が示されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（器楽合奏）	中学器楽 音楽のおくりもの	教育出版
<p>答申</p> <p>楽器ごとに教材が示されており、生徒や学校の実態に応じて多様な構成が検討できるよう配慮されている。生徒の創造性を刺激し、探究心を促すような比較及び発展的な学習のための教材が充実しており、学習の広まりと深まりが期待できる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・「題材」「活動のポイント（音楽的な見方・考え方のヒント）」「まとめ」が見開きで示されており、学習目標を達成するための道筋が一目でわかる。 ・器楽活動が主となるが、「音のスケッチ」というコーナーが各所に設けられており、器楽活動に関連させた創作活動や鑑賞活動も行うことができる工夫がされている。 ・箏の学習については、爪を装着した手の甲全体が写った写真が掲載されており、分かりやすい。 ・『中学音楽』と同様に比較学習を重視している。吹く楽器（リコーダー、篠笛、尺八）や弾く楽器（ギター、箏、三味線）と分け、映像資料を鑑賞した上で音の出る仕組みや構え方、音色等の特徴を比較する。 ・吹く楽器（リコーダー、篠笛、尺八）の後に世界の笛系の楽器を、弾く楽器（ギター、箏、三味線）の後は世界の弦楽器を紹介し、その国の文化や楽器の特性等について考えたり比較したりするような発展的な学習につなげる工夫がなされている。 ・各楽器で練習曲のあと、「深めてみよう」という項目で、レベルが上がる構成になっており、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・「国際理解」「伝統文化の尊重」など、道徳との関連が図られており、英語科との関連のある教材も見受けられる。 ・楽器を通して人と人とのつながりを生み出す取り組みが紹介されており、生活と社会のつながりについて考えられるよう、配慮されている。 ・独奏、重奏、アンサンブルの演奏や、「表現の仕方を調べてみよう」に示される協働学習等、多様な学習の形態を促すような工夫がなされている。 ・カラーユニバーサルデザインの配慮が示されており、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・「見る(動画)」「聴く(音声)」「知る(資料)」に分けられたデジタル教材によって、自ら学びを深められるような内容になっている。 ・巻末では、ギターのコード表が写真で示されている。 ・演奏方法について、写真を多く使っている。 ・生徒に身近な曲が取り上げられている。 ・平等な世界の実現への意識付けを図ることができるように、ESD・SDGsの取り組みに対応した教材を設定している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（器楽合奏）	中学生の器楽	教育芸術社
<p>答申</p> <p>表現（器楽・創作）の活動において、資質・能力の三つの柱に基づいた学習内容が示され、教材（楽曲及び学習活動）との関連度を視覚化する工夫がなされている。学習内容と学び方を明確に示し、知識や技能、奏法等の解説が丁寧に示された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・表現（器楽・創作）において、資質・能力の三つの柱に基づいた学習内容が示され、教材（楽曲及び学習活動）との関連度を視覚化する工夫がなされている。 ・「音楽を形づくっている要素」が、各教材で例示されている。 ・〈各楽器の奏法〉、〈アンサンブル〉、〈楽器で Melody〉、〈資料〉の4段構成になっている。 ・「学習目標」「活動文」「考えたいポイント」「学びのコンパス」が示され、学習目標を達成するための手がかりとなっている。特に「考えたいポイント」では、音楽的な見方・考え方を働かせるためのヒントが示されており、課題意識を持って主体的に取り組むことができるようになっている。 ・合奏等で用いられることの多い打楽器（タンブリン、クラベス、シェーカー、カウベル、ボンゴ、コンガ、バズドラム等）の奏法について写真を用いた説明が、5ページにわたり掲載されている。基本となる楽器の構え方や奏法のポイントだけでなく、奏法がどのように記されるのかについても併せて示されており、読譜の学習としても非常に有益である。 ・リコーダーの学習では、コントラバスやソプラニーノリコーダー等の他の音域のリコーダーの紹介が、ギター学習では、クラシック、フォーク、エレキギターの違いが、箏の学習では箏と琴の違いが、三味線の学習では三線との違いが示されており、学習する楽器について関連及び比較することでより学習を深めることができるような工夫がなされている。 ・リコーダーでは、運指がやや複雑だが、曲のリズムが比較的易しく、聴いたことのある曲が多くなっている。また、技能面に関する疑問やポイントについては、Q&Aの中で解説することで対応している。 ・「My Melody」「学びのコンパス」では、キャラクターの言葉が示されており、主体的・対話的で深い学びをサポートするものとなっている。 ・創作活動につながる教材が示されている。 ・紙面上の二次元コード（「動画」「音源」「創作ツール」「文章、ワークシート」）を読み取ることによって、自主学習が充実するようになっている。 ・全般的に生徒に身近な曲が取り上げられている。 ・ギターのコード表が図で示されており、フレット番号が数字で示されている。 ・演奏方法の説明は、図と写真を使い分けている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・巻末では、和楽器の合奏に取り組んでいる中学生の姿や、インタビューを示すことで、我が国の伝統的な音楽や楽器に親しみを持ち、身近に感じられるような工夫がなされている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
美術	美術1 美術2・3	開隆堂
<p>答申</p> <p>各ページにおいて学習の目標が「知・思・学」で示され、その「三つの柱」によって題材を構造化し整理している。また学習内容が「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の3つのラベルにより記載され分かりやすくなっている。1つの単元につき見開きの2ページよりも見開きの4ページが多く、単元数を絞りながら生徒がじっくりと取り組めるよう工夫された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・美術1では最初に中学校において学ぶ内容や流れが簡潔に示され、図画工作との共通点や違いなどが示されている。 ・「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」の順に項目を分け、各ページにおいて学習の目標が3観点「知・思・学」で示されている。また「三つの柱」によって題材を構造化し整理している。さらに各単元では、学習内容を「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の3つのラベルで示している。 ・生徒が制作する様子や活動の流れを写真や図等を用いて示すことにより主体的な活動や言語活動の充実を図っている。 ・インクルーシブ教育及びGIGAスクール、SDGs等、今日的な課題への対応に関する取り組みや情報が記載されている。また、著名な作品の制作工程なども記載されている。 ・単元に関連する専門用語や注釈を「美術の用語」というマークで分かりやすく示している。 ・「学びの資料」の項目では、美術1 P58「発想・構想のヒント」やP60「鑑賞ってなんだろう」など、発想の活動や鑑賞の活動において何度も繰り返し見て学ぶことができるようになっている。 ・美術2・3 P98～99「美術史の扉」では日本と海外の美術史の特徴を相互に対比・関連させながら分かりやすく掲載している。 ・美術1と美術2・3の2冊で構成されており美術1は71ページ、美術2・3は127ページで構成されている。1つの単元につき見開きの2ページよりも見開きの4ページが多く、そのぶん単元数を絞り生徒がじっくりと取り組める構成となっている。 ・各項目において、「絵や彫刻など」は美術1が5単元、美術2・3が13単元、「デザインや工芸など」は美術1が5単元、美術2・3が9単元と、大きな偏りはなく領域ごと適切に単元が構成されている。 ・各単元の最初のページに記載されている二次元コードを読み込むと、映像教材や生徒作品、ワークシートが閲覧でき、授業だけでなく家庭学習の補助としても使えるようになっている。また二次元コードの横には各単元と関連する「学びの資料」のページが記載されている。 ・表紙がバーコ印刷（盛り上げ印刷）になっており見た目や手に取った時の感触に遊び心を持たせている。 ・教科書の案内役となるキャラクターを設定して親しみやすくなっている。また教科書の使い方を示すアイコンによって学びのポイントをわかりやすく示している。 ・全体的には見出しや要点、文章などが端的にまとめられており視覚的に理解しやすい構成になっている。また色合いなども統一感を出して見やすくしている。 ・インクルーシブデザインに関連する内容が掲載されている。 ・レイアウトやバランスに抑揚を持たせて単調にならないように工夫されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
美術	美術1 美術1資料 美術2・3	光村図書
答申		
<p>資質能力の3つの柱をすべての単元において「目標」として設定している。「みんなの工夫」では、生徒や作品の写真、吹き出しを使ってわかりやすく示している。また二次元コードで作者（生徒）インタビューを載せるなど全国の生徒の思いがより伝わりやすくなっており、さらに鑑賞の分野では「言葉集」や「書き込みツール」などが活用できるようになっている。二次元コードを効果的に活用できるよう工夫された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている資質能力の3つの柱「知識・技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を全ての単元において「目標」として設定している。 ・巻頭に生徒が美しいと思った瞬間や風景を撮影した写真を作者の言葉とともに掲載し、身の回りの「美」に気づく目を育てようとしている。 ・美術1では日常の中の美しいものや心惹かれるものなど、生徒の日常に即した題材が多く扱われ、美術2・3では社会問題や防災、美術史年表など、より深まった内容を多く取り扱っていて発達段階に配慮した構成となっている。 ・他教科との関連や、それによる教材のひろがりわかりやすく説明している。道徳科は教科書左下にマークで示されており関連付けがしやすい。 ・「みんなの工夫」では生徒が試行錯誤しながら制作する様子を紹介している。また二次元コードでは作者（生徒）インタビューを載せるなど作者の思いがより伝わりやすく工夫されている。また鑑賞の分野の二次元コードでは、鑑賞をひろげる言葉集や書き込みツールなどが活用できるように設定されている。 ・創造的活動や美しいものに感動する体験を通して自分と他者との関わりや多様性、国際的視点、郷土の文化の継承など、豊かな心を育む内容になっている。 ・美術2・3 P27～42では風合いのある材質の紙に印刷されている。特に和歌山県串本町無量寺の「虎図襖」が掲載されている。 ・「防災のデザイン」の項目があり防災知識とデザインの役割を考えることができる。 ・素材や道具、色彩など3年間活用できる知識・技能に関しては「美術1資料」として別冊にまとめられている。 ・教材に合わせて生徒が複数人で話し合う様子やグループでの制作活動など多様な学びの方法を示しつつ、様々な作品やプロセスを載せていることで興味・関心を引きやすい。 ・美術2・3の巻末には「学習を支える資料一覧」が載っておりマッピングやレーダーチャートなどの思考ツールも活用できるようになっている。 ・二次元コードを多く使用し、高精細画像、展示空間の360°写真などが閲覧できるようになっており、作品に書き込んで鑑賞できる「書き込みツール」も備えられている。技法動画、作家や作品の解説動画、全国の生徒作品の閲覧など、生徒の興味・関心を高める資料が豊富に用意されている。 ・UDフォントを使用しており読みにくい漢字にはルビが使用されている。写真の配置も印象的でわかりやすく生徒作品も多く掲載されているため自然と生徒が関心を持ちやすくなっている。 ・伝統文化や社会問題に向き合った作品など様々な芸術作品を紹介している。 ・著作権や肖像権についての注意喚起のマークがある。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
美術	美術1 美術2・3上 美術2・3下	日本文教出版
答申		
<p>各ページに「学びの目標」が掲載され、「造形的な見方・技能」「発想・構想・鑑賞」「主体的な取り組み」の3つに関する目標が書かれており、何ができるようになるか、何を学ぶのかを明確にしている。1年「美術との出会い」、2・3年上「学びの実感と深まり」、2・3年下「学びの探求と未来」をテーマに3分冊とし、発達の段階に応じた学びの大切さを重視するよう工夫された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに「学びの目標」が掲載されており、「造形的な見方・技能」「発想・構想・鑑賞」「主体的な取り組み」の3つに関する目標が書かれていて問題解決的な学習を促すようになっている。何ができるようになるのか、何を学ぶのかを明確にしている。 ・発達の特性を考慮して1年「美術との出会い」、2・3年上「学びの実感と深まり」、2・3年下「学びの探求と未来」をテーマにした3分冊の構成となっている。また、造形的な視点を育みながら学んでいく3年間の美術の学習を系統立ててイメージマップ化している。 ・「絵や彫刻」「デザインや工芸」の題材、「鑑賞」の活動それぞれの入り口として、何をどのように学ぶのかを理解できるようガイダンスページを設けている。 ・道徳に関する題材には内容項目が記載されている。 ・これからの社会や生活に関わる題材を取り上げている。 ・発想や構想、鑑賞など様々な場面でコミュニケーションをとりながら造形活動を行う項目も取り上げられている。 ・「作者の言葉」を紹介しており、見方・考え方を働かせるための工夫がなされている。 ・東日本大震災に関連した作品やピカソの「ゲルニカ」を載せており、社会における美術の役割などに関連付けた内容である。 ・美しいものに感動する心や豊かな感性をはぐくみ郷土の文化を継承する心を養うような内容になっている。 ・表現活動を後押しする、発想・構想の手立てを4頁構成として充実させている。 ・表現題材すべてに発想・構想を促す「表現のヒント」を掲載している。 ・全ての題材において表現と鑑賞が一体的に学習できるような構成・配列になっている。 ・「絵や彫刻」「デザインや工芸」の2つの分野に偏りなく構成されている。 ・美術館へ行こうという項目があり様々な美術館の取り組みや学校とのつながりを紹介されている。 ・各ページに二次元コードがあり作品の詳しい表現や制作方法がわかりやすく動画で説明している。 ・見方・感じ方を養う作品図表や写真・資料は大きく見やすくなっており、見開きのページはインパクトの強いものとなっている。 ・3分冊全てで表紙と裏表紙で1つの作品が鑑賞できるようになっている。 ・身の回りにある美術や生活に関する美術が取り上げられている。 ・マークや見出し等はペールトーン（淡い色調）を使用し、文字も大きく見やすい。 ・いろいろな立場の作家や活動を紹介し共生社会への意識を高める工夫をしている。 ・日本の伝統文化を多く紹介し伝統工芸、伝統色、美意識を取り上げている。 ・「グランド・ジャット島の日曜日の午後」など原寸大の作品写真がいくつか掲載されており、実物のスケールを感じて学ぶことができる。 		

令和6年度和歌山市立小学校・中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	新編 新しい保健体育	東京書籍
<p>答申</p> <p>「新しい時代の新しい学びを実現する」という方針のもと、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫された教科書である。誰一人取り残さないようにするための質の高い学びのデザインや、授業が進めやすい、わかりやすい紙面構成、「命や健康を守る」ために、確かなスキルを育成し、学習を深め、生活につながる厳選された資料、豊富なデジタルコンテンツを生かしながら編集されている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・AB判サイズ。再生紙・植物油インキ及び環境基準を満たす印刷方式。色覚特性に適応したデザイン・UDフォント。口絵及び末絵で6ページ。資料・本文含め計189ページ。(目次・索引除く) ・図表・写真・資料が多く使われており、視認性を高める工夫がされている。 ・保健編から体育編にという流れで学年別に構成している。また2年生の保健編に関しては、第3章に「障害の防止」、第4章に「健康な生活と疾病の予防」を配置している。 ・章のとびらでは、道徳との関連と、「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」が示されており、小中高を通じた学習の系統性に配慮している。 ・各章のとびらに、「保健体育の職業」という各分野の専門家の仕事内容や経験等が書かれており、キャリア教育にもつながる。 ・見開き1面で1時間の授業の内容を各領域に偏りなく構成されまとめられている。各ページ左側に本文、右側が資料というのが基本的な形だが、内容により上下に資料を掲載したり右側・下部に資料を配置したり、と様々な形のレイアウトがあり、工夫を凝らしている。 ・『学習課題』を大きく提示、本文を『課題の解決』と位置づけ、授業の流れを課題解決学習としている。 ・「見つける」の後に「学習課題」「キーワード」が設けられ、より自分事としてとらえ、学習への意欲が高まり、めあてをはっきりとさせ、授業に取り組める。そしてまとめに「活用する」「広げる」があり学習を深める流れができています。 ・随所に「関連ページ」や「他教科との関連」などのマークが掲載されており、多方面から学習を深めることができる。 ・コロナ禍やスクリーンタイムの増加に伴い、子供たちの体力低下が懸念されていることをふまえ、体力向上のため、「体力の要素」「生涯スポーツの重要性」「健康や体力と運動・スポーツの関わり」などについて多面的に取り上げている。 ・いじめ問題や子供たちの心の安定・健康のために巻末スキルで、「相談の仕方・相談窓口」「気持ちを上手に伝える方法」「ネットでのコミュニケーションとトラブル」「コンピューターの使用方法」「よりよい睡眠をとるための方法」を掲載している。 ・多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、「共生」の視点からスポーツを通じた多様な関わり方や、健康や安全のための「支え合い」、「個人差・男女の偏りをなくす」「性の多様性(SOGIEのみ)」、「SDGs」などが掲載されている。 ・「自然災害による危険」「自然災害による傷害の防止」をそれぞれ1時間扱いで、さらに章末資料として災害の画像と防災タイムラインを掲載している。 ・インフルエンザの出席停止期間や学校保健安全法施行規則にも触れスペイン風邪の事例から「緊急事態宣言」の必要性、「感染症の歴史」巻末スキルブックでは「手洗いの方法」「マスクの付け方」が掲載されている。 ・図表・写真・資料が多く使われており、視認性を高める工夫がされている。 ・巻頭には、保健体育の学習を概観しながら、「SDGs」「テクノロジー」「情報」を切り口にした口絵を掲載している。各章末には章に関係した計25のテーマの「章末資料」、本文中には計17テーマの「読み物」を掲載し、学びを深め、興味関心が高まる工夫がされている。 ・「動画」「シミュレーション」「思考ツール」「図鑑」「章末問題」など、多彩なデジタルコンテンツが約150点用意されており、思考・判断・表現等、様々な学習プロセスでコンテンツを活用することができ、主体的な学び、個別最適な学びを目指せる。特に「Dマークコンテンツを使ってみよう」という解説が見開き2ページに渡り掲載され、学習における使い方が詳しく示されている。 ・「命や健康を守る」確かなスキルを育成するため、巻末に20の技能「スキル」を掲載し、合理的・科学的に正しい方法を紹介し、解説動画も充実している。 ・人権上の配慮を行い、「人権」「個人差」「多様性」に配慮している。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校・中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	最新 中学校保健体育	大修館書店
<p>答申</p> <p>「自ら未来を切りひらく力を育てる」という基本方針のもと、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」の3つの資質をバランスよく育成することができるよう、また共生社会や多様性を重視する等、社会の急速な変化に対応し、さらに国際社会の平和や発展、環境の保全等の今日的な課題を含めて深く学べる工夫がされている教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・AB判サイズ。環境に配慮した紙及び植物油インキ使用。カラーUD・UD フォント。口絵及び末絵で11ページ。資料・本文含め計189ページ。(目次・索引除く) ・イラストや写真の配置・マークや囲みのデザインを工夫し、カラー分けを多く行うなど視認性を高めている。 ・「共に生きる」持続可能な社会への意識が高まるような様々な口絵を掲載している。 ・教科書の使い方について、見開きで詳しく紹介している。また、保健体育の学び方とデジタル教材の使い方を見開きで紹介している。 ・男女の役割を固定せず、国籍や障害の有無など差別や偏見につながらないように配慮している。 ・学年ごとのまとまりになっており、体育理論・保健分野の順で構成されている。 ・内容・分量ともに適切に取り上げられ、見開き1時間で構成されている。さらに文章が内側(中心)にまとまりよく配置され、資料が周りに配置されている。 ・全ての章の扉に「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」を明示し、系統性のある指導ができるようにしている。また挿絵やコラムには全国の中学生に関係することを紹介するなど、生徒の興味を引くよう工夫されている。 ・各項目の冒頭に「課題をつかむ」で基礎的・基本的な導入からはじまり、「学習のまとめ」で対話的・協働的に学ぶことができるよう工夫されている。(P6, 7) ・「今日の学習」が見開きの2ページの上部に掲載され、学習のはじめだけではなく、学習の途中でもめあてを再確認できるようになっている。また学習のキーワードもわかりやすくまとめられている。 ・二次元コードで参照する写真や動画が充実している。 ・「体育の窓」(P23)「保健の窓」を各所に設けて関連を示し、「関連」「他教科」マーク(P32)で教科書内の他ページや他教科に関連する内容があることを示している。 ・関連サイトなどがある際は、Web 保体情報館と記され、調べ学習に役立つサイトを紹介しICTの活用を促進している。 ・各項目の最後に「保体クイズにトライ!」が設けられ、1時間の内容をクイズ形式で振り返ることができる二次元コードがついている。(P21) ・挿絵や資料が多く、視認性を高め情報をキャッチしやすいようになっている。 ・人体のイラストや血中の様子など、リアルにイラスト化されている。 ・実習単元では、二次元コードで動画を視聴できるようになっている。 ・章のまとめでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」3観点から振り返りができるように工夫されている。 ・特集資料やコラム、口絵等により、がん教育や性の多様性などの現代的な健康課題についても深く考えられるように工夫されている。 ・コラムの内容は多岐にわたり、深い学びが追究できるようになっている。 ・本文にはほとんど触れていないが、特集資料として「性」についての多様性を「体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」と、見開きの2ページに渡って詳しく解説している。 ・「新型コロナウイルス感染症」「スマホ利用の増加」「防災教育」など、今日的な課題を積極的に取り上げている。 ・「自然災害によるけがの防止」は1時間扱いであるが、特集資料として、「気象災害から身を守る行動」「地震災害から命を守る行動」を4ページに渡り掲載、特に避難情報に関しては詳しく説明している。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校・中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	新・中学保健体育	Gakken
<p>答申</p> <p>「生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てる」という基本方針のもと、保健体育への興味・関心を高め、意欲を高める工夫をするとともに、自ら課題を発見し、その解決に向けて思考・判断し、表現できるような主体的な学びのスタイルを大切にした教科書である。また他者との協働的な学びを充実させるとともに、学びに向かう力を養うことができる工夫がされている。そして保健体育の学びがウェルビーイングにつながるように、という願いも含めた教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・AB判サイズ。環境に配慮した紙、植物油インキ及び印刷方式使用。カラーUD・UDフォント。口絵及び未絵で11ページ。資料・本文含め計188ページ。(目次・索引除く) ・体育編から保健編という流れで、学年別に構成している。 ・各章の学習の流れと1時間の進め方をわかりやすく図示している。また様々な学習方法も説明されているが、特に主体的な学習に深く関わる『課題解決学習』の進め方については、グループで取り組む場合を想定して1ページを使い、さらにその整理の仕方を1ページを費やしてわかりやすく示している。 ・配色がすっきりしていて視認性も高いが、ページ内の図やイラスト・写真もバランスよく、かつ本文に対しあまり目立たないように掲載され、落ち着いて授業に取り組める。 ・口絵で運動、食事、睡眠・休養に関わるデータや中学生へのアンケート結果を取り上げ、健康な生活を実践する態度を身につけられるように工夫されている。さらに健康から運動・スポーツ、環境・安全防災での生活との関連、さらにそれぞれの施設へと流れのある口絵になっている。 ・全ての章の扉に「小学校」「中学校」「高校」で学習したこと、することを明示し、系統性のある指導ができるようにしている。また学習の全体像を示し、その章に関連した「ひと」「もの」「こと」を紹介し、興味をひくような内容を提示している。 ・基本的に見開きの2ページで、適切な内容及び分量を配置し、1時間の授業構成としている。 ・ページ左に文章を配置し、右に資料を掲載するという、わかりやすい配置になっている。 ・本文の記述に当たっては、できるだけ平易に、理解しやすい表現となるよう配慮されている。 ・各項目に「ウォームアップ」で課題発見、「エクササイズ」で対話的な活動を通しての課題解決、「学びを生かす」で自他の生活に結び付けて考えられるように工夫されている。 ・学習の課題が文頭に設けられており、キーワードとともに、わかる(知識)考える(思考判断)の、学習のめあてが提示されている。 ・見開き左下にはキャリアに役立つように[JOB]マークで関連する職業を明示し、右下には[とりくメーカー]で自分自身の取り組み度を振り返る工夫がある。 ・章のまとめがキーワード表記から始まり、振り返り→確かめよう→生かそうという順番になっており、振り返りがしやすい順番で掲載されている。 ・「関連」マークで体育分野と保健分野、また他教科との関連を示している。 ・教え合い、学びあう学習活動には「協働」マークを示している。 ・ページ下部に「情報サプリ」「探究」「リンク」等関連する内容を示し学習を深めることができる。 ・各章の終わりに「探究しようよ」を提示し、生活に関わる課題や発展的な知識、さらに深い学びにつながる課題を提示している。各学年末には「まとめのページ」があり、学習を振り返ることができる。 ・性についての心の多様性(LGBT、SOGI)が示されている。 ・「自然災害」や「災害から身を守るために」という内容で、6ページに渡り、本文や資料・画像を絡ませながら扱っている。 ・はしかや新型コロナウイルス感染症の新聞記事を載せたり、感染症発症後の登校可能日までを表にしたり、感染症対策が提示されている。 ・イラスト等、登場する人物の男女の比率や役割・背景などに偏りがないように配慮している。 ・発育・発達には個人差があることを重視し多様性に配慮している。例えば初潮や精通などはあまり個人差が感じにくいグラフで示されていたり、飲酒の単元においても、酔い方にお酒の量のイラストなどは掲示していない。 ・二次元コードで動画やワークシート、外部リンクにアクセスすることができ、より詳しく学習できるようになっている。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校・中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	中学校保健体育	大日本図書
<p>答申</p> <p>主体的・対話的で深い学びを通して、課題を解決し、学びを生活に生かすことで、現在から未来へと「生きる力」が身につくように工夫されている。また生徒の興味・関心を引き出し、「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実現できるような工夫のある教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ AB 版サイズ。環境に配慮した紙及び植物油インキ使用。UD フォント。口絵及び末絵で 17 ページ。資料・本文含め計 175 ページ。(目次・索引除く) ・口絵の写真でスポーツにおける「見る」「行う」「楽しむ」「支える」の視点から様々な形のスポーツへの関わり方がわかる。またスポーツから健康、健康を支える食事と、一連の流れを示している。 ・体育理論から保健分野へ各学年順に書かれている。 ・教科書の使い方・1 時間の流れ・保健体育の学び方がまとめられている。 ・章とびらで、「小学校で学習したこと」「中学校で学習すること」「高校で学習すること」がわかりやすくまとめられ、系統性が示されている。 ・見開きの 2 ページで 1 時間扱いに構成されており、左ページに本文とトピックス、右ページに資料や画像をまとめている。 ・項目のはじめに学習のねらいが明記され、学習の見通しがもてるようになっている。 ・「トピックス」では学習内容と関連が深い話題や興味深い読み物が示され、発展学習につながるよう工夫されている。 ・リンクの表示に他教科への関連が書かれていてよくわかる。 ・複数の資料を比べて読めるようレイアウトが工夫されている。 ・各時間の確認と振り返りをするための「キーワード」が見開き右下に用意されている。 ・授業のまとめに「活用して深めよう」の欄があり、より深く話し合い活動ができるよう工夫されている。 ・章末の「学びを活かそう」では、主体的・対話的で深い学びが実現できる活動が設定されている。 ・「地域」「家」マークでは地域保健について考えるように工夫されている。 ・各章末にデジタルコンテンツが貼り付けられ、ワークシートやまとめ問題が用意されている。 ・各章末に学習のまとめがあり、重要な言葉が詳しく解説されている。 ・「自然災害による傷害の防止」は 1 時間扱いであるが、挿絵資料として非常にインパクトのある画像を掲載し対策について説明している。 ・心肺蘇生法の実習では折り込みが採用され、全体を確認しながらも、横 1 列で流れがわかるように工夫された内容となっている。 ・色彩豊かなイラストやグラフが多く掲載されている。 ・中学生が活躍し、親しみが持てる場面の写真が多数掲載されている。 ・オリンピック・パラリンピック教育、防災教育、食育、情報教育などの現代的な諸課題が取り上げられている。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（技術分野）	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	東京書籍

<p>答申</p> <p>教科書の構成と使い方、学習方法、ガイダンスが巻頭に28ページ分掲載され、生徒が中学校で初めて学習する技術の授業に興味・関心を持って取り組めるようになっている。また、学習指導要領に沿った学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から、問題解決の過程を経て、将来の技術のあり方まで展望できる教科書である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスの冒頭に「SDGsとTechnology」を配し、持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割を紹介しており、これから学習していく意欲を高められる。 ・各編の基礎的な知識についてはページの色を少し変え、「技術のとびら」で簡潔に分かりやすくまとめられている。製作や栽培の基礎的・基本的な技能については「TECH Lab」として、安全・正確に作業ができるよう解説されている。 ・基本ページでは、各章・各節ごとに目標、始めの活動、学習課題、まとめの活動などが全て見開きの同じ位置に配置されている。また、題材には学習机やトマト、牛、ドライヤーなど身近なものが設定され、技術が日常生活と深く関わっていることを示すことで、生徒が技術に興味・関心が持てるよう工夫されている。 ・問題解決の章では、「問題の発見と課題の設定」で、学習の動機づけとなる身の回りの具体例をいくつか示し、問題発見につながる工夫がなされている。「解決策の構想」も複数の具体例が示されており、その後の設計、製作への意欲が高まるよう工夫されている。 ・設計時に必要な製図についても、「技術のとびら」で4ページにわたり取り扱うことで、基本的な技能を実際の製作例にわかりやすくつなげている。 ・小学校でのプログラミング学習に個人差が予想されるため、「コンピュータの基本操作」と「プログラミング手帳」を巻末に14ページにわたり掲載している。 ・全体を学習指導要領解説に示された「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の三つの要素に沿った章構成とし、学習が系統的に進められるよう内容が配列されている。 ・実習や実験をするとき、危険性がある作業については、「安全」・「衛生」マークで注意喚起されている。 ・フォントや大きさは適切で、カラーバリアフリーの観点から配色とデザインについても配慮されている。また、写真やイラストを多く掲載し、生徒の理解や興味・関心を深める工夫がされている。 ・「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など、技術分野の学習に関係の深い職業に就いている人たちからのメッセージを紹介し、勤労観・職業観を育む工夫がなされている。 ・各ページに用意されている二次元コードから読み取るデジタルコンテンツは、令和3年の教科書と比較して約8倍に増えている。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（技術分野）	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	教育図書
<p>答申</p> <p>ガイダンスの始めに、中学校で新しく学ぶ「技術分野」が四編とも小学校で学習してきたことと密接に関わっていることを見開きの2ページで具体的に示しており、導入をスムーズに行うことで技術の学びを広げていける教科書である。また、各編での実習や実験の手順やポイント、作業の安全や衛生について詳しく補足説明をしている技能資料が別冊「スキルアシスト」として付けられているのが大きな特徴である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各編は、主に「本文ページ」「問題解決（設計・計画）ページ」「実習ページ」の3つで構成され、先の見通しをもって学習に取り組める。 ・本文ページでは3ステップで基礎的・基本的な学習を、問題解決ページでは4ステップで問題解決の流れを学び、実習ページでは、別冊「スキルアシスト」を活用しながら分かりやすく実習できる。 ・実習等の安全については、ガイダンスだけでなく、各編の実習の始めに見開きの2ページを使って、さらに詳しく図解で解説している。 ・主体的に問題解決を図れるよう、「問題解決の流れ」を4コマ漫画で親しみを持って学べる。 ・問題を解決する製作品の作成や、栽培、プログラム作成をするにあたり、「プチ問題解決にチャレンジ!」の簡単な実習から高度な実習まで、履修学年や学校、地域の実態に合わせ柔軟に対応できるように多くの例が示されている。 ・各実習での補足説明に別冊「スキルアシスト」が添えられており、正確で安全な作業を可能にし、自身の「技能チェック」も具体的に行える。 ・各編「未来をつくろう」の章では、技術のプラス面とマイナス面を振り返り、未来につながる技術の誠実な生かし方を考えさせている。また、巻末には「先輩からのメッセージ」や「日本の技術を支える人々の想い」を紹介し、進路選択や職業観・勤労観の育成につなげている。 ・各編のまとめには「スゴ技」「技ビト」で、社会で活躍する技術者や特色ある製品が掲載されており、P167では、和歌山市の企業が開発した無縫製自動編み機が紹介されている。 ・製図、設計図の描き方については、8ページを使って詳しく説明されている。 ・フォントや大きさは適切で、重要語句は視認性を高めるため青太文字で示されている。 ・P6・7では、特別支援学校での実習例を記載し、紙面のユニバーサル化にとどまらず、多様な生徒が平等に学べるインクルーシブ教育にも配慮されている。 ・二次元コードから読み取るデジタルコンテンツに動画や資料、ワークシートなどが記載されており、興味・関心を深めやすい。 ・巻末に「設計・計画シート」がつけられており、ワークシートとして活用できる。(二次元コードからダウンロードも可能) 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（技術分野）	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	開隆堂
<p>答申</p> <p>学習指導要領に示される技術分野目標「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す」を達成できるよう、「Wants」「安全」「環境」「経済」について各編冒頭で取り上げ、生活や社会の中の技術を読み取り、問題に目を向け、問題解決の課題に取り組み、学習したことを社会に生かすという流れで学習していける教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスでは、技術の役割、技術の見方・考え方、学習・問題解決の流れが系統立てて示されている。また、作業の安全については、見開きの2ページで詳しく丁寧に説明されており、スマートフォンなどの情報機器を授業や生活の中で安全かつ積極的に活用していけるよう、注意点を分かりやすく具体的に解説している。 ・技術分野の学習の流れがP14・15に4コマ漫画形式でわかりやすく示され、問題解決の学習の流れが「問題の発見と課題の設定」「構想と設計（計画）」「製作（制作、育成）」「成果の評価と改善」の順序で四編共通して示されているので、生徒の問題解決能力を高める工夫がなされている。 ・各編の冒頭に小学校や他教科の学習内容とのつながりが一覧で記載されており、それらの関連が一目で分かりやすい。 ・学習の流れが「基礎的・基本的な知識・技能の習得」から「技術を活用した問題解決」「技術と私たちの未来」へと系統的に展開されており、生徒も教師も使いやすい。 ・各小項目が「学習の目標」「学習課題」「内容」「CHECK」の四段構成になっており、見通しの立った授業が展開できる。 ・問題解決の実習例を各編4例から7例と比較的多く例示しており、地域や学校、生徒の実態に合わせた適切な実習を選ぶことができる。また、実習後に問題解決の振り返りシートを使って評価・改善を行うことでSDGsの実現に向けた関わりについても考えさせられる構成になっている。 ・各編のまとめでは様々な分野の技術にかかわる方の紹介、インタビューを掲載し、勤労観・職業観を育む工夫がなされている。 ・フォントや大きさは適切で、カラーユニバーサルデザインが採用されており、色によって受けとる情報に差が出ないように工夫されている。 ・本文中に各種マークや囲みが配されており、内容が分かりやすくなっている。特に実習時の「作業の安全」が強調されている。また、親しみやすいキャラクターが生徒に気づきを促し、注意喚起を行っている。 ・二次元コードから読み取るデジタルコンテンツが全体に配置されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（家庭分野）	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	東京書籍

答申

自立と共生のための実践的な力を身に付けさせることに重点をおいており、見開きページに、始めの活動、学習課題、学習内容、学習のまとめが見やすく構成されている。図表、写真、デジタルコンテンツなどの資料も豊富で、小学校家庭科や他教科との関連を図りながら、主体的・対話的な学びが実現できる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

・AB判で297ページである。巻頭には学習・実習の進め方と注意点が示されている。ガイダンスの内容が充実しており、小学校の振り返りや3年間の学習の見通しをもたせるための工夫がみられる。

・学習指導要領の3つの内容ABCのうち、「A家族・家庭生活」の(1)は第1学年の最初に履修させるため、1編に位置づけ、2編以降は、「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」の後に、A(2)(3)と続く編成である。

・各編は、「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」からなり、導入ページには、家庭分野の見方・考え方との関わりが示されている。「学習のまとめ」では、身に付いた資質・能力を確認できるよう工夫されている。

・各節の始めには、「レッツスタート」「学習課題」があり、導入から本時の目標把握という授業の流れに沿ったレイアウトになっている。展開では、「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」など多様な活動が提起され、実践的・体験的に学ぶ内容が充実している。

・調理実習例、布を用いた製作例がともに豊富で、いずれも写真・図での解説や動画資料が充実しており、生徒の主体的な活動を促すよう工夫されている。また、実習の手順写真が多く、横並びのレイアウトになっており、これは特別支援教育への配慮でもある。

・課題解決的な学習を重視しており、「編の導入」で問題を発見し、「基本ページ」で計画・実践・評価・改善して、「学習のまとめ」で次の課題へとつなげる流れで学習できる構成である。また、巻末の「生活の課題と実践」の実践例は、学習指導要領A～Cのすべての内容を網羅し、複数の内容を関連付けているもので、まとめ・発表の方法はレポートやプレゼンテーションソフトなど多岐にわたって提示されている。

・全編において、自立と共生の観点から編修されており、本市の「めざす子供像」に適応した内容である。

・Dマークはデジタルコンテンツを使用できる箇所に付けられ、資料、動画、シミュレーション、ワークシート、思考ツールなどを活用して、内容理解や思考を深める学習、個に応じた学習、対話的な学習などができるよう工夫されている。教育のICT化を積極的に取り入れたものである。

・環境、防災、伝統文化、情報モラル、消費者の各マークが付けられており、学習指導要領に示されている現代的な諸課題への対応に関連する内容を明確にし、学習場面での意識づけができるよう工夫されている。SDGsに関しては、2～6編の最後の章タイトルがすべて「持続可能な」という書き出であり、実生活と社会とのつながりを示す内容となっている。巻末には17の目標とそれぞれに関連するページを掲載している。また、学習指導要領に示されていない内容には、発展マークが付けられ、興味を持った生徒が学習を発展させることができるようになっている。

・リンクマークは家庭分野の他ページや小学校家庭科、技術分野、他教科との関連を示し、小学校や他教科の教科書ページを二次元コードから見るができるものもあり、系統的かつ教科横断的に学びを深めるための一助となるよう工夫されている。

・各編の「プロに聞く」、巻末の「学んだことを社会に生かす」は、キャリア教育に資するものである。

・様々な生徒が使いやすい紙面のために、ユニバーサルデザインへの配慮（ユニバーサルデザインフォント、カラーバリアフリー、レイアウトの統一など）がなされ、彩度の低いやわらかな色調でまとめられている。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（家庭分野）	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	教育図書
<p>答申</p> <p>生活を自分ごととして見つめ考える活動を通して、主体的・対話的な学習を促す工夫がある。身に付けた知識・技能を生活に生かすための課題解決学習や、応用・発展させられる実習題材などについての内容が充実しており、実践的な力の育成につなげられる教科書である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から <p>・A4判の変形（他の教科書より少し縦長）で、293ページである。「つなぐ、つながる」が本教科書のコンセプトであり、ガイダンスページには、小中学校の学習内容を表す写真を掲載し、中学校での学習イメージをもたせて、小学校家庭科からのスムーズな移行ができるよう配慮されている。また、家庭分野の見方・考え方の4視点からも、これから学ぶ内容について「つながり」をキーワードとして提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の3つの内容「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」に沿って、A編、B編、C編で編成されている。 ・各編（B編は食生活・衣生活・住生活の各まとまり）は、「編の導入」「基本ページ」「学習のふり返し」で構成され、「導入」の自立度チェックは、学習への意欲喚起と、学習後の成果を実感させられるよう設けられている。「学習のふり返し」の設問は、評価の観点別に身についた資質・能力を確認できるように工夫されている。 ・各節は、「テーマ」「めあて」「見つめる」「学ぶ」の順に構成され、「見つめる」のイラストや写真は、対話的な導入を促すよう身近な生活での話題を取り上げている。「学ぶ」には、「見つめてみよう」「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」などがあり、多様な活動により主体的・対話的な学習が実現できるよう工夫されている。 ・調理実習、布を用いた製作については、紙面レイアウトを統一し、視覚的に理解しやすいよう工夫がされている。また、「私のアレンジ」に調理や作品の応用例を提示したり、布の製作物では作りたいサイズで製作するための手順・方法を示したりして、生徒が応用・発展させられるような工夫がみられる。 ・課題解決的な学習については、ほとんどの章の最後に「～について考え工夫する」という項目があり、課題発見のワークや、課題解決の手順、レポートの例が示されている。巻末の「生活の課題と実践」には多くの事例が掲載され、学習指導要領A～Cのすべての内容を網羅し、他の内容とも関連したものになっている。 ・全編において、自立と共生の観点から編修されており、本市の「めざす子供像」に適応した内容である。 ・二次元マークのあるページには二次元コードが表記され、資料、動画、ワークなどのデジタルコンテンツを活用して、実践的・体験的な学びを充実させることができるようになっている。 ・環境、防災、伝統文化、消費者、共生の各マークは、これら現代的な諸課題への対応についての学習を意識づけられるよう付記されている。伝統文化については、巻頭の「年中行事」や「世界の衣食住」の写真・解説など理解を促す資料が豊富である。共生については、地域の人々や高齢者との関わり方が丁寧に分かりやすく記載されている。また、SDGsの17の目標マークが該当する箇所に付記され、暮らしとの関連を示唆している。 ・関連マークは、家庭分野の他のページや小学校家庭科、技術分野、他教科との関連を示し、系統的かつ教科横断的に学びを深める一助となるよう工夫されている。 ・「センパイに聞こう」や様々な職業の方の「メッセージ」が各編にあり、キャリア教育に資するものである。 ・様々な生徒が使いやすい紙面への配慮として、ユニバーサルデザインへの取り組み（ユニバーサルデザインフォント、カラーバリアフリーなど）を行っている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（家庭分野）	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	開隆堂
<p>答申</p> <p>「自立と共生は一体」「科学的な内容」「命と暮らし」「持続可能な社会」の4つの視点を重視して編修されており、「多様性・個の尊重」や「防災」に関する内容が多く取り上げられている。科学的な根拠に基づく知識・技能を身に付け、社会に向けて視野を広げることのできる発達段階に適応した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・AB判で、ページ数は313ページと多い。巻頭のガイダンスページには、「助けを求めることは共生であり自立でもある」ことが例を挙げて示され、関連する内容はA～C編の随所に掲載されている。また、「多様性や個の尊重」については、表紙イラストの表現や、多くの箇所で行き上げられている。 ・学習指導要領の3つの内容「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」に沿って、A編、B編、C編の構成になっている。 ・各編（B編は食生活・衣生活・住生活の各まとめ）は、「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成され、「学習のまとめ」は評価の観点別の設問により、身についた資質・能力を確認できるよう工夫されている。 ・各節は、「テーマ」「学習の目標」「導入の言葉」の後、内容の記述という構成である。「導入の言葉」は身近な問題を取り上げ、学習への興味関心を促すものになっている。「話し合ってみよう」「発表しよう」「考えてみよう」「やってみよう」など多様な活動により、主体的・対話的な学習が実現できるよう工夫されている。 ・調理実習例については、調理方法を示すのみでなく、「なぜそうするのか」という科学的な根拠をQ&A形式で示している。「蒸す」調理例は、1つの実習例につき蒸し器、フライパン、電子レンジのうち複数の方法を示しており、家庭での実践につなげやすく工夫されている。実習の手順写真はすべて横並びのレイアウトになっており、これは特別支援教育への配慮でもある。また、加工食品を活用した調理実習例のページには、併せて災害時の調理や食品備蓄の方法などが示され、現代的な課題にも対応している。 ・課題解決的な学習については、各編の「学習のまとめ」に課題を見つけるための設問があり、巻末には「生活の課題と実践」の取り組みの方法と事例が掲載されている。事例は学習指導要領A～Cのすべての内容を網羅し、他の内容との関連についても示されている。 ・全編において、自立と共生の観点から編修されており、本市の「めざす子供像」に適応した内容である。 ・QRマークのあるページに二次元コードが表記され、資料、動画、ワークなどのデジタルコンテンツを活用して、実践的・体験的な学びを充実させることができるようになっている。 ・消費・環境、防災、伝統文化の各マークは、これら現代的な諸課題への対応に関する学習を意識づけられるよう付記されている。防災に関しては、「平常時の備え」「災害発生時の対応」「災害時の生活」「災害後の生活の立て直し」と、時系列に沿って、必要な知識が豊富にまとめられている。発展マークで示す発展的な内容が多く、学習指導要領外ではあるが、生徒の興味関心に応じて扱うことができるようになっている。また、「持続可能な」の書き出しで始まる節が、各編（B編は食生活・衣生活・住生活の各まとめ）の最後であり、実生活と社会とのつながりを示す内容となっている。 ・小学校マークや他教科マークは、小学校家庭科、技術分野、他教科との関連を示し、系統的かつ教科横断的に学びを深める一助となるよう工夫されている。 ・「先輩からのエール」が各編に複数あり、キャリア教育に資するものである。 ・様々な生徒が使いやすい紙面への配慮として、ユニバーサルデザインへの取り組み（ユニバーサルデザインフォント、カラーバリアフリーなど）を行っている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語・英語	NEW HORIZON English Course 1 2 3	東京書籍

答申

小学校での学びを土台にして、中学校での学習へと円滑に接続する工夫がみられる。また、各学年の初めには前学年の学習をつなぐ Unit 0 が設けられ、3年間のスムーズな学習が意識されている。多様な切り口から言語活動をバランスよく積み上げ、豊富なデジタルコンテンツをそろえた教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

- ・A4判で、表紙には和やかに活動している中学生のイラストが描かれ、楽しさや親しみを感じる色調である。
- ・ページ数は Book 1, 2, 3それぞれ170, 158, 158である。語彙数は、1, 700語を取り扱い、発信語彙として、小学校既習語392語、中学校新出語408語の800語を設定している。
- ・Book 1では、生徒の手書きを想定し、小学校と同じフォントを使用している。
- ・巻頭に、学年の「テーマ」、「学習の見通し」、「学び方コーナー」を設け、各単元の活動目標と文法事項が示されている。
- ・Book 1では、小学校の学びを意識し、Stage 1「小学校で学んだことを整理しよう！」を目標に、Unit 0～Unit 4を使い、音声を中心に、よりまとまりのある配列が工夫されている。また、Sounds and Lettersのコーナーで「音とつづりの関係」を確実にできるよう、デジタルコンテンツとも連動して配列されている。巻末には、Grammar for Communication 0で使える語順カードが用意され、言語習得の上でのハードルとなる語順を視覚的に学べる工夫がなされている。
- ・各学年の構成は、Stage 1～3に分かれている。単元(Unit)の学習の流れは統一されており、扉→Part 1, 2→Read and Think→Unit Activityのセットと各Stageの終末には各ユニットで学習したことを使って表現するStage Activityが設けられている。扉で目標を示し、トピックをつかませ、Part 1, 2で内容理解と新出文法の口頭練習、Read and Thinkで要点把握、詳細情報の取得と表現活動、Unit Activityでは単元で学んだことについての表現活動という単元の学習活動で統一されている。また、単元と単元の間にはReal Life Englishという小単元が設定され、生徒が伝えたいと思えるような実生活に即した話題が取り上げられている。他教科と関連する単元があり、各教科の学びを英語学習に生かす機会が設けられている。
- ・それぞれのUnitで学習した言語材料を使って、即興的なやり取りができるよう、帯活動用のSmall Talkが巻末に設けられ、学習した文や表現を使って、「自分のこと」「自分の意見」「自分の気持ち」を伝える練習ができるようになっている。
- ・小中高の学びを見通した「CAN-DO リスト」が作成されており、Book1では、小学校と中学校3年間のリストが、Book 3では中学校3年間と高校のリストが掲載されている。それぞれの技能ごとに自己評価できるようになっており、学習の振り返りができるようになっている。
- ・デジタルコンテンツについては豊富に用意されており、「再生する速度が選べる機能が付いた本文再生」や用例をジャンル別に収めた「用例辞典」「文法解説動画」「文法クイズ」「単語クイズ」など生徒の意欲を引き出す工夫がなされている。Word Roomは、英単語がジャンルに分けて部屋に収められているので、発信の際には参照しやすい。また、デジタル資料室は当該学年だけでなく、他の学年の箇所も参照できるので、学年の壁を越え、豊かな言語活動ができる。
- ・「資料の読み取り」の力を育成するために、図表や非連続型のテキストを含む教材を扱っている。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語・英語	Sunshine English Couse 1 2 3	開隆堂
<p>答申</p> <p>小学校での学習の基礎の上に立って、「話すこと」を軸に4技能5領域の能力を総合的に扱っている。確かな学力が身に付くように、易から難への段差をスムーズにした言語活動を仕組んでいる。各学年の目標から逆算し、目的・場面・状況を意識した言語活動を数多く設定した教科書となっている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教・科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で、表紙に教科書に登場するキャラクターが積極的に英語でコミュニケーションしているイラストが描かれ、柔らかい色調とともに好感が持てる。 ・ページ数はBook1, 2, 3それぞれ170, 162, 162である。語彙数は、それぞれ490, 616, 558である。 ・カラーユニバーサルデザインの視点を取り入れ、ユニバーサルフォントを採用し、すべての生徒が無理なく学びやすい紙面になっている。 ・巻頭に「Story Preview」「教科書の構成」で、各学年の目標を示し、1年間の学習の見通しが立てられる工夫がみられる。 ・Book1は小学校からの接続を意識し、13ページを割いて小学校でできるようになったことを確認し橋渡しができるGet Readyを設け、中学校の学習へのギャップを軽減している。音声を聞く活動から導入し、苦手意識を持ってしまった生徒にも安心感を与えている。また、文字と音の関係についてもこの単元で確認することができる。巻末資料にも「英語のつづり字と発音」コーナーがあり、綴りと発音の関係の決まりを確認することができる。巻末には、アクションカードが付録されており、イラストを見て動作を表す語を繰り返し振り返ることができるので、ペアやグループ活動で活用することができる。 ・単元(PROGRAM)の学習の流れは統一されており、扉→Scenes→Tuning in→本文→Review & Retell→Action→「英語早わかり」のセットと、学期に1回、4技能5領域の統合を目当てとするOur Projectが設定されている。扉で目標を示し、Scenesで新出表現の導入を必要最小限の音声とイラストを用いて行い、tuning inで取り上げられている題材に関連した写真やクイズ、雑学などで題材の背景知識についての興味・関心を喚起し、本文で内容理解、Review & Retellでスモールステップを踏んで本文の要約を確認し、自分の言葉で本文の内容を伝える活動を、Actionで本文と関連したトピックで言語活動を行う活動を設定している。Our Projectまで単元と単元の間Stepが設けられ、生徒にとって無理なく取り組めるきめ細かい活動がちりばめられている。「おすすめスポット紹介」や「ポスターセッション」に取り組むOur Project自身も4ページを割り、丁寧な取組を通して生徒が達成感を得られる工夫がみられる。Coffee Breakでは単元で扱った題材や異文化情報を取り上げ、生徒の知的好奇心に答えている。 ・巻末には「CAN-DOリスト」が作成されており、それぞれの技能ごとに自己評価できるようになっており、学習の振り返りができるようになっている。 ・各課の下部にSmall Talkが設定され、即興的なやり取りができるきっかけが工夫されている。また、Book1の巻末には「クイックQ&A」を設定し、質問に対してすぐ答えられる練習を対戦形式でできる工夫がなされている。 ・デジタルコンテンツでは英語音声やアニメーション、実写動画などが用意されている。また、単語学習アプリを搭載し、4つの出題パターンで、新出語の定着を図り、フラッシュカード機能や音声再生機能などの配慮がなされている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語・英語	NEW CROWN English Series 1 2 3	三省堂
<p>答申</p> <p>音声から文字、基礎基本を確実に習得する練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズな流れを作るよう活動を配列している。様々な活動を通して、目的や場面、状況に応じて言葉を使って理解し、表現し、伝え合いながらコミュニケーションを図ることのできる生徒の育成を意図している教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で、表紙は3学年とも落ち着いた色調で統一されている。 ・ページ数はBook1, 2, 3それぞれ183, 167, 167である。語彙数は、それぞれ562, 630, 435である。巻末資料では、身に付けるべき語句の重要度を意識できるよう、☆や・などの記号がつけられている。 ・カラーユニバーサルデザインの見地から、グラフや文字、記号など、色の組み合わせや濃淡を工夫している。また、全学年を通して、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用している。 ・巻頭に各学年のテーマである「出会いと発見を楽しもう」「可能性を広げよう」「思いをことばで伝えよう」が掲げられ、写真やイラストとともに各学年で何を学んでほしいかが確認できる。また、目次に続くページでは「しくみと学び方」が提示され、各Lessonの学習の流れが示されている。 ・Book1の冒頭には、小学校で聞いたり、話したりした活動に取り組むStarterが配置され、小学校で学んだ語句や表現をふり返り、中学校の学びにスムーズにつながられる配慮がなされている。また、小学校で学んだ語句や表現を収録したMy Dictionaryを配置し、カテゴリー別に掲示された語句や表現を振り返りながら、今後の学習の中で活用し続けることで基礎的な語句が定着できる工夫がなされている。 ・単元(Lesson)の学習の流れは統一されており、扉→Part 1 (Scene 1, Scene 2)→Part 2 (Scene 1, Scene 2)→Part 3 (Side Story)→Goal Activity→Language Focus→Take Action!のセットと学期に1回、4技能5領域の統合を目当てとするProjectが設定されている。扉で、取り上げられるトピックと単元終末にどんな学習をするかをつかみ、各Partの学習ではSmall Talk (ペアで会話)、Scene 1 (会話を聞いて題材に親しむ)、Scene 2 (聞いたり読んだりして概要・要点把握)へと続き、Goal Activityではレッスンに関連したテーマについて、目的、場面、状況に応じて、まとまりのある内容を読んだり、書いたりする活動を設定している。Take Actionは英語を使う必然性のある日常生活で出会う場面や状況で、聞く、読む、話すのいずれかに絞って活動できる。Projectでは、4～5の小さい段階を踏んで、「好きなもの観光マップ」や「10年後の自分へのメッセージ」などの課題に対して生徒が無理なく取り組める工夫がなされている。 ・巻末には「CAN-DO リスト」が作成されており、それぞれの技能ごとに自己評価できるようになっており、学習の振り返りができるようになっている。 ・デジタルコンテンツは、音声や映像を使った教材が用意されており、二次元コードを利用して、発音のチェックや辞書機能にアクセスすることができ、個別最適な学びが準備されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語・英語	ONE WORLD English Course 1 2 3	教育出版
<p>答申</p> <p>「聞く」「読む」「話す」「書く」の全ての言語活動において、初めに目標が提示され、生徒がその授業で何ができるようになるかをはっきりと理解して取り組むことができる。4技能5領域をバランスよく身に付け、コミュニケーションツールとしての英語力を伸ばす教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・AB判で、表紙は3学年とも落ち着いた色調で統一されている。 ・ページ数はBook1, 2, 3とも176である。語彙数は、それぞれ552, 635, 501である。発信語彙として、小学校既習語435語、中学校新出語465語の900語を設定している。 ・カラーユニバーサルデザインの観点に立って、個人差を問わず、識別しやすい配色を用いている。1年生のLesson3までは手書き文字に近く判読しやすいフォントを使用し、全学年のアイコン等も判読しやすいフォントで示されている。 ・巻頭に、英語を用いてどんなことにチャレンジしたいかを書くことができるようなスペースを設けている。また、次のページでは「Lessonの基本構成」が提示され、各Lessonの学習の流れが示されている。記号や活動アイコンの意味を示し、どんな学習をするかが一目でわかる工夫がみられる。 ・Book1の冒頭には、小学校で学習した表現や語彙を音声や文字で振り返り、友達とやり取りしたり書いたりして振り返ることができるSpringboardが配置されている。「英語学習のポイント」が示され、「相手意識を持とう!」や「音声を活用しよう!」などが紹介されている。 ・単元(Lesson)の学習の流れは統一されており、扉→Part1,2→Part3→Task→Tips for～のセットと学期に1回、4技能5領域の統合を目当てとするProjectが設定されている。扉で単元の目標をとらえ、Part1,2の学習では基礎的な知識・技能の習得に重点を置き、Tool Kit(新出文法の口頭ドリル)、Let's Listen(会話を聞いて課題に答える)、Think & Try(テーマについての自由会話)へと続き、Part3(読むことに重点を置いた活動)、Taskで学んだ知識・技能の活用やまとめ、振り返りの活動を設定している。Tips for～では、最初に何ができるようになればよいかという目標を示し、それぞれの領域の課題に取り組む中で技能を習得できるコツを示している。 ・巻末には「CAN-DOリスト」が作成されており、それぞれの技能ごとに自己評価できるようになっており、学習の振り返りができるようになっている。 ・デジタルコンテンツは、二次元コードを利用してアクセスできる「まなびリンク」を設け、音声やワークシート教材が用意されており、文法解説動画やフラッシュカード機能、key sentenceを録音してモデルと比べる機能(学習者用デジタル教科書)など、個別最適な学びが準備されている。 ・Book1,3の巻末には、効果的な英語学習法が示され、「ディクテーションに挑戦」「カタカナ語と英語の違いに注目」や「英単語のしくみ」「類義語、対義語」について示されている。Book2の巻末には、環境問題や地理などの分野別用語集が示され、Think & TryやTaskで活用できるようになっている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語・英語	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 2 3	光村図書

答申

それぞれの学年、学期、単元で「できるようになること」を明確にし、言語活動を系統的に編成することで、資質・能力を育成し、定着を図っている。等身大の中学生が織りなすストーリーを通して、社会の多様性に目を向けながら、自他の大切さを学ぶことができる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から

・AB判で、表紙に教科書に登場するキャラクターが和やかに英語でコミュニケーションしているイラストが描かれ、3学年とも落ち着いた色調で統一されている。

・ページ数はBook 1, 2, 3とも175である。中学校初出語彙数は、それぞれ426, 614, 619である、発信語彙として、小学校既習語417語、中学校新出語484語の901語を設定している。

・ユニバーサルデザインに対応し、日本語にはユニバーサルデザイン書体を使用、1年生のLesson 3までは4線に対応した手書き文字に近いフォントを使用している。

・巻頭に、見開きで「どのように英語を学ぶか」で、「見通す、やってみる、ふり返る」という学びのサイクルを示している。また、学習の動機付けのためのコツを示したQ and Aを掲載している。目次から続くページには教科書の構成と使い方を示し、3学年の目標と学年の中心となる教材、Unitの学習の流れが理解できるようになっている。

・Book 1の冒頭、中学校の学びへの導入教材のLet's Be Friends!では、小学校の既習表現や語彙をふり返り、最後に無理なくまとまりのある自己紹介に取り組むことができる構成になっている。また、Unit 3までは、聞き取り中心で、文字は必要最小限にとどめ、小学校と中学校の橋渡しを企図している。

・単元(Unit)の学習の流れは統一されており、扉→Part 1～Part 3→Goalのセットと学期に1回、4技能5領域の統合を目当てとするYou Can Do It!が設定されている。各ユニットの扉では、単元の目標をとらえ、取り上げられる題材の「目的・場面・状況」をつかめるよう工夫されている。また、ストーリーの概要をつかむために、「予想する→音声を聞く→映像を見る」が設定され、音声を聞いたうえでピクチャーカードを並べ替える活動が準備されている。各Partの学習では、「聞く」、「話す」、「書く」活動を通して、Goalの目標に向かって学習を進めることができる。また、Goalのページには、単元目標が達成できたかどうかを確認するため、単元目標が再掲されている。関連コーナーとして、ストーリーの続きや別エピソードを楽しめるExtra Storyや登場人物になりきってセリフの続きを考えるYou're the Writer!が用意されている。さらにDaily Life, World Tour, 巻末に配置され帯活動で使用できるLet's Talk, Story Retellingなど多彩な学習活動が準備されているため、実生活での有用な表現を学習したり、即興的にやり取りしたり、学んだことを自分の言葉で伝えたりすることで学習が深まり、確かな学力を育む活動が配列されている。

・巻末には「CAN-DO リスト」が作成されており、それぞれの技能ごとに自己評価できるようになっており、学習の振り返りができるようになっている。また、「思考の地図」では、ベン図やアウトライニング、マッピングなどの思考ツールとそれらの使い方が紹介され、生徒の思考・判断・表現を後押ししている。

・二次元コードを利用してアクセスできるデジタルコンテンツは、750以上設定し、速度調節機能を持つ音声、実写を含む映像、文法解説、ピクチャーカードの並べ替えなどICTならではの個別最適な学びができる工夫がなされている。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
外国語・英語	BLUE SKY English Course 1 2 3	啓林館
<p>答申</p> <p>目的・場面・状況に応じたコミュニケーションが図れるよう、言語活動をスモールステップで設定し、知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。世界平和やユニバーサルデザイン、エネルギー問題など現代社会の諸課題を積極的に取り上げ、生徒の興味や関心に対応した教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で、表紙は3学年とも落ち着いた色調で統一されている。 ・ページ数は Book 1, 2, 3それぞれ159, 163, 147である。語彙数は、3年間で約2,400語に触れることができる。小学校で慣れ親しんだ語彙は中学校の新出語とは別に表示している。 ・メディア・ユニバーサル・デザイン協会の検証を受け、判別しにくい配色を避け、シンプルなイラストを扱うなどの配慮をしている。 ・巻頭に、BLUE SKY World Map が掲載され、各学年で学習する国や地域、人種・民族が登場しており、国際理解や異文化理解を深める工夫がなされている。また、同じページに、登場人物の紹介が示されている。 ・Book1の冒頭、中学校の学びへの導入教材の Let's Start では、小学校で慣れ親しんだ「聞く」「話す」「文字と音」をふり返り、中学校での学習につなげている。また、小学校「聞く」「話す」を中心に学んできたことを踏まえて、Unit 1～5までは話すことを中心に目標を設定している。 ・単元(Unit)の学習の流れは統一されており、扉→Part 1～Part 3→Think & Speak / Write のセットと学期に1回、4技能5領域の統合を目当てとする Project が設定されている。各ユニットの扉では、単元の Input と Output の目標が示され、取り上げられる題材の音声を読み、スキーマを活性化させる活動が用意されている。各 Part の学習では、「聞く」、「話す」、「書く」活動を通して、知識・技能を確実に習得できるようスモールステップによる学習場面が設定されている。即興的なやりとりができるようになるための Enjoy Chatting が各パートに設定されているため、ペアやグループでテーマに沿った会話練習ができる。単元の Output の目標が「話すこと」の場合は Think & Speak, 「書くこと」の場合は Think & Write が単元末の活動となり、言語活動として、整理した自分の考えについて「話す」または「書く」を通して表現することができることを目標とし、最後には Unit の目標に基づき、4段階で自己評価できるようになっている。いずれの活動も「聞くこと」からスタートしており、聞くことを Input の柱としている。また、Let's Listen や Let's Talk, Let's Write のコーナーでは「聞くこと」「話すこと」「書くこと」に重点を置いて、英語による Output を、ステップを踏んで無理なく課題に取り組める工夫がみられる。2・3年生の Unit では、Part 後に Listen / Read & Think が配置され、「何をどのように聞けば(読めば)よいかを考えながら聞く(読む)ことで、思考・判断・表現の力が育成できるよう工夫されている。特に、Listen & Think の終末は、聞いた情報を自分の言葉で説明する Retelling が用意されている。 ・巻末には「CAN-DO リスト」が作成されており、それぞれの技能ごとに自己評価できるようになっており、学習の振り返りができるようになっている。 ・二次元コードを利用してアクセスできるデジタルコンテンツは、700以上設定し、本文の音声、新出語句の音声、リスニング音声、本文アニメーション映像や文法解説動画などが用意されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新編 新しい道徳	東京書籍
<p>答申</p> <p>教材冒頭に「学習のテーマ」を配置し、観点を共有して学習を進められるようにしている。定番教材を増やすとともに、ユーチューバーや分身ロボットなど生徒に身近な題材を扱った教材や、防災、SDGs、多様性などの現代的な課題を考える教材を充実させている。授業の導入や終末、自宅学習など、さまざまな場面で活用できる教科書となっている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、本編35教材と「小学校道徳で学習した教材」1本と、「道徳×SDGs」3本の合計4本の付録教材。物事を多面的・多角的に考えられるよう読み物教材はもちろん、漫画やグラフなど、さまざまな形の教材が用意されている。 ・各学年とも、授業開きでは「1年間で学ぶこと」「道徳とは」「教科書の使い方」を設け、①気づく ②考える ③深める・広げる という、道徳の基本的な学習の流れがわかるようになっている。 ・4月～5月にいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を、9月に生命尊重ユニット「いのちを考える」を全ての学年に配置し、書く活動を含めた3時間扱いの重点的な構成としている。「いじめ問題は」、漫画教材と組み合わせたユニット構成をし、多面的・多角的に考えられるようにしている。 ・教材冒頭の右上に内容項目の視点を色と絵柄で示し、教材のテーマも示し、ねらいからそれずに授業展開できるようにしている。 ・各教材の末には、「考えよう」「見つめよう」があり、主に「道徳的価値に迫る中心的な問い」と「自我関与して発展的に考えることのできる問い」が示されている。 ・道徳の授業で長く親しまれてきた教材を多数掲載。生徒が自我関与しながら、人間としての生き方を深く考えられるようにしている。 ・(NHK for School) の番組ストーリーを紙面に落とし込んで、全学年に、紙面と同じ内容の動画にも二次元コードからアクセス。文章を読むことが苦手な生徒にも楽しく授業に参加できるようにしている。 ・小学校の道徳でよく扱われる教材を付録として全学年に掲載している。過去にじっくり考えたことのある物語を読み直すことで、小学生の頃の自分の考えと比べることで、生徒が自身の成長を実感することもできるようにしている。 ・学年間連携を意識して学習に取り組めるものもある。1年生では、「出会い—アンドロイドと不気味の谷」2年生では、「気づき—ドッジボールとぼくらの温度差」、3年生では、「語り—私たちが出会う新しい私たち」。作家 朝比奈あすかさんによる書下ろし教材で、4人の登場人物が3年間かけて友情を育てていく物語。 ・困難を乗り越えて活躍する人や、スポーツ選手、偉人、中学生に身近な人物などにスポットを当てて、さまざまな生き方や考え方に触れることで、自分の将来やキャリアについても考えられるようにしている。 ・現代的な課題として、「いじめ問題」「生命の尊さ」については3時間のユニットとして、「防災道徳」として、命を守る大切さを考えられるようにしている。「情報モラル」については、今を生きる全ての人にとって欠かすことのできないことであり、全学年に複数ある。「SDGs」については、未来を担う生徒にとってさまざまな形で、多面的・多角的に考えるものがある。「多様性」については、誰に対しても公正・公平を保ち一人一人を尊重する態度を育てるようにしている。 ・和歌山県に関する内容として、島正博さん、檜野の人々とエルトゥール号である。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道 徳	中学道徳 とびだそう未来へ	教育出版

答申

魅力的な教材と誰にでも理解しやすい発問構成で、生徒の「考えたい」「話し合いたい」を引き出し、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしている。学校や生徒の実態に合ったカリキュラムづくりに柔軟に対応できる教材構成であり、活力ある授業を支えている。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・各学年とも本編30教材と補助教材5教材。本編30教材、学習指導要領で定められている学習内容を充足しているため、郷土資料などと差し替えが可能である。
- ・授業開きでは、「さあ、道徳を始めよう！」で「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の四つの段階で授業を進めていくイメージをもつことができるようにし、学習意欲につなげている。
- ・「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」について、複数の教材やひろばでユニットを組みこれらに関係する教材にはマークを付して重層的に考え、深めていくことができる構成にしている。
- ・道徳の授業について、1年生では、「何を学ぶか」2年生では、「どう学ぶか」3年生では、「学びを広げる」学年末の「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」で道徳科の学びを今後の生き方に生かし、生とそれぞれのウェルビーイングの実現につなげようとしている。
- ・誰もが取り組みやすく、生徒が主役となる授業づくりのために、教材は内容把握のしやすさを大切にし、話し合い活動に誰もが参加できるように考えられている。
- ・多様な人物の生き方に触れることで自分らしく生きる意欲を育み、生徒のウェルビーイングへとつながるように考えられている。
- ・多様性を尊重する心を育み、持続可能な社会の創り手としてよりよい未来を考えられるように考えられている。
- ・生徒一人一人が持続可能な社会の創り手として、よりよい未来を考えていくことができる教材を多く掲載している。世界情勢を踏まえて平和の尊さを考える教材も掲載している。
- ・一人一台端末の時代に必要な情報モラルと情報活用力を育み、学年ごとに系統性を意識したテーマを設定している。
- ・実践が積み重ねられてきた定番教材を含め、評価の高い教材も掲載されている。
- ・どうすればその問題を解決できるのか、さまざまな考えを出し合う問題解決の手法や、生徒がその立場を演じることで多角的な視点をもつことができる役割演技など多様な指導方法で楽しく授業ができるように考えられている。
- ・生徒の成長に寄り添えるよう、小学校から中学校、さらにその先の進路とのつながりを意識して、生徒の発達段階に即した教材を系統的に配置している。
- ・教材での学びを豊かに広げたり、さらに深めたり、他の教科や特別活動の時間と関連づけられる多彩な内容ひろば（コラム）を設けている。
- ・教科書紙面の二次元コードから学習を支援するさまざまなコンテンツにアクセスできる。個別・協働・家庭学習、それぞれの場面で生徒の理解や学び合う意欲、主体性を高められるようになっている。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	光村図書
<p>答申</p> <p>「主体的な学び手を育てる」「自ら問いをもち探究する」「人権に対する感性を育む」ことを軸に内容を編集されている。全学年、年間を9つのテーマを持ったユニットで構成し、「いじめを許さない心」「共生」「情報モラル」等、全学年に共通するものもあれば、学年の発達段階に応じたテーマも設定されている。</p> <p>内容項目間の関連づけが図られ、より効果的な学習できる。主体的・対話的に学びが深まる授業を実現できる工夫が施された教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも、本編35教材と付録5教材を掲載している。 ・道徳の授業開きとして、第1教材に「道徳の学習を始めよう」を設け、全学年とも、道徳を学ぶときには「答えは一つではない」「自分と向き合い、他人と向き合う」「学びをつなげる」道徳で学ぶ22のキーワード「道徳道案内」として、1年間で学ぶことの確認から始まる。教材名と共にキーワード（内容項目）を示しているの、どのような道徳的価値について考えを深めるユニットなのかが一目でわかるようになっている。巻末の折込には「まなびの記録」を収録。表面は、第1教材と最終教材。裏面は、毎時間の振り返りに活用できる。 ・「人権」について、考えることを大切にしている。自分も他者も大切に感じる感覚を養うため、さまざまな教材を用意している。「人権」について、しっかりと、じっくりと考えられるよう「共に生きるために大切なことは？」というユニットを設けている。各学年三つの教材とコラムで構成されている。「人権」と向き合うために、3年間を通して、人権について知ってほしいこと、考えてもらいたいことをコラムにしている。3年間系統立てて掲載している。 ・多様な考えに触れ本質を洞察するために、「感動」「尊重」「学び」の三つのテーマで、友達と話し合いながら身の回りのあたりまえを問い、答えを求める楽しさを味わえるようにしている。 ・問うことの楽しさを実感するために、自ら問いを立てて、考えていくことを促している。「なんだろう」と問うことの楽しさを感じるために、「なんだろう なんだろう」を掲載。生徒が楽しみながら考えることができるようにしている。 ・学んだことを自分の生き方に生かしていくという基本的な学びの姿勢を育めるために、道徳を学ぶときに大切な三つのポイントを「道徳の学習をはじめよう」で示し、生徒がどのように道徳を学んでいけばよいのかを示している。三つのポイントは1年から3年へと少しずつステップアップしている。「道徳の道案内」で見通しをもつから、振り返りができ、学んだことを自分で評価する力を育めるようにしている。自ら学びたいくなるような教材「考えよう」で、教材を通して何を学ぶのかを意識できるよう、学びのテーマを明示。発問で二つの問で構成し、発問の意図を明確にし、最後に考えように掲げた学びのテーマに戻って、本時のまとめを活用することができる。 ・現在を生き抜くために、「いじめ問題」として、じっくり考えるように、全学年に「いじめを許さない心について考える」ユニットを設けている。「生命の尊さ」について、各学年に三教材ずつ用意し、生と死を巡って、さまざまな観点から生命について考えられるようにしている。「情報モラル」について、情報端末のよりよい付き合い方を考え、生徒の身近な問題を通して、道徳的価値について考えている。「防災」について、教材を通して、過去に学び、防災の意識を高められるようにしている。「キャリア教育」について、生徒自身が自己の生き方や進路を考えられるように意識した教材を掲載している。「世界の中の日本を意識して」について、生徒が他者を理解し、進んで世界の人々と共存していける素地を養えるような教材を用意している。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道 徳	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	日本文教出版

答申

「道徳ノート」を別冊でつけ、教科書と同じ配列で心の成長を記録するようにしている。「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」の二つのユニットを年に複数回組んで、集中的に学ぶことができるなど、テーマのまとまりを意識し、系統的、発展的に学習できる教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・全学年とも35教材。道徳の授業開きとして、各学年の最初に、オリエンテーションページを設け「どんなことをするの?」「どうやって学ぶの?」学びの見通しをもてるようになっている。「どんなことをするの?」では生徒目線で考え、発達段階に配慮した内容を漫画でわかりやすく示し、「どうやって学ぶの?」では、①気づく ②考える・議論する・深める ③見つめる・生かすの3つのステップで各ステップには学びを深めるための手がかりを用意した。ミニ教材を新設し、短文で取り組みやすい教材を使って、授業開きを難なくできるようにしている。
- ・各学年、6つの教材の後に「学びを深めよう」のページを付属。問題解決的な学習や体験的な学習などの流れと資料を示し、学びの見通しや思考の広がり・深まりにつながる工夫をしている。
- ・教材の工夫として、時代を切り開いてきた先人たち、「いま」を生きる人たちのさまざまな苦悩や努力を取り上げた教材から、「人間の生き方」について考えを深めることができるようにしている。漫画教材、ダイナミックなビジュアルの教材、多様な意見を促す教材など、より理解しやすく、心ひかれ、議論したくなるよう見せ方や内容にこだわった、魅力的な教材を多数掲載。
- ・実践が積み重ねられてきた、力のある定番教材。本県との関係で、エルトゥールル号の「時を越えて-檜野で生まれたきずな-」「稲むらの火」が新たに史実に沿って書き下ろされてある。
- ・道徳科の授業内だけでなく他教科や他活動、自主学習でも横断的に活用できるコラム「視野を広げて」を各学年に7つずつ配置。現代的な諸課題にも関わる5つのテーマを基にして生徒の実生活に即した内容を扱っている。
- ・デジタルコンテンツを全教材・全コラムに用意している。
- ・学びのための配慮として、人権への配慮では「多様性」を掲げ、全ページ人権面に配慮している。特別支援教育への配慮として、ユニバーサルデザインに配慮した紙面、個に応じた指導を支えられるように工夫している。
- ・ユニット「いじめと向き合う」は、いじめの事例を直接に扱った教材と、違う視点から間接的に考える教材の両方で構成されている。コラムは、知識を深めるものとスキルを身につけるものの二段構えで構成し、多面的・多角的に考えられるようになっている。いじめが起きやすい時期に年間複数回配置。1年生に、3か所、2・3年生には2か所となっている。夏休み明けの時期に配置することで、いじめの未然防止につながるようになっている。
- ・ユニット「よりよい社会を考える」を、1年生には2か所、社会との関わりがより深くなる2・3年生には3か所配置している。ユニットは「自立と共生」または「環境と未来」をテーマに構成し、集中的かつ多面的・多角的に考えられるよう工夫している。
- ・SDGsや多様性の尊重に関わる、みんなで話し合いたいテーマとして「いじめ」「情報社会」「自立と共生」「環境と未来」「安全な生活」を設定。

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新版 中学生の道徳 明日への扉	Gakken
<p>答申</p> <p>道徳の学習に興味や関心をもって取り組めるように内容・構成に配慮して編集されている。今の時代を生きる上で必要不可欠な情報と、解決すべき現代的課題を扱った教材や誰にとってもやさしいユニバーサルデザインなど、工夫されており、多様な学び方や他の人と考えを深めことができる教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも35教材。年間を通して「いのちの教育」に取り組み、いじめを生まない心を育てられるよう1年間の生徒の成長を考えて教材を配列している。 ・「自分を見つめ伸ばす」「人と支え合う」「社会の一員として」「生命を輝かせて生きる」の4つの視点にもとづいて教材を掲載している。 ・1つのテーマを内容項目が異なる複数の教材で連続して学ぶユニット学習とし、「SDGs」「多様性」「キャリア教育」を扱っている。広い視野を持って多面的・多角的に考えを深める学びが行えるように考えている。 ・教材については、教材の前に主題名を置かないことで、多様な考えを生み出せるようにしている。教材名の下に、教材の一部を抜粋したキーフレーズを入れ生徒の関心・意欲引き出す工夫をしている。 ・各教材末には「考えよう」で、「自分ならこう考える」というような話し合いができるようなものを掲載している。 ・各教材の下にメモ欄があり、気になることや疑問に思ったことを自由に書き込めるようにしている。書くことにより、生徒自身の成長を感じ取ることができる。 ・最重点テーマを「いのちの教育」とし、「生命の尊さ」は全ての学年で三本ずつ用意している。また、内容項目でその尊さにあらためて気付くように、教材冒頭の帯に「いのちのマーク」付け複数用意し、生命について多面的・多角的に考えられるようにしている。 ・いじめ防止のために、直接的・間接的に考えられる教材を、年間を通して、生徒たちに身近でより考えやすい教材を掲載している。 ・「困難を乗り越えようとする力」を後押しできるような教材も各学年で2本ずつ掲載している。 ・絵や写真、図やグラフを適切に使い、生徒自ら問いを育むような素材で構成した教材が多い。 ・主体性を育むために、多様な学び方やICT活用も積極的に取り入れ、学びの幅を広げるための例を表示している。キャリアへの意識を高められるよう、さまざまな分野で活躍する人々のライフストーリーを教材にしている。身近な人の生き方から、生徒たちはより自分らしく、自分の将来について考えられようとしている。 ・持続可能な世界を目指すため、豊かに暮らすために、環境問題を始めとして自然への愛情や畏敬の念に気づく教材を掲載している。 ・長年にわたって読み継がれてきた定番教材で、現在にも通じるテーマを扱ったり、よりよく生きるための教材も掲載している。 ・伝統文化を尊重し、守り受け継ぐことの大切さを学ぶ教材も掲載されている。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	中学生の道徳	あかつき教育図書
<p>答申</p> <p>読み継がれてきた定番教材から多様な現代的課題を扱う教材まで、生徒たちの心に触れ、揺さぶる授業ができるように教材にこだわり、生徒が自分を見つめ、他者と対話し、学びを深めていくことができるよう教材を配列している教科書である。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から 		
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも35教材。道徳をどのように学んでいくのかを「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」の3つのステップで示している。授業開きでは、「道徳 はじまりの時間」1年生は、「小さな勇気」 2年生は「自分の人生って」 3年生は「自分と向き合う」という教材で、今の自分を見つめることから始まる内容となっている。学期ごと、また、1年間で授業の取り組みを振り返ることができるシートが巻末にある。 ・学びを深めるために、教材の冒頭に視点をマークで、「自分自身に関すること」「人との関わりに関すること」「集団や社会に関わりに関すること」「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表示している。教材末の「自分を見つめて考える」では、主体的な学び、対話的な学びのどちらかを選定し、「考えを深める」では、道徳的な価値に照らして思考や対話を促すような発問を示している。 ・1学年に3か所、「マイ・プラス」を設置し、役割演技や話し合いなどを入れて、生徒がいろいろな立場で想像したり考えたりできる問いを設定している。また、重要なテーマにも「マイ・プラス」を設け、対話を通して思考を深められるようにしている。 ・「いじめ問題」をはじめ、現代的課題について、重点的に学習が進められるようユニット化し、学年ごとに連続して複数の教材を設けている。「いじめ問題」については、各学年とも5、6月に重点的に学習できるように配置している。「情報モラル」「キャリア」についてもユニット化し、さまざまな人が暮らす「共に生きる社会」をつくるために教材をユニット化している。 ・学びを広げる教材補助コラムを教材のあとに配置し、教材での学びを広げることができるようにしている。 ・各学年の巻末にもコラムを設けている。教材との関連をふまえSDGsの視点やさまざまな地域の事例を通して生徒の視野を広げられるようにしている。 ・すべての生徒にとって学びやすい教科書となるように、色の識別、マークの形状やデザインなど情報が読み取りやすいように配慮している。特別支援教育とカラーユニバーサルデザインにも配慮している。 ・いじめや差別を許さない心を育む教材、多様性を尊重する教材など、さまざまな教材を選定して、人権に配慮している。 ・二次元コードから補助教材として、写真・動画・参考となる外部ページを見ることができ、調べ学習をはじめとした発展的な学習を促すことができる。 ・和歌山に関する内容として、2年生の補助教材「ふるさとに学びを広げよう」の一部に松下幸之助が写真と共に紹介され、3年生の内容項目「国際理解・国際貢献」で、「海と空-樫野の人々」と題し、エルトゥール号遭難にまつわる話を取り上げられている。 ・1年生「ある日のバッテリーボックス」の最後、「普通の少年」という表現は丁寧な扱いがある。 		

令和6年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料

教科・種目	教科書名	発行者
道 徳	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ	日本教科書
	道徳 中学校 2 生き方を見つめる	
	道徳 中学校 3 生き方を創造する	

答申

読解に陥りがちであった教材を「生徒自ら考える教材」へと変え、考え合ってほしいことに切り込むために「教材の視覚化」を図っている。自分自身への「問い」から「見方・考え方」を深められる教材を増やしている。また、道徳教育とウェルビーイングを結び付け生徒が自分自身や周囲の人々のウェルビーイングを尊重し、協働して社会を創る力を身につけられるツールとしてウェルビーイングカードを掲載している教科書である。

- ・教育基本法の理念・学習指導要領の趣旨・和歌山市学校教育指針に示す「めざす子供像」の観点から
- ・教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から
- ・全学年とも、ガイダンス1教材と本編34教材の35教材。学習指導要領の内容項目順に「自分自身と向き合う」「人とのかかわり」「集団や社会とのかかわり」「自然や崇高なものとのかかわり」とテーマで配列されている。年間を通した配列は、啓発デーや学校行事に合わせて学校ごとに配列を考える事ができる。
- ・授業開きでは、ガイダンス教材『クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう』で、「道徳の授業はどういうものか」「どう進めるのか」について、学級全体で共有する時間を設けている。
- ・「ウェルビーイングカード」を使う短い教材が各学年に用意されている。
- ・全学年、各教材の発問には、「考えよう」「深めよう」を置き、学習活動を明確にするとともに、生徒たちが読み取りからの偏重から脱却し、教師にとって「考え、議論し、探究する道徳」の授業へと転換しやすいようになっている。
- ・教材テキストだけでなく、動画や漫画、写真やグラフなど多彩な情報を積極的に取り入れている。
- ・ネットトラブルからどう身を守るかを喫緊の課題ととらえ、リアルに描いた教材を各学年に配置している。
- ・直接的・間接的な形で「いじめ」を取り巻くテーマを取り扱っている。学校生活の中で「いじめ」に陥りやすい場面を積極的に取り上げている。
- ・「人権・福祉・ジェンダー」「環境資源」「生命尊重」「国際貢献・国際理解」の教材も掲載されている。
- ・「キャリア教育」を道徳教育の大きな柱として掲げている。心身ともに大きく成長する中学生の時期に自分を見つめ、将来の生き方を探ることが有意義だと考え、1年では「自己理解」、2年では「自己啓発」、3年では「自己実現」をテーマとした教材を掲載している。
- ・先人の生き方から学ぶ人物教材も多く掲載している。
- ・各方面で活躍する人の偉業や成功談だけでなく、人間の弱さや葛藤を吐露する姿などを知ることで、生きることの魅力や意味について考える教材もある。
- ・時代の流れに合わせ、3年では戦後の家族の形とは異なる、「新しい家族のカタチ」について議論する教材がある。
- ・「ウェルビーイングカード」を授業の中で内容項目そのものについて学ぶだけでなく、生徒自身が、自分はどうのような価値を大事にしているかを意識でき、それについて生徒どうしで議論するツールも各学年教科書の巻末付録についている。
- ・資料として、全学年の巻末に「わたしたちの郷土」として、日本が世界に誇れる自然や文化遺産、また世界で活躍する人物の紹介がある。和歌山県に関係する教材の取り扱いは、1年生での「海と空」と題したエルトゥール号のみとなっている。